

4000 名山記 2021 年

○12月29日(水)年末休暇~31日(金) 熊本北2山(1山)、同西1山、同南2山(1山)、福岡南1山 計6山(2山) これで令和3年度累計は「161山」(235山)合計396山 山入り118日となり、令和2年度に次ぐ山歩きとなり、皆様に感謝申し上げます。

○12:29 熊本北1山(1山)、福岡南1山 曇り一時雨

○「筒ヶ岳」山頂13:20、(観音岳)同13:55 12:30~15:25(2:55)林舗道Pより針の耳登山口より往復。舗道を行ったり来たりし、奥へと登り口を探し進み、針の耳登山口。北へと登り、整備された尾根道進み、観音分岐より左へ回り込むように登り進むと筒ヶ岳山頂。一等三角点、史跡、城跡のある広場の平坦な山頂。小雨パラの曇り。集落、海岸線の眺め良い。先へ稜線を上り、下りして進む。荒尾展望台、八峰台経て進み、観音岳山頂。大きな石碑、祠ある広場の平坦な山頂。曇りの中、集落の眺めあり。来た道を確認しつつ、針の耳の1P表示確認して戻る。

○「三池山」山頂17:15 16:10~18:05(1:55)三池宮登り口より往復。駐車余地なく離れた林舗道に駐車し、舗道に戻り、バス停より神社へ向かい登り進み、分岐の三池宮入り口。急坂の舗道登り進み、次の分岐を左へ進み、奥で林道に出て、進むと鉄塔巡視路道。竹林、植林の中を進み、鉄塔の脇。そこから細い道を辿り、テープ等時折ある不明な道らしきを上へ上へと辿り登って行く。平坦地経て北へと登り進み急坂経て鉄塔の脇経て稜線の四の山山頂の表示あり。そこから西の奥へと稜線を進むと三池山:三の山山頂。ベンチある丘の山頂。曇りで風の音あり。来た道を確認しつつ、急ぎ足で何とか下の鉄塔経て、小雨降り出した夕闇の中戻る。

○12:30 熊本北1山、熊本西(天草)1山、熊本南1山 曇りのち晴れ

○「木葉山」曇り 6:05~7:40(1:35)役場口ルートより往復。暗い中、ライトつけて林舗道登り進み、鉄塔、急坂をゆっくり登り進み三角点ピーク。更に登り進み別ルートと合流してすぐ木葉山山頂。神社ある平坦な樹林の山頂。三日月、街明かりがキレイ。昨日登った山並みも見える。来た道に戻る。

○「鳥峠」晴れ 12:25~15:00(2:35) 御所浦港より往復。案内表示辿り舗道進むも、道間違いで、地元の方に教えてもらい、引き返して分岐を確認して、住宅地の中の舗道を登り進む。工事中で通行止めの舗道をただひたすら登り進むと鉄塔。その上が鳥峠山頂13:55。二等三角点、展望台ある丘の山頂。海、島々、山の眺め良い。風が強い。フェリーの時間考えて急ぎ足で下山。

○「八竜山」20:10~21:10(1:00)天文台へのゲート手前より散策往復(災害通行止め等あり、トライ)。舗道を天文台へ向かう。急坂登り展望台で八代の夜景、夜風楽しみ、奥の天文台へ。ここも夜景がキレイ。何も表示なく、展望台に引き返し辺りを探すとゲート先に高い丘あり。ゲートに戻り、辺りを散策。西へ林道を進み、丘への尾根を道らしきを上に進むと機械の唸り声あり、奥に登り進むと中継局に出てその脇に八竜山山頂あり。樹林の丘の山頂で二等三角点あり。道を東へ下り急坂の小さな階段をゆっくり下って、林道に出て戻る。

○12:31 晴れ 熊本南1山(1山)

○「鬼岳」10:25~45(0:20)頭石林道終点より車で入り(普通車で林道泥土にはまる。行きはなんとか脱出出来たが帰りは動けず、スコップ、ボロ毛布使い約30分かけて何と

か脱出)林道奥のPより往復。すぐ登山口となり、急坂登り進むと鬼岳山頂。二等三角点あり、樹林の丘の山頂。祠あり、冬風強くすぐ下山。(平成最後の日から令和初日にかけて道迷いした山でリベンジ)

○(亀嶺峠)12:05~20(0:15)北側登山口より往復。整備された階段の遊歩道進むと亀嶺峠山頂。三角点あり、石碑、云われ案内ある草原、丘の山頂。鬼岳等山々の眺め良い。冬風強くすぐ下山。

今年はここまで。

○12月25日(土) 日本山岳誌以外 京都南(1山) 曇り

○(三上山)12:55~15:25(2:30) 森林公園手前舗道より往復。急坂の赤テープ辿り、支稜線。進むとすぐ、旧林道。北へ進み、舗道経て、かいがけの道へ。緩やかな道を登り進み、上の舗道経て、登り進むと三上山山頂13:55。樹林の丘の山頂で、三角点、展望台あり。山々、街の眺め良い。冬風強い。来た道戻り、旧林道より道探しに30分歩き回り、小藪経て、舗道に出て無事戻る。今回はここまで。

○12月18日(土) 日本山岳誌以外 和歌山北(3山) 晴れ

○(名草山)11:55~13:15(1:20)南側 内原踏切の住宅地より往復。踏切経て、農地道から石碑等ある細い道らしきから奥に進む。白テープ辿り、溜め池経て北へ登り進むと縦走路に合流。西へトラバース道進み、マリーナ台合流点より北へ。更に別ルートと合流し急坂を登ると名草山山頂。三角点あり、樹林の広場の山頂。和歌山市街、海、山々の眺め良い。来た道を確認しながら戻る。

○(章魚頭姿山 タコズシヤマ)13:55~14:25(0:30)南側県道151口より往復。舗道坂進み、西奥の舗道終点より急坂等登り進むと章魚頭姿山山頂。二等三角点、展望台ある広場の山頂。和歌山市街、海、淡路島等眺め良い。冬風あり、散策しながら戻る。

○(大旗山)15:20~16:15(0:55) 南側県道138の馬路峠先より往復。畑の端の道らしきを北へ進み、途中から右へ急坂を支尾根に登り、北へ尾根を辿る。本道に合流し西へと稜線を進むと大旗山山頂。三角点ある樹林の平坦な山頂。晴れ、小鳥の声賑やか。来た道を確認しつつ、支尾根は、そのまま急坂を木々等に掴まり下るとジャストで駐車地に戻る。今回はここまで。

○12月12日(日) 日本山岳誌以外 和歌山北(3山) 晴れ

○(四国山241m)山頂10:05、(甲山)同11:00、(高森山)同12:45 和歌山市森林公園駐車場より周回。加太港から友ヶ島(コウノ巣山)への船の時間に間に会わず、近くの山歩き。9:25~13:35(4:10) 舗道を登り進み、冬の丘、四国山への遊歩道を進む。1Pの冬の丘経て、支稜線を登り進むと展望台、四国山の標柱のある稜線のピーク。晴天のもと、四国、淡路島、海、港、山々の大展望を満喫。稜線を東へ辿ると本来の四国山の山頂。樹林の丘の山頂。稜線を更に東へと甲山へ向かう。林舗道と並行する稜線をアップダウンして進み、甲山最短ルートの表示より急坂を下り、林道に出て下り進むと舗道に出る。住宅地経て、南へ猿坂峠方面へ車道を登り進み、養魚池より左へ車道を進む。坂を登るとゲートある甲山への林舗道分岐あり、そこを登りすぐ次の案内を左に登り進むと甲山山頂。二等三角点、観測施設のある丘の山頂。和歌山市街、海、山々の眺め良い。地元の方に挨拶し来た道戻る。四国山展望台より北へ稜線をアップダウンして進み、山頂広場。高森山へと分岐を右の稜線へ。急坂を下り、稜線をアップダウンして進むと高森山山頂。三角点あり、樹林の丘の山頂で海、山々の眺め良い。昼時で、3つパーティーで大賑

わい。山頂広場に戻り、クスの木の見事な森を経て、ザレた沢沿いの道を下る。高森山への分岐を経て、沢沿いの緩やかな道を下ると高森山登山口表示のある舗道に出る。舗道を左へ坂登り駐車地に戻る。

○4日(土)、5日(日) 宮崎西2山、熊本中央2山

○12:4 宮崎西2山、熊本中央1山 晴れ

○「笹の峠」8:15~45(0:30)第2登山口より往復。冬型の天候の中、林舗道の落石を下車して、よけながら車で、奥の第2駐車地まで進む。案内を辿り、落ち葉の道を朝の氷点下の中ゆっくり進み、笹の峠山頂8:30。一等三角点あり、刈り払いされた樹林の丘の山頂。晴れて冷たい風、砂糖をまぶしたようなパラ雪あり、山々の眺め良い。ブナの大木のある豊かな森を楽しみながら戻る。

○「日陰山」10:45~13:25(2:40)林道笹陰線の九州遊歩道標柱口より往復。登山口不明で、やむ無く、おせりの滝の上部の伐採跡地先の駐車地より山入り。急坂を経て、上の旧道。樹林の尾根、トラバース道等辿り、上の林道に出て林道進む。途中から再び、西の方角への尾根に取り付き、樹林の中テープ等辿り、再び上の林道に出て、上へと登り進む。林道終点近くで、目指す山らしきが見えて、終点の植林ネットより山入り。植林地の鹿道等辿り、上へ。急坂を木に掴まり、岩場等を直登で登り進み支尾根。急坂を道らしきを辿り、上へと登り進み、植林地の開けた境界ネットの尾根に出て、ネットの尾根沿いを上へと登り進むと1P。初めて小さな案内板が出て少し安堵。別の本道(テープ等続く)との合流点で植林境界ネットが続く稜線の先にさらにピークありそうで、ネット沿いの稜線を行ったり、来たりしながら南西へ進むと何とドンピシャの日陰山山頂。三角点ある樹林の丘の植林防護ネット境界の山頂。晴れて風が冷たい。山々、川の眺め良い。来たルートを本道合流点を経て、確認しながら下る。直登の急坂を下ると不明な所に出て道らしきを保護ネット沿いに下ると何とか、林道終点の上に出る。あとは、林道をショートカット等して下り無事駐車地に戻る。

○「金峰山」17:15~45(0:30)移動に時間を要したため、山頂下までの林舗道を車で進み山頂下の駐車場より往復、散策。ゲートよりコンクリート道を登り進み、電波塔に出て、奥に進むと金峰山山頂。神社ある公園、広場の山頂。東に熊本市街の夕方の夜景がキレイ。西に熊本港、海とその先に雲仙の山並みが、夕焼けとの絶妙なコントラストで魅了される。神社は、建て替え作業中で、北の端に山頂標識と三角点を確認して薄暮に戻る。

○12:5「雁回山」7:20~8:30(1:10) 晴れ 東阿高コースより往復。昨晚より車で南側から登山口探すも住宅地で駐車地ない等探す回り、南は、断念し、北側へ。運動公園からゲートを経て舗装道あるも遠く時間かかるため、北側の木原奥の院に駐車して翌日薄暗いうちからライトつけて辺りの登山口探すも、竹林道しかなく、テープあるも途中までで、南へ辿ると沢に下り道不明。東へ滝へと道探すも先に道なく諦める。既に明るくなり、車でかなり移動し東側の尾根道の登山口へ。岩の掘られた道、階段道、急坂等登り進み、稜線。右に丘あるが後でと西へと稜線をアップダウンして進む。広い林道に出て更に西へ進む。1Pあり、軽い気持ちで上へ登ると何とそこが、雁回山山頂。三角点あり、樹林の丘の山頂。朝日、青空、冬風あり。来た稜線に戻り、稜線端より後にしようとした丘へ階段登ると城南展望所で、山々、街の眺めが良い。来た急坂道等に戻る。今回は、ここまで。

○11月19日~23日 その2

○11:21 宮崎西1山(1山) 晴れのち曇り

○「日隠山」山頂 11:10、(北日隠山 1580m) 同 11:35 7:45~14:50(7:05) 釣鐘山への林舗道終点より往復(本来の登山道は、林道が悪路で普通車では、無理でアプローチに時間かかるため様々に検討の上選択)。林道ショートカットして進み釣鐘山登山口。ここからも少しショートカットして、植林地進み、西郷さんの宿营地跡。沢沿いの急坂を直登道を登り進み2度目の鹿川峠 9:15(十字路、2度目の歩きで、道の心配ない歩きがこんなに気楽なのかと実感)。風が強い中、北東へとテープ、境界標辿り稜線を進む。大岩壁に会い、冷静にテープ辿り、右へ迂回しながら登り進み無事通過。その後も、幾つもの稜線ピークをアップダウンしながら進み、三角点ピーク経て、その次のピークで、食事の休憩。鋭気を取り戻し、稜線を進むと目指す山らしきが見えて来て、少し気が楽に。稜線を淡々と進み急坂を登り山頂稜線の末端に出る。広葉樹の大木の緩やかな稜線を進むと念願の日隠山山頂で思わず感激。二等三角点ある樹林の丘の山頂。陽光が心地よく、山々の眺め良い。落ち葉の森で静か。北へ稜線を進み、西からの本道分岐経て、急坂登ると北日隠山山頂。稜線ピークの岩稜の山頂。南東が絶壁で、麓の集落、山々の眺めが良い。雲多い晴れ。来た道を確認しながら、ブナの樹林等楽しみつつ戻る。

○11:22(月)休み 熊本東1山 雨のち曇り 昨晚から雨が続き道の駅通潤橋で学童の見学の列を眺めながら待機。午後になり、ゆっくり移動。

○「間谷山」 15:20~16:30(11:10) 小雨のち曇り 林道分岐より往復。小雨の中、稜線の茨、小藪分けてズボンを濡らしながら、植林の防護ネットを行ったり来たりして進み、ピンクテープより少し登ると間谷山山頂 15:35。二等三角点あり、樹林の丘の山頂。風強く小雨。北側へ小藪分け下り林道に出て、後は、雨がやみ、麓の集落、山々が見える中、冬イチゴ楽しみつつ、ズボンを濡らしながら周りを散策し戻る。

○11:23 熊本東2山 晴れ

○「甲佐山」 6:15~7:40(11:25) 福城寺手前駐車場より往復。薄暗い中、出発。植林地、石灰石の白い岩の道を登り進み、稜線の神社。参拝し、その奥へと稜線を進むと甲佐山山頂。石灰岩のある丘の樹林の山頂。晴れて朝焼けが垣間見える。少し風あり静か。来た道戻り、古刹の福城寺を参拝し散策しながら戻る。

○「飯田山」 9:10~45(0:35) 自然公園の駐車場より往復(名前の由来:名無し山で昔、山の背比べで近くの金峰山と競いこちらが高いと先に言い出し、神様の雨樋の水がどちらに流れるかの裁定で負けて、もう先に言い出さんと云ういわれ書きが山頂近くにあり)。石段登り常楽寺。左奥のロープ等辿り上の遊歩道。山道と交錯しながら登り、白山神社経て飯田山山頂。一等三角点、石像のある公園の丘の山頂。街、海、山々の眺め良い。地元のウォーカー多い身近な山。朝日、晴れて少し風あり。来た道戻る。今回はここまで。

○掲示ミスで続き 諸塚山 明日朝と思い登山口着 18:55。ゆっくり食事し就寝準備。外に出ると円い月明かりが、とても明るく山歩きをトライ。風なく月明かりに助けられ、鳥居を潜り、散策つもりでライトつけて階段道を進む。月明かりの中、時折ライト消したりで、ロープある稜線の階段道をアップダウンしながら登り進む。平坦となり、月明かりで、登り進むと諸塚山山頂 21:05。樹林の丘の山頂。二等三角点あり、山々、夜景の眺め良い。円い月のもと静か。戻りは、目がなれて月明かりのみで、本当のムーンライトウォークで、戻る。月明かりに感謝。

○11月19(金)休み~23(火) 熊本東8山(3山)、宮崎西2山(1山)計10山(4山)

その1遂に仮にですが、4000名山踏破(詳細は、11月3日カウントダウン参照)敢えて通過:まだ

肝心の日本山岳誌の登っていない山が、100山以上残っているため。ただ、ここまで、様々にご支援戴いている周りの皆様に厚く御礼申し上げます。記念山登りをまだ登っていない北海道の札幌市郊外の空沼岳1251mを来年7月16日~18日海の日を予定しています。詳細は、後日。これからも只管打歩で山歩きを続け記録し続けますので、お見守り戴ければ幸いです。

○11:19 熊本東2山(1山) 晴れ

○「目丸山」8:10~10:20(2:10) 青石登山口より往復。植林地のテープ、ロープ道辿り登り進み、1P経て、下り登り返すと稜線分岐で西へ進む。下って登り返すと目丸山山頂9:15。三角点あり、樹林の丘の山頂。落葉、朝日あり、集落、山々の眺め良く、小鳥の声聞こえ静か。来た道を遺産資源保存林の見事な広葉樹の木々を楽しみながら戻る。

○(茂見山1158m)山頂13:55、「洞ヶ岳」同15:00 12:25~17:10(4:45) 山出林道工事手前より大周回。登山口不明で、林道工事中的手前に駐車し林舗道終点まで進み、更に林道進むと終点近くで大崩壊。終点まで進み、崩壊地より尾根へ登り、そのまま植林地の急坂を右に植林の防護ネットを見ながら登り進む。西の遙か先に目指す山らしきが見え、上部で繋がっているだろうと保護ネットなくなり、急坂の広葉樹の森を直登で登り進むと稜線に出て西へ登ると茂見山山頂。目指す山より標高が高い樹林の稜線のピーク。小鳥の声のみで静か。稜線を北へと下って行く。岩々等の稜線を時には慎重に下り進み、鞍部より登り返し山頂稜線。幾つものピークをアップダウンして進み、洞ヶ岳山頂。三角点あり、樹林の丘の山頂。陽光、集落の眺めあり。このまま本道を下った方が近道(実は大きな誤り)と思い展望地と展望岩で2度川と山々の眺め楽しみ、岩々等の急坂道を慎重に下って行く。洞ヶ岳神社経て、林舗道の登山口に出る。三差路の舗道だが、現在地不明。やむ無く、東へと来た方向へ林舗道進むとすぐ終点で、テープ、杣道らしきあり、トラバースの道らしきを辿る。そのうち、テープは、上へ山へと向かうため、そのまま山腹を獣道らしきを探りながら進む。展望地より遙か先に来た工事現場らしきが見え、方向は、良いとトラバースし続ける。ガレ場、岩稜のトラバースは、必死に岩、木の枝、斜面を掴まりつつ進む。崖の岩場は、山へ登り返し迂回するも、茨等で、手袋の上の両腕は、傷だらけで、深い傷も気にしていられず進む。トラバースもできない急斜面となり、植林地の杣道らしき急坂を慎重に北へ下って行くと沢に出てそのまま下り、見覚えのある林舗道に出て安堵。そのまま東へ登り進むとすぐ駐車地に無事戻れて大安堵。

○11:20 熊本東3山(2山)、宮崎西1山 晴れ

○「黒峰」山頂8:45、(丸山1098)同9:50 6:40~10:40(4:00) 黒峰林道ゲート口、黒峰薬師堂より周回。ゲートより林道を東へ進む。大水で大崩壊した2ヶ所経て、進むと旧の公園らしき崩壊しつつある広場。そこを通過し進むも目指す山は、方向が右の奥のようで、林道は、北方向へ進むため、やむ無く急坂に取り付き、登り進み支尾根。枯れ竹等の獣道らしき尾根を上へ登り進み、植林地経て稜線。朝日の中、南西へ稜線の道を進む。すずれ峠で九州脊梁山脈のナンバーあり、そのまま稜線進む。開けたすすき野原に出て進むと別の稜線と合流し目指す山らしきのある西へ稜線進む。平坦な大平の案内表示に出て初めて黒峰の案内も出て、安堵し、登り進むと黒峰山頂。草原の樹林の丘の山頂で三角点あり。九州脊梁山脈の山並み(今までほとんど登って来た山々)、中岳から噴煙の上がる阿蘇連山、その遙か先に久住連山等周りの山々の眺めが良い。来た道が、案内と違うルートと改めて気付き取り敢えず、本ルートへと北へ急坂下り、本道登山口の林道に出る。そのまま下り、旧牧場跡、黒峰中継所経て、先に見える小山へと有刺鉄線の残る牧場跡を有刺鉄線沿いに行ったり、来たりし登り進むと1Pの丸山の表示木の山頂。樹林の丘の山頂。来た道を林舗道に戻り、思案し、近いルートを探して戻ること。林道戻り、牧場跡の有刺鉄線を2度掻い潜り、北へと向かう。広葉樹から植林地となり、急坂の杣道を下って進むと登りに歩いて来た林道に出て、あとは少しショートカットして駐車地に戻る。

○(遠見山 1 2 6 8 m) 1 2:4 0~1 3:3 5(0:5 5) 林舗道登山口より往復。天主山登山時(ロング歩き)諦めた山に巡り会い山歩き。林道を登り進み、案内表示より山入り。植林地を経て稜線となり、三方山分岐より登り進むと遠見山山頂。樹林の丘の山頂。次に目指す山が、北の下に見えて方向も確認できて来た道戻る。

○「矢筈山」 1 3:4 5~1 4:2 5(0:4 0) 林舗道登山口より往復。林道進むとすぐ分岐の角の登山口。植林地の急坂をテープ等辿り登り進み稜線。1 P 経て、東へ進むと矢筈山山頂。三角点あり、樹林の丘の山頂。晴天で山々の眺め良い。そよ風が、暖かい。来た道に戻る。

○「諸塚山」 2 0:2 5~2 1:5 5(1:3 0)西登山口より夜間登山。道迷い等で時間なくなり明日朝と思い登山口。

○1 1 月 6 日(土)晴れ 日本山岳誌以外 兵庫西(2 山)

○(十字峰 5 5 5 m)山頂 1 3:4 0、(薬師峰 6 1 6 m)同 1 4:1 0 8:4 0~1 5:0 0(6:2 0) 七種三山の例会で七種山駐車場より周回。前回と同じく、七種槍への池のほとりの遊歩道から尾根のザレ場、急坂を経て、稜線と岩稜を慎重に進み、奥山を経て七種槍。一休みして、急坂を下り、北西方向へ。鞍部、林道分岐を経て、急坂を登り、次の分岐。更に稜線を登り進み、薬師峰の分岐を南へ登り進むと 2 度目の七種山山頂。七種槍でお会いした 2 人に会い挨拶し 2 度目の写真をお願いし心良く引き受けてくれて感謝。薬師峰分岐に戻り、稜線を薬師に向かう。アップダウンし稜線を進み、道が不明なところは、テープ等探しながら稜線を進み、西尾根道合流点の十字峰(Y 字峰)山頂。樹林の丘の山頂。薬師、地獄尾根を下り、分岐より薬師峰へ。鞍部より登り返す。途中、瀬戸内海、小豆島等の眺め楽しみつつ登り進むと七種三山の最後の薬師峰山頂。二等三角点あり、樹林の丘の山頂。歩いて来た七種槍、七種山の眺め良い。紅葉も見れて満足。山頂を整備していた地元の方にお礼を云い、祠を拝み、急坂を一気に下る。植林地を経て、林道に出て薬師峰登山口。すぐに舗道に出て南へ進み、駐車地に戻る。

○1 1 月 3 日(祝日 水曜日) 日本山岳誌以外 兵庫西(2 山) 晴れ 「4 0 0 0 名山のカウントダウン開始について」

○(奥山 3 9 3 m)山頂 1 3:3 5、(七種槍)同 1 4:1 0 1 2:5 0~1 5:0 5(2:1 5) 例会の下見で七種山駐車場より往復。南へ舗道進み、池の端の七種槍登山口よりゲートを経て、池のほとりの遊歩道を進む。ガレ場の登山口となり、急坂のガレ場を経て、岩道を上へ上へと登り進む。稜線となり、進むと西へエスケープルートらしきを確認して北へと稜線をアップダウンしながら進む。登り進むと 1 P の奥山山頂。三角点ある稜線ピークの樹林の山頂で眺め良い。北の奥へと岩稜、細尾根の稜線を慎重に登り進み、縦走路より右へ急坂を登ると七種槍山頂。三角点あり、樹林の丘の山頂。山々、街の眺め良い。来た稜線の岩稜道等を慎重に下り、奥山を経て、エスケープルートヘトライ。急坂、ロープのザレ場道を慎重に下るも案内なくなり、来た稜線方向へザレ場を木等に掴まりながら下ると道らしきに出て、稜線下の旧遊歩道を岩、草等分けつつ横移動。階段道の遊歩道に出て、野外活動センターを経て戻る。

○「4 0 0 0 名山のカウントダウン開始について」 この土日と今日の山歩きで、4 0 0 0 名山の仮の速報値のカウントダウンに突入。なぜ仮、速報値なのか。理由は次の 2 点。①山の先輩方から戴いた日本地図に記載された山を登った毎にチェックして、まだチェック未了が約 1 3 0 山残っている(これが本命で山岳誌以外の山を歩き過ぎた模様:残りは九州 1 0 6 山、北海道 2 2 山:日本山岳誌の国境不明等除く:但し島嶼が九州主体に約 4 0 強、火山等もあり、物理的、能力的に全て登山が可能かは下現在のところ不明。) ②山歩きを優先したため、膨大な数の山で、日本山岳誌以外の山の数え方に甘さが出て、不正確なところがある模様(どこまで明確に出きるかも不明)。どこまで明確にできるかは、不明(半年以上かかるか??)。少しずつ過去の山歩きを確認、整理しながら、日本山岳誌の残った山が本命なので、そちらを主体に山歩きの記録の書き込み続けます。ここ数年に積み上げて来た山の数を手元の記録上 3 9

94山となり、とりあえずの仮のカウントダウンは、続けます。仮の4000名山踏破は、予定では、11月の勤労感謝の週間を目指しています。ご迷惑をお掛けしますが、今後とも、日本山岳誌のある上記残りの山歩きを続け、記録し続けますので、温かく見守り戴ければ幸いです。

○10月30日(土)、31日(日)宮崎西3山(1山)、熊本南2山 遂に4000名山の仮の速報値のカウントダウン突入(詳細は11月3日の山歩き)に記載します。

○10:30 宮崎西3山(1山) 晴れ後曇り

○「樋口山」7:45~10:45(3:00) 林舗道登山口より往復。案内表示より旧林道を進むが、テープもなくなり、草の繁る、崩壊している林道が続くため、登れそうな斜面に取り付き、ガレ場の急坂を、木々等に掴まりながら上へ登ると、本道らしいテープのある尾根。そのまま、北へ植林地の急坂を尾根の東側のトラバース道を登り進む。赤と銀色のテープひらめく旧林道に出て、上らしい東へ進む。テープがなくなり不思議に思いつつ、進むと大雨等で大崩壊した旧林道終点。先は、水のない沢を越えるため、やむなく、上へとザレ場の急坂を木々等掴まりながら登り進む。獣道等も不明な中、上へ上へと登り進むと稜線に出る。東に1Pあるが、目指すは、西のようで、そちらへ稜線を進む。進むうちにテープ等出てきて、1Pで、境界標石あり。前後を確認するも目印なく、そのまま更に西へと進む。道らしきあり、少し下って行くと作業道らしき分岐(下山に利用予定)。そのまま、急坂のガレ場、灌木分けて西へ急坂を登ると再び稜線。そのまま西へ進むと鞍部となり、初めて山の表示案内が出て少し安堵。急坂のロープ道のテープ等辿る。刈り払いに感謝しつつ、灌木の道を登り進むと樋口山山頂9:25。三角点あり、稜線ピークの灌木の山頂。雲多いが陽光あり、山々の眺め良い。北側のブナ等が色づきつつある。来た道の急坂を慎重に下り鞍部の表示地。ここから下に案内表示あり、それを辿り、下って行く。急坂から広い広葉樹の森になる頃目印テープ等不明に。そのまま下るが、先が不明で、高度が登りの旧林道出会いより下がっている。やむ無く、登ってきた稜線の東の方向へと斜面を登り進むと旧林道に出る。その林道を進み、分岐より下へ下ると道が良くなるも、又標高が下がり過ぎのために、カーブからそのまま獣道を横へトラバースして進む。沢の水場で、獣道も失せて、やむ無くそのまま、横へトラバースしつつ、慎重に進む。支尾根で、北へ尾根を灌木分け進むと再び旧林道に出てそのまま東へ進むと目印の赤、銀色のテープに出会う。後ろを振り返るとテープが、ひらめき、ガレ場の小尾根から上へ遠目にロープが見える。登りの道の間違いを再確認。来た道を確認しながら下り、最初の本道出会いに出てそのまま本道を下ると、急坂のロープ道、急坂の岩となり、慎重に下り、沢口に出て林道出る。倒木で見分けにくい案内を確認して、来た旧林道を登山口に無事戻る。

○「烏帽子岳1126m」山頂13:00、(権現山 約1110m)同13:15 11:45~14:30(2:45) 砂利林道途中より往復。砂利林道登り進む。伐採作業地の途中に看板が倒れた登山口表示。伐採で登山道不明。奥の尾根に出て登り進む。次第に登山道らしくなり、急坂の樹林帯、岩道等登り進むと烏帽子岳山頂。三角点あり、樹林の丘の山頂。南側絶壁で、少し色づく山々の眺め良い。稜線を西へ、防護ネット沿いに木、枝等分け進み権現山山頂。杉、松樹林の丘の山頂。石仏、太い鎖(錆びた)が急斜面にあり。修行地か。来た稜線を烏帽子岳経て、林道で搬出作業中の車両に合図して通過し駐車場に戻る。

○「龍房山」15:50~18:05(2:15) 林舗道登山口より往復。前の山からすぐ近くだったが、一旦国道まで出ていま引き返して約1時間のロス。登山口から急ぎ足で林道進み、岩壁が続く中、岩が削られたところより山入り。道が来た林道側へ引き返すように横移動しているため、途中から、急坂を岩と木々を掴み、必死によじ登る。登り進み、上の稜線に出て、本道に合流して南へと急坂を登り進む。1P経て、更に稜線を進むと龍房山山頂17:05。三角点あり、樹林の丘の山頂。遠くに犬の鳴き声聞こえるほかは静か。夕暮れ迫り、急ぎ足で下山。来た急坂を確認しながら、登り合流点を経て、本

道を下る。植林地経て、岩道を慎重に下り、林道に出て安堵。林道のトラバース道を辿り、取り付きの登り口を確認して、林道を下り、登山道入り口に薄暮に戻る。

○10:31 曇りのち晴れ熊本南2山

○「黒原山」6:45~7:55(1:10) r143 槻木峠トンネル東口より往復。昨夜の雨も上がり、心地よい朝、近くに祠がある駐車地よりテープある道を上へと登る。急坂の岩、灌木帯を抜けて稜線に出る。道あり、境界標のある植林地を西へと登り進む。急坂の灌木小藪となり、北側の薄いところ等を登り進む。草の繁る緩やかな稜線をかき分けつつ登り進むと黒原山山頂7:15。二等三角点、祠ある樹林の丘の山頂。西側が開けて雲海と山々の眺め良い。来た稜線を灌木の薄いところ経て下り、登り合流点と反対側へ。トンネル上の手前の急坂を西側へ慎重に下ると平坦地で、電線を通すために岩が削られた空間の下の道を東へ抜けて、旧道らしきを進み、沢すり鉢状のガレ場を慎重に下り、r143の舗道に出て登り返して登山口に戻る。

○「竜峰山」9:55~11:05(1:10) 5合目登山口より往復。車が沢山ある駐車地よりテープ辿り、上の舗道経て、階段道を登り進む。別ルートの案内表示を眺めながら登り進む、三角点案内を登り進むと竜峰山山頂。三角点、東屋等のある大広場の平坦な山頂。晴天で秋の日差し、小鳥の声、山々、八代の街、海、川の大展望を楽しみつつ、ゆっくりとひと休みして来た階段道等に戻る。身近な山で登山者多い。駐車場で鹿狩りの団体に遭遇。鹿狩りの模様を教えてもらった。今回はここまで。

○10月23日(土)、24(日) 宮崎西3山、熊本南1山(1山)

○10:23 宮崎西3山 晴れ

○「三方岳」山頂8:10、「丸笹山」同9:25 6:35~12:10(5:35)大河内越より往復。風が吹き少し肌寒い中、峠登山口(九州大学演習林あり)を出発。稜線を進み、階段作りに使った小さな木材杭が、散乱する急坂等経て、登り進み1Pの三角点。稜線進み、方向転換し南西へと坂を下り、幾つかのピークを案内のビニールテープ等を辿り進む。目指す山が、見えて登ると主稜線の末端の丘地で、眺めが良い。南へ稜線を登り進むと三方岳山頂。樹林の丘の山頂で、青空のもと、風があり、山々の眺め良い。東へと次を目指す。白テープ辿り、アセビ群が覆う稜線を群落が少ない北側斜面や群落の間の細道等を抜けて下り進み、広い鞍部。後は、アセビ群を避けながら、時折アセビ群に突っ込み、右往左往しながら、結局北側斜面を辿る。目指す山の手前のピークで、アセビ群と倒木に苦戦しつつも、東の鞍部に下り、登り返すと丸笹山山頂。二等三角点あるブナ等樹林の丘の山頂。晴れて暖かく、風あり、山々の眺め良い。来た稜線のアセビ群を回避して歩き易いところを歩いて三方岳に戻る。ひと休みして、来た稜線を来た道を確認しながら、森の景観を楽しみながら、暖かくなった峠へ戻る。

○「石堂山」山頂16:00 14:20~17:35(3:15) 六合目登山口より往復。登山口探しに時間を要し林舗道の峠から砂利道を車で進み、広い駐車地に駐車。林道を西へ進むとすぐ登山口となり、山歩きの時間が読めないため、急ぎ足で、植林地の道を進み、支稜線。北へと稜線を登り進み、7合目。更に稜線を進むと目指す山が見えて来て、緩やかな稜線を進む。ロープのある急坂のザレ場を慎重に登り、後は、稜線を辿り、旧林道の通行止めの両側にロープある道を横切り進む。見えた稜線を進み、幾つものピーク、細い急坂の岩尾根等を疲労で、よたつきながらも少しずつ登り進む。9合目に出て平坦な踊場となり、更に稜線ピーク経て、進むと石堂山山頂。二等三角点ある灌木の丘の山頂。晴れて陽光、小鳥の声、そよ風が心地よい。先へ稜線道(東へ)探すが目印のないルートで、時間がかかりそうで、体力と時間がなく、来た稜線戻る。急坂、細い岩尾根、ロープ道を慎重に下り、ロープのザレ場経て、緩やかな稜線、植林地経て、夕日を眺めつつ戻る。

○10:24 熊本南1山(1山) 晴れ

○(猪子伏1233m)山頂6:50、「白髪岳」同7:45 6:40~9:00(2:20) 林道ゲート手前

の登山口より往復。林道通行止め等で、登山口探しに苦労して登山口着。地元の方に挨拶して急ぎ足で登り進み1 Pの猪子伏山頂。三角点あり、樹林の中の平坦な山頂。ブナ等の大木のある稜線をアップダウンして進み、開けた稜線に出る。遙か先に目指す山が見えて、幾つもの緩やかな稜線のピークを経て進む。神社経て、ロープで囲われた笹藪が繁る原生林保護地を眺めながら進み、緩やかな坂を登ると白髪岳山頂。一等三角点、テント2張あり。風あるも晴れて、青空、朝日、丸い月、雲海、360度の大パノラマの丘の山頂。山々の眺め楽しみ、あとから来た地元の方に挨拶し、山の同定を楽しむ。雲海が少し取れて麓の街が少し見える光景を楽しみつつ下山。来た稜線のブナ等の豊かな森を楽しみ、テープ等で道を確認しつつ戻る。今回はここまで。

○10月16(土)、17(日) 熊本東2山(1山)、宮崎北1山

○10:16 晴れ 熊本東2山(1山)

○「高塚山」8:55~10:35(1:40) 林舗道通行止め手前登山口より往復。登山口から見える山を目指し左回りに樹林の緩やかな道を進み稜線。一旦下り鞍部より急坂登り、稜線に出て、西へ進み1 P。ここから北へ緩やかな稜線を登り進むと高塚山山頂。二等三角点あり、樹林の丘の山頂。晴れて山々の眺め良い。虫多いが静か。来た稜線道を戻り、途中地元のマイクロバスの大パーティーに挨拶して戻る。

○(広貝山1187m)11:15~30(0:15) 大規模林舗道カーブより往復。沢山のテープあり、トライ。樹林の中、テープ等辿り、登り進むと程なく広貝山山頂。二等三角点ある樹林の平坦な山頂。散策し、来た道戻る。

○「江代山:津野岳」山頂14:40 12:55~16:30(3:35)林道入りすぐのところに駐車し水上登山口より往復。砂利の林道が荒れて一般車では進めず、歩きで林道進み、舗道となり、夏の陽射しの中、道なりに登り進む。何も表示なく、不安になりながら、林舗道終点近くまで進むと水上登山口の案内あり、少し安堵。沢に下り、水のない沢を登り進む。下山者に会い挨拶して、山道のルート等教えてもらい感謝。植林地の中のテープ等辿り進む。次にも、水のない沢を西へ渡り、尾根に取り付き、広葉樹の尾根を登り進むもテープ等なし。上へ上へと進むと急坂となり、トラロープを2ヶ所登り進み、稜線に出る。ここが道を間違え易いところと位置を確認し低木の樹林を進み1 P。目指す山が見えて、稜線を北へ進む。大岩を迂回し、小藪の樹林を左に巻いて(下りに苦戦)、緩やかな坂を登り進むと江代山山頂。二等三角点あり、樹林の丘の山頂。別ルートらしいテープ確認。虫が多いが、晴れて山々の眺め良い。小鳥の声あり。来た道を慎重に確認しながら(一部低木小藪に苦戦)1 P。迷い易い下りの稜線分岐、トラロープ等経て、登山口。下りの林舗道は、少し涼しくなり、軽快に下って戻る。

○10:17 宮崎北1山

○「扇山」山頂7:45 曇り後晴れ 5:50~9:25(3:35) 林舗道終点より往復(内の八重登山口ルート)。前夜よりパラ雨あったが、明るくなり、曇りで、風ある中、一般車では、走行しにくい砂利道を登り進む。緩やかな林道を進むが、しばらく何も表示なし。案内表示が、出て、少し気が楽になり、進むと内の八重登山口(民有林らしい)6:25。水のない沢を横切り、左岸に取り付き、テープ等の道を辿り進む。急斜面のつづら折れの道を、杭、緑のロープに助けられながら、森の息吹感じて登り進む。烏帽子岩の左隅を通り進み、岩地帯を東へトラバースし道を進み、坂を登ると稜線の東端7:25。雲と風の中、稜線を北西へと進む。ブナの大木、大岩を見ながらテープ等辿り進む、急坂を左へ回り込む。上の稜線の大岩群は、裾を巻いて進み、稜線の岩稜に出て、進むと扇山山頂。三角点あり、岩、灌木の丘の山頂。風強く、時折陽光が、顔を見せ山々と裾野が見える。一部陽光に照らされた山腹の景観を楽しむ。天候は回復傾向か。下りは、視界が開けて、来た道を確認しながら森歩きを楽しみつつ登山口8:55。天気が、回復し、軽快に来た林道を下る。途中、植林地の伐採後植樹跡の巨大なハート型の景観

を楽しみつつ戻る。今回はここまで。

○10月9日(土)、10日(日) 宮崎北3山(1山)、熊本東2山(1山)

○10:9 「伝説のハイカー編」 曇り時々晴れ 宮崎北2山、熊本東2山(1山)

○「向坂山」山頂7:40、「三方山」同9:55、(切剥1578m)同10:40、「天主山」同11:45、「白岩山」同16:20 6:30~17:25(10:55)五ヶ瀬スキー場の駐車場より往復。案内なく、道が分からず右往左往して、やむなく、通行止め林道口より林道工事の現場を眺めつつ登り進み、ボウ畑登山口に出て少し安堵。整備された遊歩道進み、途中のゲートを開けて、尾根の急坂登るとフェンス経て上の本道に合流。上へと草地道の稜線を北へ登り進むと向坂山山頂。三角点あり、平坦な樹林の丘の山頂。曇りで朝露、風あり。次へと、稜線を西へ下り、縦走路の距離表示を確認。目指す三方山まで5.6kmと遠いが、時間が早くトライ。平坦な樹林帯のなだらかな稜線を距離表示とテープ等頼りに西へ進む。幾つものピーク経て、岩稜帯も難なく通過して、細尾根登り進むと三方山山頂。三角点あり、樹林の稜線のピーク。風あり、雨粒が樹林から落ちる。曇りで白い世界。ここでも時間が早く、さらに先へと進む。稜線を下り、三方路を遠見、天主方面に下る。途中崩れたザレ場を慎重に下り、次の三差路。そこに三方山登山口の表示あり。その旧林道の広い道を北へ登り進む。山麓の天主と遠見山への道が分かれる分岐に出て、天主へ進むと直ぐに天主、切剥1の表示あり。右側の獣道らしい跡を辿り、稜線尾根に出て北へ登り進むと切剥山頂。旧三角点ある樹林の丘の山頂で、曇りで風あり。そこから北へ稜線を下り本道に合流して下り進む。先に一山見え、林道終点よりその先で、見えた山の麓より左へトラバース道をテープ辿り進む。山の向こう側に出ると更に先に一山見える。そこが目指す山らしい。鞍部への緩やかな斜面を下り、岩稜等の尾根を登り進む。緩やかとなり進むと天主山山頂。二等三角点あり、ブナ樹林等の平坦な山頂。山々、集落の眺め良い。晴れて風あり。先に急坂の別道を確認して来た道に戻る。稜線を鞍部に下り、登り返すが、トラバース道探せず、来た西側の獣道らしきを南へ進む。半分以上進み、横切り通過するため、岩塊の麓へ登ると、テープのある本道に無事合流。後は淡々と林道終点より旧林道進み、2つの三差路経て、三方山に戻る13:30。ひと休みして、稜線の距離表示とテープ等確認しながら向坂山に戻る15:40。1つ残して来た山へと稜線を南へ下り鞍部の三差路の杉越。ここから南へ進むと団体のパーティーに会い挨拶。稜線の山腹の道を進み、獣ゲート2つ経て、岩を登ると白岩山山頂。岩岩の丘の山頂で曇りの世界。風、雨パラあり。来た道を杉越分岐経て、遊歩道を下りボウ畑登山口。後は林道を下り戻る。長いなだらかな稜線歩きの1日が無事終了し満足。

○10:10 宮崎北1山(1山) 曇りパラ雨

○「祇園山」山頂6:50、(揺岳1335m)同8:30 6:10~9:20(3:10) 大石越から各往復。登山口より登るとすぐ西郷軍の史跡。急坂(迂回ルートもあり)登り、岩稜帯経て、植林地の坂を登ると祇園山山頂。二等三角点あり、樹林の丘の山頂で北側が開けているが雲で真っ白。来た道をゆっくり下り登山口7:20。時間があるので、車で北へ進んだ時に案内を見かけた揺岳へ。そのまま舗道を進み、山表示の林道に入り、進む。次の案内がなく、そのまま伐採作業の林道を横移動。登りとなり進むと作業現場。そのまま、岩を崩して作られた作業道を北へ進む。ピーク経て、下りとなり、右側の切通しの岩崖を眺めつつ、左の急斜面の谷を気にしつつ進む。山への登り口を探して下り進むと岩を崩した作業道らしきあり。そこから登り、急坂の植林地の地面が弛い中、笹の小藪を分けて上に登り進むと稜線の本道に合流8:05。稜線を南へ登り進み、1P。後は稜線を幾つものピーク経て進み、大きな山に出て、岩、ロープの急坂道を慎重に登り進むと揺岳山頂。三角点あり、樹林の岩の丘の山頂。強風下、東側開けているが雲で白い世界。帰りは、来た戻る。登って来た急坂を慎重に下り、稜線道を北へ。登り合流点経て、更に下ると作業道終点に合流。後は、登山道を只管、北へ下ると作業道に出て、林道となり、見覚えのある林道分岐(通行止めの案内ある)の案内。これから登る人に挨拶し案内表示探したが不明。

来た林道に出るとすぐ大石越の駐車地に戻る。今回はここまで。

○10月2日(土)、3日(日)熊本東3山(3山)

○10:2 熊本東2山(3山) 晴れ

○「白髪岳」山頂8:50、(国見山1271m 五木)同9:55 6:45~11:55(5:10) 通行止め林舗道口より往復(入る林舗道を間違えてほとんど林舗道歩き)。道路崩壊通行止めより舗道進むとすぐ崩壊工事現場経て、後は緩やかな林舗道を登り進む。通行止めの三差路に出て方向ミスし北へ進み、40分時間ロス。分岐に戻り南の砂利林道へ。大水で掘られた道経て、舗道となり登り進むと山が見え、山腹の舗道進み、白髪岳無線中継局経て、南へ進み、表示のない山入り口。樹林の中に入ると道らしきとテープあり、急坂の道らしきを登ると山頂まで5分の小さな表示板経て、10分弱で白髪岳山頂。樹林の石灰岩の丘の山頂。一等三角点あり、朝日、樹間より山の眺めあり。林舗道に戻り、南へ下り、先に見える山を目指す。この入り口も何も表示なく、テープあり、山入り。植林地の尾根に出て、防護ネットに苦戦しながら稜線尾根を幾つか経て進む。大岩塊となり、大岩の間を慎重に縫うように登り進み、急坂、小薮経て、国見山山頂。三角点あり、樹林の丘の山頂。快晴で山々の眺め良い。来た急坂、大岩を慎重に下り、稜線を辿って下る。途中、林舗道見えた所より急坂を慎重に下り、林舗道に出る。約1時間の山歩き。後は、林舗道を登り進む。一般車が通過して行き、林舗道の選択ミスを悔やみつつ、無線中継局経て、下り、通行止め三差路を経て、駐車地に戻る。

○(久連子岳1240m)山頂14:35、(岩宇土山1347m)同14:55、「上福根山」同15:50 13:25~17:55(4:30) 久連子登山口より往復。登山口よりテープ、ロープ辿り、支尾根。岩の尾根を登り進み祠。前の大岩塊を右へトラバース道進む。ザレたロープの細道を慎重に進み、テープ辿り斜め上に登り進む。草原経て再び樹林に戻り、急斜面のロープのあるザレ道に苦戦しながら進み、旧洞窟跡経て稜線へ。西へ岩尾根を進むと久連子岳山頂。三方崖の岩の山頂で、目指す2山等山々の眺め良い。岩稜線を鞍部に下り、分岐より東へ。樹林帯経て、裸地の急坂の小岩道を歩き、樹林帯に入り、テープ辿り登り進むと岩宇土山山頂。樹林の石灰岩のピークで木漏れ日、山々の眺めあり。ヤマボウシの実を楽しむ。稜線を北東に下り、鞍部より登り返して進むと旧川口林道。横切り、尾根を登り、大岩を迂回し、急坂等経て登り進むと上福根山山頂。三方に道のある樹林の丘の山頂。二等三角点あり、晴天、あり、虫多い。山々の眺めあり。来た道を確認しながら、旧川口林道経て、岩宇土山でひと休み。鞍部の分岐経て、崩れ易い急斜面のロープ道をゆっくり下る。草原経て、急斜面のザレ場、ロープのトラバース道経て、祠に出て一息。後は、岩尾根をゆっくり下って戻る。

○10:3 熊本東1山晴れ

○「似烏帽子山」5:35~11:05(5:30) 元井谷の林舗道の通行止め口より往復(林舗道歩き往復2時間)。通行止め口より林舗道登り進む。一部流れ込んだ土砂がならされた砂利道を進み、登山口6:40。沢沿いの道をテープ等辿り、道を探しながら進む。沢が大水でえぐられている。トラロープのザレ場をそのまま直登(帰りの沢筋の下りとずれてしまう)。岩塊の大沢を縫うようにテープ等探し登り進み、二股を右に進み、急斜面より尾根に取り付きよじ登るように進む。道らしきあり、左より回り込み上へと登ると植林地の急坂。ゆっくり登り進み1Pの支稜線で、伐採跡。南へと植林の中を登り進む。幾つかピーク経て、稜線を登り進むと緩やかな平坦地となりさらに南へ進むと本道に合流7:50。西へ進むと風穴と山案内表示で登山道と分かり安堵。石灰岩山をトラバースし幾つかトラバース道進み、稜線。緩やかな坂を登り進むと似烏帽子山山頂8:15。二等三角点あり、岩の丘の山頂。360度の大展望で、山々の眺め良い。晴天、朝日、小鳥の声、風が心地良い。来た本道を辿り、合流点より先へ本道進む。幾つか山をトラバースして進み、仏石の三差路分岐。ここから登山口へ。最初のみテープあるが、あとは道不明。やむ無く、稜線に沿ってトラバース気味に下り、広い空間に出て、沢筋へ下る。沢より

上部をトラバース気味に下り、大岩で進めなくなり、沢の倒木地帯に下る。ここで、山案内表示とトラロープの残骸を見て、大水等で沢筋が荒れて、登山道が崩壊し、放置されている現状を確認。一息入れ、沢を下る。大水等で削り取られた沢は、目印もなく、真摯に淡々と下り進むしかない。防護柵ネットと支持棒が中主りの掘られた沢を見て唖然とする。下れども一向に林道まで出れるのか心配になりながら、長い沢を慎重に下り進む。大きな岩塊に出て、左に迂回すると見覚えのある長いトラロープ。慎重に下ると最初沢道を間違えた地点に出て、あとはそれらしい道を下り、無事登山口に戻る。考えると、間違っただけで登ったルートが一番歩き易かった。また、山頂の南側のテープが沢山あるルートが通常の登山道だと確信。林舗道をゆっくり、森の景色等を楽しみながら戻る。今回はここまで。

○9月23日~26日 その2

○9:25 熊本東3山 晴れ

○「大金峰」7:40~10:05(2:25) R442からすぐの登山口より往復。階段道、沢を経て、緩やかな道を進む。林道を経て、登り進むと四差路となり東へ登り進むと大金峰山頂8:55。三角点ある樹林の丘の山頂で朝日、青空、虫、小鳥の声あり、来た道に戻る。

○「雁俣山」10:25~12:45(2:20)二本杉峠登山口より往復。遊歩道進み、分岐より階段道等進む。次の分岐で右の直登の階段道を登り上のトラバース道。東へ進むが、水平移動が続くために引き返し、西へ進むとすぐ本道に合流し、急坂を登り進むと雁俣山山頂11:40。三角点あり、樹林の細長い丘の山頂。北側は、急斜面で、集落の眺めあり。来た道に戻る。

○「白鳥山」14:50~17:00(2:10)峰越登山口より往復。緩やかな稜線を南へ進む。幾つものピーク越え、アップダウンし進み、御池分岐よりさらに南へ登り進むと白鳥山山頂。二等三角点ある樹林の疎らな草原、丘の山頂。曇りながら山々の眺めあり、ここも虫が多い。来た道に戻る。ここ2日の夜遅くまでの歩きで疲れ、今日は、ここで休む。

○9:26 熊本東2山 晴れ

○「烏帽子岳」山頂6:50、「五勇山」同7:55 4:50~10:30(5:40) 峰越(峠)登山口より往復。帰りの時間を考え、暗いうちにライト点けて出発。稜線をゆっくり登りピークより下るとぼんさん道と出合う四差路。目指す山々への所要時間の案内あり。北へと稜線を進む。次第に明るくなり、ライトを消して進む。東の空に、朝日が見えて俄然ピッチが上がり、稜線のアップダウンを軽快に進む。山塊が見えて、緩やかな稜線を進むと三差路分岐となり西へ岩稜を進むと烏帽子岳山頂。三角点ある岩、樹林の丘の山頂で晴れて、少し風あり、山々の眺め良い。岩岩を楽しみ歩いて分岐に戻り、東へ稜線を進む。重い荷物の登山者に挨拶し進み、展望岩で山々の大眺望を楽しむ。更にアップダウンし進む。緩やかな坂を進むと最高点、国見岳への分岐を経て、五勇山山頂。細長い稜線の樹林の山頂で、奥の岩稜から山々、集落の眺めが良い。来た道を淡々と戻る。烏帽子手前で地元のグループの方に挨拶し後は、森を楽しみながら稜線に戻る。今回はここまで。

○9月23日(木)~26日(日) 熊本東11山(1山) その1

○9:23 晴れ 熊本東4山

○「矢山岳」14:40~15:15(0:35)山頂まで車で行き散策。西へ進み、休憩小屋と二等三角点を確認。東へ鉄塔目指し林舗道進むと駐車場を経て、階段登り進むと矢山岳山頂の最高点。樹林の丘の山頂で、晴れて山々、集落の眺め良い。セミ、トンボと夏の名残りあり。

○「大行寺山」16:40~17:05(0:25)釈迦院駐車場より往復。大きな寺院の右奥より稜線に出て、西へ進むと程なく大行寺山山頂。三角点、壊れた展望台あり、樹林の稜線のピークで、西へも山が続く。山々の展望あり、来た道戻る。

○「白山」17:45~18:20(0:35)大徳寺先の林道三差路口より往復。林道を東へ進み、草の中の

登山口表示より笹等分けて急坂を登り進むと白山山頂。二等三角点ある樹林の丘の山頂。夕日がキレイで、鹿が鳴き、そよ風、小鳥の声が心地良い。来た道戻る。

○「六本杉山」22:30~23:30(1:00)林舗道(村道)口よりナイトハイクで往復。災害復旧工事で、通行止めの県道より西へ大迂回して県道25号より大通峠公園経て、林舗道をかなり入った端海野キャンプ場奥の林舗道ピークに駐車。道を探し歩く進むと案内表示出て、階段等の遊歩道を確認しながらゆっくり登り進むと六本杉山山頂。三角点あり、樹林の丘の山頂。月明かりあり、夜中で静か。来た道をゆっくり確認しながら戻る。

○9:24 熊本東2山(1山) 晴れ

○(普賢峰:南峰)山頂10:05、「保口岳」同10:30 6:55~13:50(6:55) 川之路肩が崩壊した林道の復旧工事で登山口へ7kmの二股の橋口で通行止め。その地点から往復。林舗道を崩壊復旧工事経て、川沿いに林舗道を登り進み終点の集落7:55。道が不明でやむなく、急坂登り、神社経て、植林地を西へ回り込み、境界標目安に急坂等を上へ登り進むと1Pの図根三角点。一休みして、北へ稜線をアップダウンして進むと鞍部に金属板の案内あり、それを頼りに北へ稜線登り進むと旧林道に出会う。左奥へと林道、草道を分けて進むと別の保口岳登山口9:30。その案内から草分け進み、稜線を登り進む。急坂の岩、ロープ経て、普賢峰山頂。祠ある樹林の丘の山頂で、虫多いが、快晴で山々の眺め良い。鞍部へ急坂等下り、登り返して進むと保口岳山頂。石灰岩、樹林の丘の山頂で、北側の山々の眺め良く静か。二等三角点あり。来た道を引き返す。稜線の笹道を分けて登り返し普賢峰。草地の林道分岐等経て、稜線を南へ下り鞍部の表示。その通りに西へトラバース道辿るがその先は、岩、沢の崖で、危ない目に会いつつ道探すが不明で、慎重に岩沢から樹林帯へ戻り鞍部金属表示に引き返し、来た稜線を1P経て下る。道不明な中、集落経て、林舗道終点12:55出て、一息つく。来た林舗道を戻る。

○「京丈山」山頂17:25 15:30~24:20(8:50)ワナバの谷登山口より道迷いで、大周回。沢道より巻き道進み、上流で沢沿いに谷道登り進む。徒渉点で、高度等確認して右岸に渡りガレて道不明なところや支流からの掘れた沢を道を探し進む。ロープ、テープ等確認しながら進み、水のない沢に出る。後は右に左にとテープ辿り進み、再び水のある沢。二股経て、左岸の急斜面の細い獣道を慎重に通過し上流へ。ここから少し開けたところの右上へ急坂のガレ場登り進むと林道。ここまでは、一般ルートではないことを実感。帰りに大問題発生。林道横切り急斜面の道を登り進み支稜線。そのまま、急坂の尾根を登り進むと主稜線の京丈山と平家山の分岐17:00。西へ稜線をアップダウンして進み、三差路経て、京丈山山頂17:25。二等三角点ある樹林の丘の山頂。ブナ林がよく、夕日、山々の眺めが良い。来た道を急ぎ戻り、平家との分岐より下って林道横切り左岸の急斜面の細い獣道を通過、二股、水のない沢を過ぎると暗くなり、ライト点灯。右岸の掘れた沢を進み、ガレた所から道が不明で、遮二無二右岸進むが岩場で進めなくなり、取りあえず沢を渡るが、急斜面で身動き取れず。後は、高度確認して上へ登るが道らしきがなく、方向も定まらないハイの状態。方向も南へ行くべきが北方向へ進んだりチグハグ。やむなく、登り地点の高度まで下がり手掛かりを探す。沢への急斜面で安全なところで、ライト消し思案。川向こうに走るライン見えて対岸に渡ろうと急斜面を茨等掴みながら下り、川の徒渉は、滑りドボン。靴、ズボン濡らし対岸で絞りだし、取りあえず登り口の高度を探し上流の北へ。岩壁で進めず、引き返す時気付かなかった木に頭をぶつけて、メガネが落ち岩に当たり、片方のレンズが真ん中にヒビが入る。それでも使えるのでそのまま、再度対岸に濡れながら渡り上流目指すが、岩壁と急斜面で、また対岸にずぶ濡れになりながら徒渉し下流から上への道探す。するとすぐ、ガードレールが目に入り、何とか上の林道に出て少し安堵23:00。北へ進み、水場で、一息入れ、登り口の高度でも何もないため、そのまま進み、舗道に出てひと休み。濡れた靴下等絞り地べたで、疲れた体を労る。月明かりに助けられながら林舗道を上へ(北へ)。林舗道終点に来て平家山登山口の案内を見つけて概略の

位置把握 23:30。後は、南へと月明かりに助けられながら、林道を下り、登り返す。ゆっくり登り進むと登りの登山口と車を見つけて大安堵。日付けは、翌日になっていた。反省点： 沢は、無理をしない。明るいうちに見込みをつける。ダメなら、登り時に極め細かくメモを取る。安全なところでライト消し、辺りを確認。出来るか不明だが、無事戻れて、山歩きの深遠を見た思い。

○9月17日~20 その2

○9:19 晴れ 宮崎北3山

○「丹助岳」7:05~7:50(0:45) 遊歩道、旧施設口より往復。林舗道に下り、反時計回りにトラバース道進む。東まで行かずに上へ直登の急坂、岩、ロープ道経て、丹助岳山頂。大岩、かん木、周りが絶壁の岩峰の山頂。朝日、集落、雲海、山々の眺め良い。風、虫の音が静か。来た道を慎重に下って戻る。次の山で、間違えて遊歩道ピークに戻り、二等三角点を確認し丹助岳の岩峰の勇姿に、魅せられる。

○「矢筈岳」東峰9:50、西峰10:15 9:10~10:55(1:45)林舗道の遊歩道登山口より往復。最初丹助の二等三角点へ間違えて進み、戻ってスタート。尾根らしきと遊歩道あり、後者を進む。整備された遊歩道を下って行き鞍部より登り、急坂経て稜線分岐。東へと稜線登り進むと矢筈岳山頂。周り絶壁の岩峰の樹林の丘の山頂。東側は山々の眺め良いが足がすくむ。稜線分岐に戻り西へと細い急坂、ロープ道を登り進むと西峰山頂で、最高点。大岩ある絶壁の山頂で、小さな木の表示札あり。山々の眺め良い。来た道を慎重に下り、戻る。

○「戸川岳」12:50~16:35(3:45)登山口分からず、伐採地の下の林道口より大周回。伐採跡の植林地へコンクリートの急坂登り、終点より、鹿ネットの中を上へ上へと進み、倒木の多い稜線鞍部。北へ進み、振り返ると南が目指す山らしく、鞍部に戻り、南へと稜線登り進む。岩の稜線を幾つか経て、別の反対側が伐採植林されているところに出て稜線を進む。下りのポイントらしきを確認し稜線を進むと大岩壁帯で、取り敢えず東側より獣道進む。一つの大岩壁過ぎて、植林と獣道らしきあり、トライ。手、足、五感をフルに使い、何とか稜線に出る。ここから先に進むと飛んでもない急斜面。躊躇するいとまもなく、手、足等総動員して山に張り付くように上へよじ登る。下りは無理と振り返らずに稜線を進む。1P 経て、さらに進むと赤テープ等出て、道らしくなり、倒木地帯経て進むと戸川岳山頂14:55。二等三角点あり、樹林の丘の山頂。鳥、虫の音のみで、静か。帰りは、稜線よりテープを辿り東へ。急坂で、前の岩登り同様の急坂が現れ、躊躇しつつも慎重に下って行く。尾根から水のない沢に出てゴロ岩ルートを慎重に下る。標高を確認し途中から北方向へトラバースしつつ進むと旧作業道、テープが出て、辿って下ると林道に出た。登山口案内表示あり、他に近くに白い見覚えのある表示板確認し、登山口を見落として上へ車で、進んだ模様。林道を25分位登って無事駐車地に戻れて大安堵。

○9:20 晴れ 大分中央1山、東1山

○「高崎山」3:00~4:45(1:45) 南登山口より往復。ライト点けてナイトハイク。緩やかな登山道を登り進む。野生の猿が出て来るのかと心配しつつ、登り進む。城跡の特徴等の案内を辿り進むと丘に出て、夜景がキレイで、円い月明かりに助けられて高崎山山頂。二等三角点ある樹林の丘の城跡の山頂。街の夜景、円い月、虫の音、風が心地良い。猿に会わずに来た道に戻る。

○「矢筈岳」8:15~9:40(1:25)姫島フェリー港より往復。港で、地図をゲットし、地元の方に山を確認して舗道、林舗道進み、登山口。合目表示等に助けられつつ、蚊と蜘蛛の巣に悩まされながら少し荒れた道を登り進むと矢筈岳山頂。一等三角点、天測点、神社、展望台のある樹林の丘の山頂。晴天で、展望台より国東半島、山々、太平洋の大パノラマを楽しむ。下りは、来た道から、姫の小径の広い歩道を歩き、3合目で、もとの来た道に合流して戻る。久し振りの島の山を楽しむ。 今回はここまで。

○9月17(金)休み~9月20(月) 10山(2山) 福岡南2山(1山)、大分東1山、中央1山、南2山(1山)、宮崎北3山、熊本北1山 その1

○9:17 台風、雨 福岡南1山

○「龍王山」15:20~16:50(1:30)龍王林道口より往復。台風、雨の中、雨具着け出発。植林地の道を沢沿いに進む。沢カニが、幾匹も出て来て向こうは、びっくりで、こちらは、楽しませてもらう。大雨で、水嵩が増す沢沿いで登山道も、水溜まり、沢のような水の流れの中、道を確認しながら、テープ等辿り、上へ上へと登り進む。なだらかとなり龍王山山頂。風、雨あり、三角点のある樹林の丘の山頂だが、ゆっくりもできず、すぐ下山。水嵩が増し沢のような登山道を、確認しながら、沢カニも踏みつぶさないよう下って戻る。

○9:18 曇り後晴れ 福岡南1山(1山)、大分西2山(1山)、熊本北1山

○(鬼岩谷)山頂6:40、「砥石山」同7:05 6:00~8:00(2:00) ショウケ峠より往復。県道より上の橋が通行止めか、迂回路案内を辿り稜線。時折草を分けながら稜線を南へ進む。急坂登ると鬼岩谷山頂。一等三角点ある樹林の稜線のピーク。曇りで、風の影響等で、沢山のヤマボウシの赤い実が落下している。さらに南へ稜線をアップダウンしながら登り進むと砥石山山頂。樹林の稜線のピークで、曇りで、風あり。来た道戻る。

○「三国山」山頂13:10、「国見山」同14:15 12:35~16:00(3:25)宿ヶ峰尾峠より往復。旧参道進み、神社経て、尾根を登り進むと三国山山頂。三角点あり、稜線ピークの石のある樹林の丘の山頂。南側が、山、街の眺め良い。稜線を下り、別道と合流する三差路。幾つかのピーク経て、西へ進むと国見山山頂。三角点ある樹林の丘の山頂。風あり、山々、街の眺め良い。ここは熊本県の地点。来た道を確認しながら戻る。

○(小鈴山1142m)山頂17:20、「酒呑童子山」同17:50 16:35~19:10(2:35) 林舗道通行止め地点より往復。林舗道をどうして通行止めか考えながら登り進むと登山口。この先の林舗道は、全面通行止め。崩壊している模様。ぬかるむ旧駐車場を奥へと進み、遊歩道は通行止めの案内。とりあえず、遊歩道の荒れた道を経て、階段道を登り進む小鈴山山頂。樹林の稜線のピーク。階段道を下り、東へと稜線を進む。鞍部の十字路に南側林道まで少しの案内あり、この道からはすぐと合点がゆく(遊歩道の通行止め)。階段道等遊歩道を進み、急坂等経て、酒呑童子山山頂17:50。二等三角点ある樹林の丘の山頂。曇りで、上のみ青空見える。風あり、地元の有線放送が聞こえる。来た道を登山口に戻り、帰路の林舗道は、円い月明かりに助けられながら薄暗い中、ライト点けずに戻る。

○9月10日(金)休み~12日(日)6山(2山) 宮崎北3山(2山)、大分北3山

○9:10 宮崎北1山 曇り

○「桑原山」14:00~18:00(4:00)宮崎側林舗道終点より往復。入り口の草分け山入。テープ等辿り尾根を進む。大岩等迂回しながら登り進むも、樹海で、道不明。下山者あり、挨拶し道を再確認し登り進むと石に囲まれた図根点。ここから東へと稜線尾根を進む。大岩等を迂回しつつ、急斜面を斜めにけもの道、時折テープを確認しながら登り進む。緩やかになり進むと桑原山山頂。三角点あり、樹林、岩稜線の細長いピーク。静かで、虫が多い白い世界。霧が出て来て辺りが見えず、来た道を辿ったつもりが、道不明に。磁石で、方向確認し、大きな沢等を越えて西へ進み、本道に合流し安堵。テープ、道等確認しながらゆっくり下って無事戻る。

○9:11 1日「伝説のハイカー編」 曇り時折パラ雨 宮崎北2山(2山)

○「鬼の目山」山頂7:40、(国見山1395m)同8:40、(雄鉾岳山 同10:05、雌鉾岳山 同10:30) 5:05~13:05(8:00) キャンプ場口より往復。まだ暗い中、ライト点けて林道を奥へ進み、登山道案内表示を辿る。沢沿いの尾根を登り進む岩岩、トラバース道等経て、大きな沢。大岩等

を慎重に横切り徒渉。対岸も大岩等で、ロープ等掴まりつつ登り対岸。後は、沢沿いに急斜面を上へ登るが、表示ないため、下を見るとテープあり、そちらへ下り引き返し沢沿いに進む。パッケン岩、滝を経て、急坂の岩等の斜面を慎重に登り、本道と合流。上へ上へとテープ等辿り、1P 経て、分岐。テープ辿らず、上へ次のピーク目指し登る。稜線となり、幾つかピーク経て、旧林道。1P 経て、再び林道に下り、国見山登山口経て、西へと進む。大水で、林道が大きく崩壊した所が、鬼の目山登山口。2つルート案内あり、尾根コースへ。急坂登り、尾根、樹林帯等経て、樹木疎らな道らしきをテープ等辿る。緩やかになり鬼の目山山頂。晴れ、朝日、三角点あり。かん木、丘の山頂で、虫多い。山々の眺め良い。来た道を下ったつもりが、稜線を辿り下ると国見山と林道の分岐に出る。急坂を登って稜線。更に東へ登り進み、1P。山は、さらに先に見え、鞍部に下り、登り返すと国見山山頂。三角点あり、岩、樹林の細尾根のピーク。山々の眺めあり、小鳥の声、風あり。虫も多い。来た道を大岩の稜線のピーク経て、分岐に戻り、整備されている公園みたいな所経て、林道に戻る。下りを探すと沢コースあり、岩盤の沢を慎重に下り、鉾岳へのルートを探る。しばらく沢を下り、案内が出て、樹林を抜けると旧林道で、西へ進むと鉾岳入口。沢に下り、雄、雌分岐を雄鉾岳へ。緩やかな坂を進むと程なく鉾岳山山頂。樹林の丘の山頂で、梯子と丸岩、山々の眺め、沢の音が心地良い。2人に挨拶。分岐へ戻り、沢を梯子等岩道を下り、トラバース道経て、急斜面をロープ、梯子経て、登り先程の梯子の大岩。梯子、ロープ経て、丸い大岩の山頂。ここが、雌鉾岳山山頂で、比類ない大きな1枚岩の案内あり、先へ少し散策し先程の2人と挨拶。雄鉾岳のスラブ岩の勇姿が凄い。来たロープ、梯子を慎重に下り、沢を登り、分岐から林道に出てさらに沢へと下る。案内に戻り、沢沿いに下り、テープ等確認し、細い岩沿いのトラバース道をゆっくり慎重に下ると登りに上へ上への目指した分岐。後は、急坂、岩、斜面を慎重に下り、大きな沢の徒渉経て、戻る。

○「釣鐘山」13:15~17:50(4:35)東側林道途中より往復。旧林道を草分け進む。植林地の道を登り進み登山口。谷沿いに草分け登り進み、植林地の樹林帯へ。沢沿いに登り、西郷さんの宿营地跡経て、登り進む。テープ等辿り、直登の沢を淡々と登り進み、大岩経て、緩やかになり稜線の鹿川峠。ここから東へ日隠山の案内あり。今回は、西へ。北奥にテープあり、不思議と思いつつも西へ急坂、岩岩経て、1P。ここは山頂でなく、先に山が見える。西へ進むにも北、南とも急斜面で、躊躇する。やむ無く下れそうな南を岩、木等に掴まり慎重に下る。鞍部に出てテープを見つけ、急坂をゆっくり登り進むと釣鐘山山頂15:45。三角点あり、樹林の平坦な山頂。曇りで、虫多い。地図で、ルートを再確認し、北側に迂回路あることを確認。来た急坂下り、鞍部よりテープ辿り左へ迂回路をアップダウンし進み、鹿川峠。後は、来た急坂をゆっくり慎重に下り、草藪避けて尾根沿いを下り登山口。林道も少しショートカットして無事戻る。今日は、目一杯歩いてかなり疲れた。

○9:12曇り 大分北3山

「大平山(扇山)」5:35~7:45(2:10)ゴルフ場手前舗道口より往復。草地、桜の木のある急坂登り、上のトラバース道に合流し南へ丘陵地を進む。本道と合流し、急坂を草露に濡れながら登り進み、さらに別の管理本道に合流し草原の頂上を目指す。淡々と草原の道を登り、緩やかになり、眺めも良くなり進むと大平山山頂。草原と樹林の境界の

丘の山頂。別府の街、山、草原の眺めを楽しむ。奥に鶴見岳の勇姿を確認し来た草原道、桜の樹林を眺めながら戻る。

○「経塚山」9:20~45(0:25) 林舗道終点より往復。電波等見ながら、舗道、ゲート進み、坂道を登り進むと経塚山山頂。山の眺めあり、キリシマツツジの花もあり。来た道戻る。

○「七ツ石山」10:50~11:45(0:55) 林道終点より往復。云われのある道で、整備された遊歩道を進み、広い尾根道を登り進むと七ツ石山山頂。二等三角点あり、安山岩の岩が幾つかある丘の山頂。

奥に縦走ルートあり。霧で、白い世界。帰りに反対の遊歩道進み、迷いつつも無事戻る。　今回はここまで。

○9月4日(土)、5日(日) 福岡南5山(3山)

○9:4 福岡南3山(3山) 曇りのち晴れ

○「若杉山」山頂12:45、(米之山599m)同13:30 12:25~13:40(1:15) 広い駐車場より各往復。参道から登山道の杉の大木、急斜面を右に眺めつつ登り進み、分岐より左へ樹林を抜けると舗道で、そのまま奥に進むと電波塔のある若杉山山頂。樹林の丘の山頂で、山々の眺めあり。舗道に戻り、奥に進み、奥の院、はさみ岩(鎖あり)等散策し来た道に戻る。駐車場より展望地を目指す、すぐ階段道あり、登り進むと米之山山頂。樹林の丘の祠、三角点のある山頂。展望所まで行かずに引き返す。

○(頭巾山901m)山頂16:40、「三郡山」同17:00、(仏頂山)同17:50、「宝満山」同18:05 14:50~19:45(4:55) 昭和の森入口の駐車場より往復。コロナ対応で園内は、駐車禁止で、入口より、舗道進む。林道を東へと沢沿いに進む(河原谷コース)。川原に出て分岐を左へ。難所の滝は、スルーし沢を登り進むと稜線16:20。北へ稜線を進み、左へ支線進むと頭巾山山頂。樹林の丘の山頂で、沢の音、そよ風のみで静か。本道へ戻り稜線を東へ進むと航空監視基地。舗道を最奥まで進み、登ると三郡山山頂。三角点あり、大岩、かん木の山頂で、曇りで白い世界。稜線に戻り、登り口より更に南下し登り進むと仏頂山山頂。三角点ある樹林の丘の山頂。祠あり、参拝。更に南下し下って近くのキャンプ小屋の人声を聞きつつ、分岐、鞍部経て大岩、階段、鎖の岩岩の急坂を慎重に登ると宝満山山頂。大岩群の祠のある山頂で、街、山々の眺め良い。登って来た大岩を慎重に下り、登り返し仏頂山。幾つか分岐あるが、時刻遅く、回避して、稜線を北へ進む。分岐より、河原谷へ下る18:50。登りにパスした難所ヶ滝の岩壁と滝を眺めて、急ぎ足で、沢を薄暗い中、下り徒渉し道らしきを沢沿いに下る。明かりを点けてからは、ゆっくりと林道を下り進み、登山口の公園に戻ると花火、野外観察等車、人多し。

○9:5 福岡南2山 曇りのち晴れ

○「大根地山」5:05~6:45(1:40) 南側神社口より周回。薄暗い中、出発して沢沿いの道より徒渉点。暗さと大水で流れたかん木等で道不明。やむ無く道らしきを探し回るも分からず、西へ植林地を進み、獣道らしきを北へ急坂、踊り場等繰り返し登り進む。開けて来た草原に出るとそのピークが大根地山山頂6:00。三角点ある草原の丘の山頂で山々、街の眺め良い。東からの本道を下山。平坦な道から急坂下り広場。西へトラバース道進み、後は、つづら折れの道を淡々と下り、沢に出る。道迷い地点で、覆ったかん木で道が分かりにくかったことを確認して戻る。

○「砥上岳」晴れ 7:50~8:40(0:50) 坂根(東側)登山口より往復。林道ゲート経て進み、すぐ山入り。植林地の道を登り、尾根に出て、鉄塔経て、トラバース道進む。急坂となり、つづら折れの道を登り進むと稜線。西へ進むと程なく砥上岳山頂。三角点ある樹林の丘の山頂で、祠あり、参拝8:15。山々、街の眺め良い。来た道を確認しながら戻る。 好天も近くにすぐ登れる山なく今回はここまで。

○8月27日(金)休み~29日(日) 大分南4山(1山)、宮崎北1山(1山)

○8:27 大分南1山(1山)曇りのち晴れ

○「新百姓山」山頂16:05、(桧山1297m)同16:20 14:40~18:20(3:40)杉ヶ越トンネル登山口より往復。植林地を進み、旧神社の傾山縦走路分岐の杉ヶ越。南へ稜線を幾つかピーク経て、登り進むと新百姓山山頂。三角点あり、樹林の丘の山頂。曇りで、時折陽光あり。南へ稜線を下って登り進む。岩、やせ尾根、急坂を登り進むと桧山山頂。樹林の丘の山頂で傾山等山々、雲海の眺め良い。小鳥の声、そよ風が心地良い。来た稜線を広葉樹等の森の豊かさを確認しながら戻る。

○8:28 「伝説のハイカー編」大分南2山、宮崎北1山(1山) 晴れ

○「夏木山」山頂6:40、「五葉岳」同8:05、(お姫山1550m)同8:35、「木山内岳」同12:40 5:10~16:35(11:25)夏木山新道登山口より大周回。半月の明かりに助けられ、林舗道登り登山口。やや薄暗い中、道が分かり難いが、上へ上へと急坂を淡々と登り進む。樹林、岩の尾根を距離表示に助けられながら、朝日を眺めつつ進み、縦走尾根合流点経て夏木山山頂。三角点あり、樹林の丘の山頂。朝日、小鳥の声、北側の傾山等山々の眺め良く、半月、青空が心地良い。南へ進み、南峰の三差路分岐。ここから西へ五葉岳を目指して急坂下り、広い草原の稜線を進む。アセビの群落に道をふさがれ、かき分け等して進む。幾つかのピークを越えて、先に五葉岳が見えるピークでもアセビの群落が立ち塞がり、かき分け等して先に進み、下って登り返すと山頂の岩稜線。そのピークが五葉岳山頂。大岩群の山頂で、快晴のもと、360度のパノラマの眺めを楽しむ。風が心地良い。南へ山あり、急坂を慎重に下り、鞍部より、獣道を進み、丘を越えて、急坂経てお姫山山頂。岩のある丘の山頂で、山々の展望が良い。本道らしきを戻り、鞍部で瀬戸口谷分岐を確認し登り返し五葉岳。後は、来た稜線を辿り進み、三差路分岐で、一休み10:05。まだ時間あり、木山内岳ヘトライ。南へ稜線を進むが、行き止まり等で、2度引き返して南西ヘテープ等辿り下る。途中で地元のベテランの方に会い、付近の山の情報を教えてもらう。稜線をピークを数えながら東へ進み、鞍部へ急坂を下り、長い登り坂を進むと木山内岳山頂。三角点ある細長い稜線の山頂。雲で、日差し隠れ少し助かる。来た道を戻るが途中よりショートカットしようと考え、ラストのピーク先で、東の尾根に水色のテープを確認しトライ。急坂を慎重に辿り、一気に下って行く。下る方向が東よりのため北方向ヘケモノ道を辿り下りて行く。沢の音がして二股に出て、やむ無く沢の右岸をアップダウンしながら進む。すぐ林道に出ると期待したが、川沿い歩きは長く続く。平坦になり、大きな平らな安山岩の岩盤となり、慎重に徒渉し左岸に進むと本道に出会う。観音滝への中間地点で、そのまま下る。小観音滝、幾つかの鉄橋渡り、大きな大斜面の巨大岩の上の鉄橋を通過して、川水で、削られた甌穴群に圧倒されながら、滝の登り口の林道に出る15:05。ちらほら観光客がいる中、長い林道を登り返して駐車口に戻る。

○8:29 大分南1山 晴れ

○「天神原山」5:05~7:05(2:00)林舗道終点手前より往復。月明かりに助けられ、管理遊歩道を西へ進む。途中猪を熊と勘違いしその荒い息遣いを感じつつ、通過し進むと別の林舗道も合わさる登山口。森に入り、1p経て、オレンジ色の朝日を眺めながら、急坂登ると天神原山頂6:05。昨晚北側からの2時間の徒労の山歩きの無念を晴らす。二等三角点あり、樹林の丘の山頂。小鳥の声、虫の音が賑やか。広葉樹等豊かな森を実感しながら来た道を戻る。

暑さもあり、今回はここまで。

○8月21日(土)、22日(日) 福岡南3山 雨時々曇り

○8:21 「古処山」山頂13:55、「屏山」同14:45 12:25~16:35(4:10) 西側遊歩道駐車場より往復。舗道登り進み、林道終点より山入。整備された道を登り進み、急坂、岩道経て古処山山頂。大岩、祠のある樹林の丘の山頂。曇りで風が強い。大岩、ツゲの歩き難い稜線を下り、分岐より下ると樹林帯の稜線となり、アップダウンを繰り返して東へ進むと屏山山頂。三角点あり、樹林の丘の山頂。街、山々の眺め良い。先へ進もうとしたが、時間的に厳しく断念し来た道戻る。稜線で2組に挨拶。途中から雨が降りだし、古処山も雨で、樹林帯の中の道を確認しながら戻る。移動して、南の江川ダムの林道口より、断念した山を雨降る中、向かう。土砂崩れ、大水崩壊ヶ所を迂回等しつつ進み、旧林道終点より、歩道の標識ある所で18:20。少し先までトラバース道進むが、沢に出て薄暗く、先のルートが不明となり、撤退。来た道を確認しながら戻る17:25~19:20(1:55)。

○8:22 「馬見山」5:25~9:15(3:50)曇り時々雨 昨日の再トライ。昨日と同じ、崩壊ヶ所の沢山ある旧林道を迂回等しながら奥へと進む。終点より昨日の歩道標識経て、トラバース道進み、昨日

不明のところに出て、沢の上流へとテープあり、沢沿いに登り進む。岩、急坂等経て、稜線の宇土浦越の十字路。東へ階段等の遊歩道登り進むと筑前茅城跡。さらに東へと稜線を登り進むと馬見山山頂7:30一等三角点ある樹林の丘の平坦な山頂。風強く、雲りで白い世界。来た稜線を宇土浦越経て、南へと急坂、沢沿いの道、トラバース道経て、旧林道終点。崩壊林道を確認しながら戻る。

雨模様の天候で、今回はここまで。

○8月15日(日) 日本山岳誌以外(3山) 大阪北(1山)、京都南(2山)曇り時々晴れ 連日の雨降り
で、待機し遅いスタート。

○(国見山284m)13:20~14:00(0:40)津田サイエンスヒル工業団地奥より往復。雨上がりの遊歩道から登山道に入り、支尾根を進み、駅からの道と合流し、登り進むと国見山山頂。山頂石碑ある樹林の丘の山頂。近くの街並み、遠くの山並みの眺め良い。散策の人に時折会う。来た道確認しながら戻る。

○(甘南備山)15:00~16:00(1:00)園地駐車場より往復。すぐの林舗道ゲートを右へと旧道を登り進み上の舗道。三角点へと進み、雌山のある二等三角点のピーク。樹林の丘の山頂で、街等の展望あり。稜線へ戻り、東へ登り進むと神社経て、甘南備山山頂。標高見直しの碑のある遊歩道の山頂。東へ階段を下り、その先の展望台より街、山々の眺め楽しみ、舗道に出てゲート口のPへ戻る。

○(山吹山393m)曇り 16:55~19:20(2:25)不動川堰堤上の園地より往復。三上山を目指したが、かなり手前で断念して、1P登る。園地より川沿いの遊歩道進み、終点より先何も案内なく、獣道らしきを登り進むと支稜線。境界標あり、それを辿り、北へと登り進む。石垣の分岐より目指す山らしき見えるが遥か先で、稜線道も怪しくなり、断念。石垣伝いに、北へ稜線進むと通行を阻むロープあり、やむ無く、沢へと下り、鉄橋渡ると林道に出る。北へ進み、ピンクテープより作業道登り、鉄塔経て奥へと登り進むと山吹山山頂18:10。三角点ある樹林の丘の山頂。林道に戻り、北奥の爆竹音のする方向進み、田んぼと樹林案内を確認18:30し急ぎ足で、来た道を確認しながら戻りへ。薄暗くなり、登ってきた位置等が確認できないまま、境界標等の稜線を下る。稜線は、沢へ下り、徒渉し下流へ進むとすぐ、テントの明かりが見え、再度小川を徒渉して園地に出て、無事駐車地に戻る。

○8月7日(土)、8日(日)大分北、西5山(1山)

○8:7 大分北2山(1山) 晴れ後雨

○「八面山」12:55~13:30(0:35) 林舗道終点より往復。遊歩道を下り、稜線をアップダウンし、第一、第二の大岩の展望地進み、八面山山頂。二等三角点、樹林の丘の山頂。山々、海、街の眺め良い。夏の日差しで蟬が賑やか。来た道戻る。

○(大牟田山827m)山頂15:30、「樋桶山877m」同16:55 15:00~18:30(3:30)東登山口より往復。テープ等辿り急坂等登り進むと1Pのの大牟田山山頂。三角点あり、樹林の丘の山頂。雨が本降りになり、雨具着ける。倒木地帯経て、稜線を下り、植林地の稜線を進む。次の1Pに三角点あり、方向転換し南へ。痩せ尾根の岩々の稜線を靴が雨で、グチョグチョになる大雨の中、1歩、1歩ゆっくり、慎重に進む。幾つかピーク経て、樋桶山山頂。別の本ルートを確認。樹林の丘の岩のある山頂。雨降りながら空が明るくなり、陽光も顔を出す。痩せ尾根の稜線を慎重に登り下りし、樹林の三角点に戻り、少し安堵。後は、来た道を確認しながら戻る。

○8:8 大分西3山 曇り

○「御前岳」山頂6:30、「釈迦岳」同7:25 5:40~9:00(3:20) 田代口の大看板より往復。林舗道の急坂経て、山入。沢沿いに徒渉等繰り返し、キツネのカミソリ群生地経て進む。急坂のつづら折れの道登り、稜線。西へ進むとすぐ御前岳山頂。石祠ある平坦な山頂。風あり、白い世界。稜線を東へと岩、鎖のある道を進む。急坂の岩の直登の鎖道登ると釈迦岳山頂。一等三角点、石仏、小岩ある樹

林の丘の山頂。虫多く、静か。雲がはれ、南側絶壁で山々の眺め良い。直登の下りを慎重に下り、稜線辿り、来た道を確認しながら下る。シオジ原生林等の豊かな森と湧水群等の水の豊かさを楽しみ戻る。
○「渡神岳」9:35~13:00(3:25)北西の登山口より往復。登山口の案内表示のみで、後は旧林道をピンクテープ辿り、奥の旧林道を上へ。旧作業道の交差点に出、上へ進むと1P。山が違う様子。辺りを探し回る。1Pの三角点も確認。山の方角を再確認し、遥か南東に見える山が目指す山のよう。その方向へ下り、ハイランドからの本道に合流。稜線を下り進み、林舗道の地藏様峠を横切り進み、次の旧林道が登山口。稜線を進み、目指す山の麓よりトラバースの片側急斜面を慎重に進み、奥より登り、小鞍部。ここから北へ急坂、階段の鎖ロープ道を笹分けて進み、緩やか道、急坂経て、渡神岳山頂11:35。三角点あり、祠ある樹林の丘の山頂。山々の眺めあり、虫多い。来た急坂を慎重に下り、トラバース道もゆっくり通過し、来た道を確認しながら無事戻る。台風の影響で、天候悪化傾向のため、今回はここまで。

○7月30(金)休み 晴れ 日本山岳誌以外 京都北(2山)

○(品谷山)山頂13:30、(小野村割岳)同16:00 12:30~17:35(5:05)佐々里峠より各往復。峠より西へ稜線を電波塔経て、幾つかのピーク経て進む。別ルートと合流し先に目指す山が見える。なだらかな稜線をアップダウンしながら進むと品谷山山頂。樹林の丘の山頂で、二等三角点あり。セミ、虫の音のみで静か。来た稜線を佐々里峠へと戻り14:20、そのまま東へ。梯子、ロープ、岩地の道を進み、ブナの大木に感動しつつ、目安の番号表示を確認しながら稜線を進む。カミナリ杉等の巨樹のある豊かな森の稜線をアップダウンしながら進む、小野村割岳山頂。三角点あり、樹林の丘の山頂。木漏れ日、そよ風が心地良い。来た道を確認しながら、戻りも登り坂が多い稜線を実感しつつ峠へ戻る。明日以降 105周年記念山行のため、今回は、ここまで。

○7月21日~25日 その2

○7:23 大分北2山、福岡南1山(1山) 晴れ

○「中摩殿畑山」8:40~11:30(2:50) 曇り 岩伏林道終点より往復。車で終点手前に駐車し急坂登り、堰堤脇の道を進み、急坂コンクリート道経て上の林舗道に出る。舗道を横切り、樹林帯を登り進むとさらに上の林道。西へ下り進むと登山口。急坂登り、尾根を登り進むと中摩殿畑山山頂9:40。三角点あり、樹林の丘の神社、社のある山頂。風あり、鳥の声、山々の眺め良い。来た道戻り、林舗道を東へ辿ったが、目指す山は、遠いため引き返す(1:10の徒労)。舗道口より急坂を戻る。

○「檜原山:ヒバルヤマ」12:55~13:55(1:00)正平寺駐車場より往復。参道の石段を登り進み、岩地帯を進む。大岩の針の耳を潜り抜け進むと奥の院。さらに奥に進むと檜原山山頂。三角点あり、岩、祠のある樹林の丘の山頂。木漏れ日、風が心地良い。下りルート経て戻る。

○(一ノ岳1125m)山頂17:25、「犬ヶ岳」同18:05、15:40~20:15(4:35) 野峠より往復。遅い時間で、行けるか不明だが、トライ。自然舗道を登り稜線。岩稜の多いルートで、細い稜線、岩の急坂道等迂回ルート取らずに東へと進む。歩道の案内等見ながら登り進み、北側へロープが下がっているところも気にせず、登り進むと一ノ岳山頂。樹林、丘のテーブル、イスのある山頂で山々の眺めあり。稜線を下り大竿峠、登り返し進むと犬ヶ岳山頂。三角点、石積みの展望台ある樹林の丘の山頂。南側の山々の眺め良い。風あり。来た道を一ノ岳経て下り、来る時見た、やわなトラロープが、下の旧林道に続いており、暗くなるため、そのロープより慎重に旧林道に下り、沢山の落石等のある林道を注意しながら下って行く。途中、夕日が、北側の空を染めて鮮やかな展望を見せてくれた。只管林道を下り、舗道に出て石が避けられたところからスピードが上がり、あっという間に林舗道のゲートのR496に出て、薄暗い中、無事に野峠に戻る。

○7:24 福岡南3山(2山) 晴れ

○「鷹の巣山」山頂5:45、(三の岳990m)同6:45 5:15~8:05(2:50) 北側林道ゲートロより往復。林舗道進み、薬師峠よりテープ等辿り、ロープ等の岩のある急坂登り、稜線に出て左へ進むと鷹の巣山:一の岳山頂。三角点ある樹林の丘の山頂で、朝日と東へと続く2山の眺めあり。迷いつつも急坂を慎重に下り、岩の稜線を東へ進む。次の岩峰もテープ、ロープ等目安に慎重に登り、二の岳(表示わずか)。急岩坂をゆっくり確認しながら下り、さらに東へ。野峠からの合流点が、3つ目の岩峰入口。ロープ等目安に狭い垂直に近い岩峰を手と足がかりを確認しながら、淡々と上へと登り、稜線に出て進むと三の岳山頂。石柱ある樹林の岩峰の上の山頂で、朝日、彦山等の山々の眺め良い。風あり、来た道を慎重に確認しながら戻る。一の岳から2組の登山者に会い挨拶。人気の山か。

○「岳滅鬼山」山頂11:00、(障子ヶ岳948m)同12:55 8:55~14:50(5:55)北側林舗道途中より周回。大水で、壊れた舗道進み、黒岩山登山口。川を徒渉し、旧小屋に峠への案内あり、登り進む。道が分かりにくい、上へと進み、黒岩山の案内あるも道らしきなく断念。倒木等の多い旧林道を進むと林道の十字路。地元の道等の見回りの2人に会い挨拶し来た道に山案内の登山口があることを教えてもらう。林道を横切り旧作業道を進む。大水での大崩壊地先に岳滅鬼山登山口を確認。樹林の中を進み、岳滅鬼峠。ここから急坂の稜線を登り、梯子、ロープ等に助けられ登り進む。1p経て、下り、登り返すと最高点。一息入れて、先の稜線へ。稜線を下り、開けた草原の稜線を登り進むと岳滅鬼山山頂。草原、樹林の丘の山頂。三角点あり、山々の眺め良く、セミの声あり。来た道を急坂は、慎重に下り林道十字路。北へ林道を下り進み、登り返して進むと反対側からの林舗道終点が、障子ヶ岳の登山口。植林地の中を進み、急坂は、木等に掴まり登り進む。稜線に出て、奥へと登り進むと障子ヶ岳山頂。樹林の丘の山頂でセミの声あり。来た道戻り、十字路を直進し、長い林道の迂回歩き。駆除鹿埋め立てや異臭のするところ、林道の大水崩壊地等を眺めながら、舗道経て、駐車地に戻る。

○「求菩提山」17:20~18:40(1:20)座主坊園地駐車場より往復。遅い出発で、急ぎ足で、広い参道の石段を登り進む。さらに奥の鬼が作った急な石段を一気に登り進むと求菩提山山頂。上宮神社の樹林の中の山頂で、大木、大岩が多い。夕日を見ながら一息。来た石の階段道をゆっくり戻る。

○7:25 福岡東1山、大分北1山(1山) 曇り後晴れ

○「雁股山」5:25~7:30(2:05)隧道手前の自然歩道口より往復。歩道登り雁股峠。西へ稜線を登り進む。林舗道横切り登り進むと雁股山山頂。二等三角点ある樹林の稜線のピーク。朝日、風が気持ち良い。奥の西峰へと稜線を下り、登り返し進むと西峰の最高点。岩、樹林の稜線のピークで、来た道戻る。

○(雲ヶ岳)山頂10:30、「御許山:オモトヤマ」同11:05 9:50~12:10(2:20) 御許山への車道分らず、雲ヶ岳駐車場より往復。林舗道経て進み、道が分かりにくい樹林帯より、岩岩の、急坂道を慎重に登り進むと雲ヶ岳山頂。一等三角点のある樹林の平坦な山頂。山、街、海の眺めあり、曇りで、風、小鳥の声あり。奥へと平坦な道から急坂を下り進むと寺からのルートと合流し、広い道を進む。急坂からの車道と合流し進むと車道終点の広い平坦なところが御許山山頂。神社の山頂で夏の日差しが顔を出す。来た道を確認しながら戻る。今回はここまで。

○7月21(水)~25(日)九州北部合計19山。 その1 お陰様で3900山を踏破でき、皆様に御礼申し上げます。 ◎4000名山目は、来年5~7月頃北海道の「空沼岳」を予定。天候等の課題はありますが、事前にお知らせ出来ればと考えていますので、お楽しみに。

○7:21 大分北「3山」晴れのち曇り

○「立石山」10:45~12:35(1:50)別荘地奥の林道終点より往復。道不明ながら方向を確認して、植林地を進み、東へと急坂登り尾根稜線に出て本道らしきと合流。テープ等辿り、急坂等を北へ登り進むと立石山山頂。三角点あり、樹林の稜線のピーク。奥の最高点を確認し来た道を確認しながら戻る。

○「福石山」 13:30~15:25(1:55)ゴルフ場口より往復。登山口不明でやむ無く、ゴルフ場をフェンス沿いに奥へと進み、急坂の斜面を草等分け進み、本道のテープ道と合流。尾根稜線の急坂等を草等分けつつ、登り進むと稜線に合流。東へ進むと1p 経て、福石山山頂。草原の丘の山頂で、湯布院、由布岳等の展望を楽しみ、来た道等確認しながら、大規模工事現場脇を通り戻る。

○「野稲岳」 16:20~17:50(1:30)林道4差路口より往復。登山口不明で、やむ無く目指す方向確認し樹林の中を進む。旧林道経て、南へと登り進む。幾つかピーク経て、奥へと登り進むと野稲岳山頂。二等三角点あり、電波塔脇の平坦な樹林の山頂。曇りで、風が強い。鉄塔への舗道道は、どこから来ているのか不思議に思いながら、来た道を確認しながら戻る。

○7:22 大分北「4山」小雨のち晴れ

○「崩平山」クエヒラヤマ 5:55~12:55(7:00)朝日台展望台より大周回。車で送ってくれた方に感謝。林舗道の獣ゲート経て東へ、更に西へと登り進む。広い伐採等重機のある土場より、獣道辿り、作業道等経て上へ上へと登り進む。急坂経て、平坦な迷い易い樹林帯経て、小雨の中、草地の稜線。獣道らしきトラバース道経て電柱のある本道らしきに出て、北へ登り進むと、電波等ある山頂。奥に進むと崩平山山頂7:00。三角点ある平坦な山頂で、電波塔群あり、曇りで風が強い。来た道辿り下るも、例の迷いの樹林帯の入り口まで行くが、そこから歩き易い稜線尾根を辿ってしまう。これが、誤りの元。そのまま下り、急作業道経て、林道に出たことを幸いに、思い込みで、林舗道歩き回る。誤りに気づき旧作業道と林舗道の出合い経て、舗道を登り進む。ピークで、テープ等辿り、途中、尾根へ登り、獣道の急な岩場等経て、草地の道らしきを草をかき分け辿る。進むと2度目の崩平山山頂9:50。ここから、最初に来た道の電波塔を電線に沿って下り、最初の迷いの樹林帯にも出ず、道らしきを下ると林道。上へ登り進むと2度目のピークの登山口と気づかず、同じ林道下り、3度目の旧作業道と林舗道出合い。林舗道のピークに戻り、やむ無く、そのまま林舗道を下り続け、車の通過音に励まされ、何とか主要道のR11に出て12:00、安堵。方向が掴めず、坂を登り進むと反対側へ進んでいたことに気づき、引き返す。交通量多く、危険な歩きと見て、親切な方が、車に乗せてくれて、朝日台の展望台まで約5km走ってもらい無事駐車地に戻る。車の方に大感謝。近いと思った山で、とんだ道迷いとなり、疲労困憊の中、大反省。

○「青野山」 13:50~16:00(2:10)九重IC近くの住宅地奥より往復。道不明ながら、林舗道を進み、道らしきを上へ登り進むと急坂の岩壁が立ちはだかり、巻き道探す。すぐに上へ抜けられそうな1点を見つけて、五感を研ぎ澄まし、手と足場を確認しつつ、岩、木に張り付くように岩壁の間を上へすり抜けて、上の植林地に出る。奥へ奥へと林道を進み、植林地の稜線を進むと青野山山頂。二等三角点ある植林地の丘の山頂で、虫多い。木漏れ日の中、新しい林道も見える。来た道を確認しながら下り、岩壁帯は、外れの急坂の獣道を慎重に下る。西側に下り過ぎ、別の林道に出て、上りに聞いた重機の災害工事音を辿り、工事現場に経て、林道に出て無事戻る。

○「万年:ハネ山」 16:55~18:25(1:30)林舗道ゲートより往復。舗道登り進み、牧草地の間の道をアップダウンしながら進む。獣ゲート経て、キャンプ炊事場、その先のコンクリート階段道を登り進むと万年山山頂。一等三角点あり、草原の山頂で、山々の眺め良い。虫多く、風あり、来た道戻る。

○「伐株山」 18:45~19:10(0:25)車で山頂まで行き散策。電波塔ある丘の山頂で、表示石らしきを確認。街の眺め良い。奥へと針の耳の細い急坂岩場道を少し歩き戻る。ここで、命の次に大事な手帳を車の上に乘せたまま、移動してきたことに気づき、万年山からの林舗道で大搜索したが(3時間)、見つからずがっくり。翌日再度林舗道探しに道を下ると奇跡的に手帳を見つけて大安堵。

○7月17日(土)、18日(日) 日本山岳誌以外(5山)

○7:17 奈良南(4山) 曇り時々雨

○(カヤノ山約1085m)山頂12:45、(天狗山993m)同13:00、(船峯山938m)同13:45、(黒石山)同14:15 11:40~17:05(5:25) 高見峠より往復。整備された遊歩道を進み、2度目の高見山。二等三角点あり、神社参拝して北へ稜線を進む。アップダウンしながら稜線を進み、三差路分岐(三峰分岐)のカヤノ山山頂。樹林の丘の山頂で、曇り、パラ雨あり。桃俣へと進む。稜線を下り気味に進み、次の三差路分岐(桃俣、黒石)が天狗山山頂。樹林の丘の山頂。北へ稜線進み、大岩の下を左に迂回し稜線より戻り、登ると大岩上の大天狗岩で、山々の眺めを楽しみ、稜線に戻り、北へ進むと船峯山山頂。樹林の丘の稜線のピークで、風あり。更に稜線を北へ。開けた植林伐採跡に出て、遠くに集落が見える。草道等分け進み、集落からの道と合流し登り進むと黒石山山頂。三角点あり、樹林の丘の山頂。風、パラ雨あり、奥へと散策し来た道を分岐等確認しながら、稜線最高峰の高見山経て戻る。

○7:18 奈良南(1山) 小雨のち曇り

○(両佛山)4:55~8:15(3:20) 北側の麦谷集落先の工事ゲート口より周回往復。小雨の中、林舗道に登り進む。右に川を見て登り進むと仮橋経て、林舗道整備の工事現場。終点より先に道なく、やむ無く急坂のザレバをゆっくり、慎重にケモノ道らしきを西へとよじ登る。崩壊沢を左に見つつ、植林地を上へ上へと登り進む。草地、段差のある植林地を上へ登り進むと旧林道。さらにショートカットし上へ登ると林道で、すぐ先で、左の稜線によじ登る。尾根稜線に出るとテープあり、西へ稜線に登り進むと両佛山山頂6:45。三角点あり、樹林の丘の山頂で、パラ雨で、風が強い。奥の電波塔確認し来た道確認しながら戻る。途中、黄色テープの杣道辿り、軽快に下るが、沢筋に出て道がわからず、沢沿いに慎重にトラバース道辿る。急斜面の植林地で、テープを慎重に辿り、遥か下に堰堤が見え少し安堵。急坂のザレた道らしきを更に慎重に下り、仮橋下の沢を徒渉し、古いトラロープを慎重によじ登り林舗道に無事に出て戻る。その後例会(明神岳)に参加。

○7月11日(日)日本山岳誌以外 京都中央(3山) 晴れのち曇り、雨

○(十三石山)9:35~11:10(1:35)氷室神社より往復。前回のリベンジ。林舗道、遊歩道、獣ゲート経て、遊歩道分岐より山入。植林の中の稜線道を北東に進み、満樹峠へ下り、稜線の倒木地帯経て、十三石山山頂。三角点ある、樹林の丘の山頂で、南側に街、山の眺めあり。来た道戻る。

○(瓢箪崩山)12:20~15:10(2:50)江文峠より往復。遊歩道登山口より稜線を案内表示辿り、アップダウンしながら進み、寒谷峠。右のトラバース道進み、稜線より引き返して瓢箪崩山山頂。三角点あり、樹林の丘の山頂で山々、街の眺め良い。稜線を寒谷峠へ下り十字路経て、稜線進むが、分岐で道迷い。表示に出合わないまま、稜線をかなり下まで下り、林道に出る。北へと急ぎ足で林道を進む。案内表示で位置確認して林道を北上。登山道になり、沢沿いの道を急ぎ足で、大汗をかきながら、稜線の本道に戻り、時間等ロスしたが安堵。雷がなる中、急ぎ足で、稜線に戻り、小雨ぱらつく中、江文峠に戻る。

○(天ヶ岳)16:35~17:20(0:45)百井峠より往復。大雨の後のパラ雨の中、稜線をアップダウンしながら進む。シャクナゲ道と合流し林道沿いの道を進むと天ヶ岳山頂。樹林の丘の山頂。小雨で、来た道を確認しながら夕日に照らされた山々の展望を楽しみつつ戻る。

○7月3日(土)、4日(日) 日本山岳誌以外(8山)

○7:3 京都中央(4山) 晴れのち曇り

○(城山480m)10:15~30(0:15)林舗道ゲートより往復。林道進み、上へ登るとすぐ城山山頂。樹林の平坦な山頂。木漏れ日、風、鳥の声あり。十三石山への途中の山。

○(寺山500m)山頂11:05、(白木谷山565m)同12:40 10:40~16:20(5:40)氷室神社より往復。肝心の十三石山へは、ルートミスで行けず。神社より北へ進み、作業場の奥へ進み、急坂登り、本道合流し東へ進むと寺山山頂。樹林の平坦な山頂。散策し来た道戻り、そのまま、稜線を進

み、林道に出て奥へ進むと下り、ゲート経て沢を渡り、北へ進む。稜線に出て進むとミニ十字路で北へ進む。途中支線尾根を確認歩き。本道に戻り、登山道から植林作業道へ。そのまま道なりに登り進むとピークが白木谷山山頂。三角点ある樹林の丘の山頂。来た道戻り、幾度も山を探し、林道、谷、尾根を往復し時間が過ぎる。最初の支線尾根を再度別方向から登る等の徒労経て、戻り486mの1p、再び寺山経て神社の駐車地に戻る。

○(貴船山)17:20~19:25(2:05)滝谷峠への林舗道脇の広い駐車場より周回。前の山で時間を取り、川沿いの納涼風景を車で眺めながら、奥の駐車地に到着。峠への林道を進む。林道の崩壊地を2つ経て川の徒渉手前の植林急坂を西へ。上へ上へと登り進み、作業道。さらに西へと登り進み、滝谷峠からの道を横切り、上の山を西奥へと進むが、案内等なく、東に目指す山らしきが見え、トラバ道戻り、滝谷峠からの本道に合流し南へ進むと貴船山山頂。最高点のヒノキ樹林の丘の山頂。小鳥、虫の音のみで静か。来た道戻り、途中からテープ辿り下ると駐車場のすぐ下の舗道に出た。薄暮に戻り、ヒルに喰われたことを確認。

○7:4 滋賀西(4山)小雨のち曇り

○(釣瓶岳1098m)5:20~8:35(3:15)栃生登山口より往復。林道整備の迂回路経て植林地のつづら折れの道を登り進む。なだらかなトラバース道を進み、谷へのルートは通行止めの分岐経て、尾根を登り進むとイワクタ峠。三差路分岐で東に目指す山が見え、下ってから急坂等登り進むと釣瓶岳山頂7:10。樹林の丘の境界石ある山頂で曇りでパラ雨。来た道を淡々と戻る。長靴に付いたヒル2匹を確認。2箇所喰われ、昨日から計3ヶ所を喰われた。

○(御殿山1097m)山頂12:05、(コヤマノ岳1181m)同13:55、(シャクシコバノ頭1121m)同14:30 9:45~16:30(6:45) 車で来たため、例会に武奈ヶ岳の往復にて参加。葛川坊村バス停留所より神社、寺院経て、御殿山コースへ。つづら折れ道を登り進み、ブナ樹林帯。トラバース道、谷道等経て、夏道と冬道の合流点で一休み。なだらかな道を登り進むと御殿山山頂。樹林の丘の山頂。武奈ヶ岳が見える。急坂を下りワサビ峠経て、心地良い稜線歩き。急坂登り、1P経て進むと武奈ヶ岳山頂(2度目で、岩々の丘の山頂。シートに包まれた三角点あり)。南東へ急坂下り、八雲ヶ原分岐の三差路で、例会を離れ、南へ進むとすぐコヤマノ岳山頂。ブナ等樹林の丘の山頂。さらに南へ下り、分岐を間違え引き返してワサビ峠へのルートを下る。十字路に出て、南に1山あり、樹林の道を登り進むとシャクシコバノ頭山頂。樹林の丘の山頂で、武奈ヶ岳等山々の眺め良い。十字路に戻り、西のワサビ峠へ。川へ下り、道が南の川下へ続くため、川まで下り、別ルートないか確認するも道なく、川沿いに南へ下り本道に合流し徒渉して、沢を詰める。谷をテープ辿り登り進む。樹林帯に出て進むとワサビ峠で、後は、来た道を確認しながら、軽快に下り、登山口経て駐車地に戻る。

○6月19日(土)、20日(日) 高知西、中央1山(4山) これで、日本山岳誌の高知県及び四国を踏破。同山岳誌の残りは、北海道、九州で、どちらも遠方で、島の山も多く、困難が予想される。

取り敢えず、日本山岳誌以外を含めた4000名山を目指すことで、山歩きを続けよう。

○6:19 高知西1山(1山) 曇りのち晴れ

○(八丁山)9:45~11:20(1:35)お墓口より橘川古道を往復。林舗道進み、すぐ古道登山口。登ると沢へのテープ等に惑い時間を喰う。奥へとなだらかな道を進むと杖立地藏。稜線を淡々と進み八丁山山頂。樹林の稜線のピークで、三角点あり。朝の雨が止み、風ある曇りの天候で、太平洋、海岸線の眺め良い。来た道戻る。

○「妹背山」15:25~17:50(2:25)沖の島母島港より往復。定期船の朝の第1の便に間に合わず、第2便で宿を予約し移動。港に着くとその宿の車で登山口まで送ってもらい時間短縮。学校隣の登山口より、テープ等辿り、樹林の急坂登り進む。林道に出てそのまま、林道進むと林道と山道の分岐。右に

山道を下り、旧小屋、神社分岐経て、奥へと登り進む。再び林道と合流するとすぐ妹背山山頂。伐採で開けた樹林の丘の山頂。一等三角点あり、展望台より海の眺め良い。風あるも日差し強い。来た道を確認しながら分岐に戻り、少し下ると山伏神社で、老いたスタジイの大きな木を確認して登山口に戻る。後は、舗道を迷いつつも下り、神社、階段道等経て港に戻る。

○6:20 高知西、中央(3山)晴れ

○(石見寺山)10:20~12:05(1:45)石見寺駐車場より往復。石段登り、お寺を参拝し、奥の墓地を経て、四国八十八ヶ所の地蔵巡りながら稜線を北へ進んで行く。山桃が旬で、沢山の実が落ちている。その甘酸っぱさを楽しみながら進み、竹林を経て石見寺山山頂。樹林の平坦な山頂で、二等三角点あり。晴れて日差し強い中、虫、鳥の声聞こえ静か。海、山、川の眺め良い。来た道戻る。

○(石土ノ森)山頂15:10、(清滝山368m)同15:30 14:20~16:05(1:45)清滝寺駐車場より周回。寺より西へ舗道経て進み、道らしきを北へ急坂登ると上の林舗道。東へ進み、尾根末端の広場より、カーゴ道、トラバ道辿る。幾つかの八十八ヶ所の石仏経て、舗道に出る。案内が特になく、西への稜線目指し舗道途中より右に入り、進むと石土ノ森登山口。清滝山はどこかともいながらも、稜線の尾根を只管登り進むと石土ノ森山頂。樹林の平坦な神社のある山頂。二等三角点あり、街、山々の眺め良い。来た道戻りつつ、清滝山探し。下りに1Pあり、山頂標識あり。そこに清滝山の小さな表示あり。樹林の丘の山頂。後は、登山口に戻り、カーゴ道基点に出て、林舗道下る。美味しい湧水を楽しみつつ戻る。

○6月12日(土) 日本山岳誌以外 大阪南(3山)、奈良北(3山) 晴れのち曇り

○(旗立山約490m)山頂7:10、(大原山)同7:30 6:10~8:35(2:25)西側墓地近くより往復。博物館、給水施設の舗道終点経て、客坊谷ハイキングコースを往復。沢沿いに登り、橋の下経て階段等道進み、展望地。舗道を横切り、登り進むと旗立山分岐ですぐ旗立山山頂。樹林のイス、テーブルある丘の山頂。更に登り進むと「ぼくらの広場」でピンクのツツジが丁度見頃。街の眺めが良い。奥へ池経て進むと1Pの広場で、さらに奥に進むと大原山山頂。樹林の中の三角点ある広場の表示あり。来た道戻る。

○(高尾山)9:20~10:10(0:50)関電信貴変電所Pより往復。舗道を下り、入り口の鳥居より急坂、ロープ道経て高尾山山頂。大きな岩盤の上の山頂。三角点ある樹林の丘の山頂。来た道戻る。

○(国見山)12:30~13:35(1:05)ゴルフ場手前より周回。ゴルフ場端の案内よりすぐの階段登ると給水施設で、小藪分け上へ進むと本道合流。東へ進むが案内表示で間違いに気づき、来た道戻り、三差路経て、稜線進むと国見山山頂。開かれた樹林の丘の山頂。旧米相場の旗振り中継地(暗峠から)で検証の仮旗あり。イス、テーブルあり、山の眺めあり、日差しが強い。分岐へ戻り、南側へ下り、さらに途中より獣道らしきを左へ沢へ下る。小藪分けて畑道経て、舗道に出て、ゆるやかな坂を登り、駐車地に戻る。

○(芳山)14:10~15:10(1:00)石切峠より往復。駐車場より舗道進み、峠の茶屋経て、以前崩壊していた舗道は、R2年度事業で復旧。先へ進み、右の山側に赤テープ見つけて上へ登ると旧林道の登山道。稜線をアップダウンし北へ進み、急坂経て、芳山山頂。三角点、岩のある樹林の丘の山頂。来た道戻る。

○(雲ヶ瀬山)17:45~19:10(1:25)高見大峠より往復。移動等に時間を要して遅い出発。樹林の中、左へ2度迷い進み、本道に戻り、三角点経て、さらにアップダウンして進むと雲ヶ瀬山山頂。稜線ピークの樹林の山頂。北西にうつすら山の眺めあり。淡々と来た道を樹林の薄暗い中下り、薄暮に戻る。明日予報雨で今回は、ここまで。

○6月5日(土)、6日(日)島根北(隠岐ノ島含む)1山(4山) これで日本山岳誌の島根県及び中国

地方を遂に踏破。

○6:5 「大満寺山」12:05~13:55(1:50) 晴れ 南側の有木(あらき)登山口より往復。隠岐ノ島の山で、西郷港で、レンタカー借りるが、昨年的大雨等で、メインの2つの林道が、通行止めで、想定していなかった有木ルートよりトライ。帰りのフェリーに間に合うか不明で、取り敢えず現場へ。林舗道進み、地元の鳥撮影の方が車を止めてある地点、一部土砂流出の広い駐車地より、その方に教えてもらい、少し荒れた林舗道を登り進むと間もなく、登山口。沢に慎重に下り、徒渉し、2つの川の合流点より、山入り。つづら折れの整備された道を登り進むと旧寺社跡の広場。奥に草を分け進み、奥の道へと登山道を登って行く。トラバース道等進むと別ルートと合流。稜線の急坂、岩稜の滑り易い草地道を進むと大満寺山山頂。樹林、岩、大きな方位盤のある丘の山頂。一等三角点あり、海、島、港の眺め良い。晴れて風あり。奥に山あるが、草の岩道で、歩き難く断念し来た道戻る。途中の旧寺社に青のメッシュで、覆われた沢山の地蔵をチラ見し、登山口に戻り、沢筋の眺め楽しみながら駐車地に戻る。フェリーで松江の七類港へ戻る。

○(馬着山)18:10~19:10(1:00)美保関の駐車場より往復。港、街を経て仏谷寺。お墓の先に道が見え、上へ上へと登ると切通の遊歩道。後は、整備された階段道等登り進み馬着山山頂。ベンチある樹林の丘の山頂で、海、山、街の眺め良い。日本海に夕日が映える。来た道戻り、寺から石畳の街をそぞろ歩きし、大きな神社を参拝し、戻る。

○6:6 晴れ 島根北(3山)

○(和久羅山)山頂4:55、(弥勒山244m)同5:10 4:25~5:45(1:20)南登山口より往復。薄暗い中出発し、整備された道、つづら折れ道進むと和久羅山山頂。広場の反射板、三角点ある山頂。日の出、松江の街、海の眺め楽しむ。縦走路を北へ急坂下り、登り返し、分岐を西へと登り進むと弥勒山山頂。樹林の丘の山頂で、来た道に戻る。登山口で早朝ながら地元の方2組に挨拶。身近な山を実感。○(大平山)6:20~8:05(1:45)トンネル南の山の西側登山口より往復。鬱蒼とした道進み、遊歩道の表示出て、整備された階段等道進む。林舗道脇経て、尾根となり、急坂の両側が木製の手摺の階段道登り進むと稜線。アップダウンし進むと大平山山頂。樹林の丘の山頂で、削られた三角点あり。街、海、山の眺め、風、朝日、小鳥の声を楽しみ戻る。今回は、ここまで。

○5月29日(土)、30日(日)島根北 隠岐諸島 島前 3山 これで日本山岳誌の島根及び中国地方の残りは、隠岐 島後の1山となり王手。

○5:29 島根北1山

○「焼火山」17:45~18:55(1:10) 晴れ 出発遅れ、フェリーで、移動し西ノ島 別府港よりレンタカーで移動。神社登山口駐車場より往復。コンクリート階段等登り進み、鳥居より左へなだらかな道を進むと分岐となり、右へ進むと焼火山山頂。電波塔ある丘の山頂で、三角点あり、海、山の眺めあり。夕日、小鳥の声あり。分岐に戻り奥の展望台より眺め等楽しみ、焼火神社を参拝して、キレイな夕日を眺めながら戻る。

○5:30 島根北2山 晴れ

○「高崎山」4:40~7:15(2:35)西側林舗道登山口より往復。急坂、草地の道を登り、後は、稜線をアップダウンしながら、進む。オレンジ色の朝日を眺めつつ、草地の道を時折、分けながら進む。目指す山が見えて、左へ樹林のトラバースの歩き易い道を進み、支尾根テープより、ジグザグに上へ、上へ登り進むと高崎山山頂。一等三角点のある樹林の丘の山頂6:00。晴れて、陽光、青空、小鳥の声、船の音、そよ風と島の山の朝を満喫し来た道を確認しながら戻る。

○「アカハゲ山」10:15~12:35(2:20)知夫里島 来居港よりタクシーでアカハゲ山山頂。一等三角点ある平坦な山頂で、展望台あり、島々、海、山の眺めを楽しむ。帰りは、好天のもと、放牧され

ている牛を間近で、おいかけっこするように舗道を下る。途中、道迷いしつつ、タヌキ2匹見かけ、海、海岸、放牧の眺め楽しむ。以外と距離が長く、地図を眺めて、フェリーの時間に遅れると必死に舗道を歩く。2つのリュック(サブザック含め)を交互に肩にかけ、強い日差しにおお汗をかきながら、最後は、少し余裕で港へ戻る

○5月22日(土)、23日(日)日本山岳誌以外 島根中央、西(6山)

○5:22 島根中央(2山)曇りのち晴れ

○(沖の郷山)12:15~13:50(1:35)林道終点より往復。沢沿いから樹林帯進み、急坂経て、稜線。東へ稜線進むと沖の郷山山頂。曇りで陽光あり、360度パノラマの三角点のある山頂で、山々、集落の眺め良く、小鳥の声とそよ風が心地良い。来た道戻る。

○(仙ノ山)15:55~17:50(1:55)大久保間歩(マブ)バス停より往復。遊歩道、石見銀山の採掘跡を辿りながら登り進み、メインの本道に合流。集落跡、千畳敷経て、奥に進む。竹林の中を目印薄い中、進む。別道と合流し登り進むと仙ノ山山頂16:55。樹林の丘の山頂で三角点あり、晴れて、小鳥の声楽しみ、史跡を見ながら戻る。

○5:23 島根西(4山)晴れ

○(本明山)5:05~7:00(1:55)R5の案内より往復。舗道進み、集落の奥の登山口より山入り。獣ゲート経て急坂登ると整備された緩やかな稜線道。進むと鳥居より、急斜面に設けられた道を辿り進む。名水で喉を潤し、一部崩壊しかけているロープ道等経て、進み鳥居口。石段の上に青空が見え、天国へと続く石段登ると本明山山頂。大きな岩盤の上の山頂で奥に神社、城跡の案内あり。快晴で、海、山の眺め良い。心地良い山の朝を満喫し下山。

○(雲城山)8:10~9:40(1:30)北側集落より往復。登山口不明で、広い神社広場より、竹林から急坂、小藪の境界標辿り進むと作業道。幾つかの分岐経て上へ登り進むと作業道の上に本道案内が見えて合流。南へ作業道横切り、稜線登り進む。急坂等経て、進むと雲城山山頂。樹林の丘の山頂で、二等三角点あり。パイプ仕立ての展望台より山々、海の眺めを青天のもと楽しみ来た道戻る。

○(大道山)11:45~12:00(0:15)山頂下砂利林道より往復。林道登るとすぐ、電波塔ある広場の大道山:打歌山山頂。奥に珍しい標石が二等三角点の表示の三角点を確認。展望地より、山、海の眺めを楽しみ戻る。

○(天狗山)13:05~14:35(1:30)林舗道登山口より往復。草が覆う道を谷沿いに進み、急斜面の道を登り進む。蒸し暑さで、汗をかきつつ登り進む、緩やかとなり、神社。その上に左から回り込み、段差のある大岩をよじ登ると天狗山山頂。大岩の山頂で、回りは、絶壁。海、山、川の眺め良いが足がすくむ。慎重に大岩を下り、奥へ茨、小藪等分け進み、三角点を確認。来た急坂等を慎重に下り、七滑ノ滝で少し涼んで戻る。今回は、ここまで。

○5月15日(土)、16日(日)日本山岳誌以外 京都西、中央(5山)、大阪北(1山)

○5:15 京都西(4山)曇り時々晴れ

○(天童山)山頂11:00、(飯森山)同11:35 9:35~13:50(4:15)西側ゲート口より周回。林舗道ゲート、神社経て進み、分岐。左へ直登道を進む。舗道から山へのルートわからず、止むなくピンクテープより、上へ上へと作業道等横切りながら登り進む。急坂の植林地となり、ザレた斜面を少しずつ、木等に掴まり登り進むと支尾根。テープ、境界標を辿り、大岩群を右に見て急坂等登り進み、1P。西に山あり、下り、登り返し進むと天童山山頂。樹林の丘の山頂。遊歩道の本道と合流。稜線をアップダウンし反射板を2つ経て、急坂登ると飯森山山頂。樹林の丘の山頂。曇りで風あり、静か。来た稜線戻り、天童山でゆっくり食事し遊歩道道へ。展望地で山々の展望楽しみ、植林等の坂を下ると茶吞峠で、地藏等有り。後は平坦な遊歩道を東へ。2つの石仏、竜ヶ坂経て、最初の分岐に出て戻る。

○(半国高山)15:15~16:50(1:35)東側真弓登山口より往復。集落抜け、沢沿いに進むが、すぐ道不明に。方向を意識し西へと、沢沿いから、石積の旧排水路辿り、急坂登る。終点より左へ回り、急坂を右に大岩群を見て、植林地の急坂を木等に掴まり、ゆっくり登り進むと本道の稜線に合流。西へ稜線進むと半国高山山頂。植林地の丘の山頂の曇り天候で風有り。三角点を確認して、来た急坂道等確認しながら戻る。

○(魚谷山)17:35~19:15(1:40)西側林舗道ゲートより往復。林舗道等の道を淡々と登り進み、三差路を2つ経て、魚谷峠。樹林の尾根を登り進むと魚谷山山頂18:30。樹林の丘の山頂で曇り、風あり。静かで三角点を確認し、来た道を急ぎ足で薄暮に戻る。

○5:16 大阪北(1山)、京都中央(1山) 雨時々曇り

○(竜王山)8:00~25(0:25)林舗道急坂手前より往復。急坂の舗道経て、神社。遊歩道進むと竜王山山頂。樹林の平坦な山頂で、三角点あり、曇り。奥の展望台より大阪の街と山々の眺め楽しみ戻る。

○(沢山)11:40~13:15(1:35)林舗道終点より往復。遊歩道を谷沿いに倒木等見ながら進み上ノ水峠。崩壊で代わった道を小雨の中進む。倒木等に苦戦しながら登り進むと沢山山頂。樹林の平坦な山頂で、二等三角点あり、南側に京都の街の眺め確認し、雨の止んだ来た道に戻る。

○5月8日(土)、9日(日)日本山岳誌以外 京都北(5山)

○5:8 京都北(4山)曇り

○(三峠山)8:50~10:55(2:05)林舗道終点より往復。林道を淡々と西へと登り進み、ピーク手前でテープより山入り。植林の道が不明な尾根を登り進むと三峠山山頂。二等三角点あり、樹林の丘の山頂で、曇りながら陽光、風、小鳥の声あり。来た道戻る。林道は、時折オフロードバイクが疾走していた。

○(君尾山)12:30~45(0:15)砂利林道登山口より往復。登山口から植林地進むとすぐ君尾山山頂。二等三角点ある樹林の丘の山頂で、曇り、そよ風あるのみで静か。

○(三国岳)山頂16:40、(養老山)同18:10 14:40~18:55(4:15) 砂利林道堰堤口より往復。短いコースを考え、かえって車で林道を彷徨い、主林道より支線に入り、ピーク先に駐車し、林道を下り、古い木渡し経て、堰堤を通過。沢沿いに進み、沢分岐の間の急坂の植林地、茨を分け、木に掴まりながら登り進むと上の林道。道なりに登り進み、分岐より左へ進む。稜線に登れるところを登りすぐ稜線。左へ進むと夢見台経て鉄塔。鉄塔の番号から南へ来すぎと判断し、来た稜線を登って来た分岐経て、アップダウンしながら進み、P655m峰で、現在地と標高を確認。北へと下って進むと胡麻峠。登り返し稜線を進むと鉄塔の先に三国岳山頂。三角点あり、樹林の丘の山頂で風が強い。来た稜線を胡麻峠、655m峰、分岐、夢見台、鉄塔へと進む。さらに北へ稜線を進むと養老山山頂。二等三角点あり、樹林の丘の山頂で、曇りで、新緑、風あり。来た稜線戻り、分岐より林道に出て、下って行き目印より急坂の植林地、茨を分け、木に掴まりつつゆっくりと一気に沢まで下り、暑さで、汗をかきつつ堰堤経て、明るいうちに駐車地に戻る。

○5:9 京都北(1山) 曇り一時雨

○(権現山)5:40~8:35(2:55)集落の神社鳥居口より往復。作業道進むと旧道で、目印何もない。疎らな樹林の中を上へと登り進む。溝らしき旧道を進むと別ルートと合流。初めてピンクテープを見て、道らしきあり、辿り進む。時折、遠くに山が見え、なだらかな道を進んで行く。途中より雨が降りはじめ大降りとなる。上に雨具着けて進む。細いトラバース道、沢等経て急坂登り進むと稜線鞍部。右へと急坂を木、枝に掴まり登り進む。笹が出て、分けて登り進むと平坦となり、奥へ進むと権現山山頂7:10。二等三角点ある樹林の平坦な山頂。途中雨が止むも風は強い曇りの天候。来た道を幾度か迷いつつも、テープ等辿る。最後に竹林に出て、戸惑ったが、何とか集落の外れの空き家近くの舗道終点に出

て無事戻る。今回はここまで。

○5月5日(水)熊本西2山(2山) 雨のち晴れ

○「倉岳」14:10~40(0:30)晴れ 山頂下駐車場より往復。石段等の道の中腹の平坦地を経て登り進むと倉岳山頂。一等三角点、方位版ある公園の山頂。天草諸島の最高峰682mで海、島、山の展望楽しみ戻る。

○(矢筈嶽626m)14:50~15:25(0:35) 車で少し移動し、舗道終点の水元大明神口より往復。坂を登り進むとすぐ林道脇の登山道で、林道と平行して進み、三角点を経て林道に出て、その終点が、矢筈嶽山頂。倉岳等の山、海、島、港の眺めを好天のもと楽しみ戻る。

○(烏帽子岳約470m)山頂18:25、「念珠岳」同18:55 17:20~20:10(2:50) 林舗道4差路の自然舗道より往復。登山口探し回り、遅い出発。遊歩道進み、途中より上へと急坂よじ登ると上の遊歩道。遊歩道の方角と目指す山の方角がわからず取り敢えず、稜線を上へ進む。三角点に出て確認するも表示なく、次のピークの小藪も何もない。ただ先に目指す山らしき見えて、遊歩道を淡々と進む。案内表示出てシダを分けつつ登り進むと烏帽子岳山頂。大岩、樹林の丘の山頂で南側絶壁で眺め良い。急ぎ遊歩道に下り、先へと急ぎ足で遊歩道進む。目指す山らしきが見えて進み、テープある入り口より、テープ等辿り、トラバース道を経て登り、稜線鞍部。左奥へと急ぎ足で進むと開けた念珠岳山頂。平坦な山頂で、海、島、山の眺め良い。三角点あり、風、小鳥の声あり。日没で、急ぎ足で来た道を辿り、遊歩道に出て少し安堵。遊歩道を急ぎ足で進み、稜線の三角点よりライトを点けて、急坂のショートカットを下り、下の遊歩道に無事に出て、ゆっくり戻る。 今回はここまで。

○5月3日(月)、4日(火)熊本西10山(5山)晴れ

○5:3 熊本西5山(2山)

○「大岳」6:55~8:30(1:35)晴れ 東側林道ゲートより往復。林舗道進み、登山口より尾根を西へ進み、急坂を経て大岳山頂。二等三角点あり、東屋、神社のある大木樹林の丘の山頂。木漏れ日、小鳥の声に山の朝を感じて戻る。

○「三角山」山頂10:45、(天翔台)同11:35 9:40~12:10(2:30)南登山口より往復。岩の道を辿り、平坦な分岐。東へと稜線を進む。岩、急坂などやや長めの道を進むと三角山山頂。一等三角点あり、樹林の椅子、テーブル、祠のある広い丘の山頂。晴れて、小鳥の声賑やか。島、海、山の眺め良い。来た稜線戻り、途中より狭い急坂を登りショートカットし再び稜線に出て、西へ進むと天気翔台山頂。三角点ある岩の丘の山頂で、海山の眺め楽しみ下山。

○「次郎丸岳」山頂14:55、(太郎丸岳)同15:40 13:55~16:40(2:45) 市営駐車場より往復。舗道進み、集落の中の登山口。林道進み、登り進むと分岐で、左へ、岩、ロープ等の急坂進み、大岩のピークに出て、眺め楽しむ。さらに奥へ進むと次郎丸岳山頂。大岩の丘の山頂で、二等三角点あり。山、海、街の眺め良い。晴れ好天で家族連れ、若者の登山者多い。下り、分岐より右へ。岩道等進み、ここも大岩あり、ピークに立ち展望楽しむ。さらに奥に進むと太郎丸岳山頂で大岩、かん木の丘の山頂。山、海、街の眺め良い。東側絶壁。来た道戻る。

○「老嶽」17:20~17:35(0:15)山頂まで車で行き、山頂探し。一番奥に進み、階段登ると展望台のある丘の山頂。展望台に埋め込まれた三角点を確認。海、山の眺め良く、小鳥の声楽しみ戻る。

○「角山」19:40~20:25(0:45)林舗道ピークの登山口よりライト着けて往復。時間の制約で、夜間登山。ゆっくり道を確認しながら登り進み、中間の神社を参拝しさらに登ると稜線。左へ進むと分岐でさらに左へと進むと角山山頂。一等三角点ある丘の山頂で、星、街明かりが見える。360度のパノラマ、風が強い。来た道をゆっくり確認しながら戻る。

○5:4 熊本西5山(3山) 晴れのち曇り

○「権現山」6:35~7:00(0:25)車で山頂下まで行き往復。階段登り、2つの神社を参拝してから階段登り進むと展望台。左へ階段道進むと草地の中に権現山山頂。一等三角点ある樹林の丘の山頂。晴れてそよ風あり。展望台より海、島、山の眺め楽しみ戻る。

○「六郎次山」7:55~8:50(0:55)林舗道通行止めより往復。林舗道進むと崩壊現場。かろうじて端の側溝が残るところを慎重に進み、次の分岐を右へ入り進むと電波塔群。探し回るも何もなく、東へ小藪稜線を辿り進む。施設らしき見えて登ると東屋の脇に六郎次山山頂を確認。三角点、石碑ある公園の丘の山頂。街、島の眺め良い。晴れて、そよ風、小鳥の声楽しい。東へ下り、山頂駐車場より舗道を分岐等確認しながら戻る。

○(小頭岳)山頂11:05、「頭岳」同11:20、「普賢岳483m」同12:20、(行人岳477m)同12:45 9:55~13:50(3:55) 登山口不明で、西側作業道途中より往復。作業道を上へ上へと進み、途中より尾根に入り、道のない坂を登り進む。上の伐採道に出て、さらに上に進むと小藪の1P。何もなく辺りを探し回るも見当たらず、藪の少ない西側を先に見える山へと取り敢えず向かう。稜線を下ると小さな杭に山案内あり。縦走路を頭岳方向へ向かう。普通の縦走道で、アップダウンし進むと小頭岳山頂。樹林の丘のピークで、眺め良い。さらに稜線を下り進むと林道脇鞍部に案内あり。坂を登り進むと頭岳山頂。三角点ある稜線の樹林のピークで、イス、石像4つあり。陽光、風あり、山、海の眺め良い。稜線に戻り、小さな杭より北へとテープ辿り下る。旧作業道に出て、登ると三差路で、向かいの尾根口に小さな案内杭あり。稜線の坂を何故か力が出ないながら登り進むと普賢菩薩のある普賢岳山頂。行人岳山頂とある。案内の表示版にも普賢岳。少し下へ急坂下るとすぐ行人岳山頂で、案内版、石碑ある樹林の中の山頂。東北側絶壁で、修行山。普賢岳で、ゆっくり食事休みして、山々の展望楽しみ、来た道を最初の小さな表示杭に戻り、来た山陵を右往左往しながら確認して作業道に出て、来た道に何とか出て戻る。暑さで、少々疲れ気味。

○(行人岳506m)山頂17:20、「帽子岳」同17:55 16:20~18:45(2:25) 砂利林道鉄塔路の行人岳登山口より往復。道が不明で、探し回り、砂利林道も石、木、枝等払い退けて何とか市民の森の登山口着。鉄塔路進み、1P経て進むが標高が低くなるばかりで、引き返し、1Pより進む方向を磁石で確認しながら稜線に戻り進むと反対側に行く分岐あり、進むと程なく行人岳山頂。樹林の丘の山頂で、三角点あり、曇り。さらに稜線を進む。アップダウンして稜線をテープに助けられながら進み、最後は道不明となり、小藪分け、茨と格闘しながら進む。旧作業道の小藪路進むと右に帽子岳の案内杭見つけて別ルートの本道と合流して登り進むと帽子岳山頂。神社が幾つもある樹林の丘の山頂。集落の眺めあり。小雨ぱらつく。急ぎ足で来た道を確認しながら戻る。

○5月1日(土)、2日(日)長崎南9山(1山)

○5:1 雨後曇り、晴れ 長崎南4山

○「九千部岳」9:50~12:05(2:15)吹越第2トンネル口より往復。大雨、強風で、待機してから出発。舗道下り、登山口よりつづら折れの道登り、ピーク越えて下り、山腹の緩やかな道を進む。稜線の縦走路から左に入り、急坂の狭い道進み、岩稜、ツツジの道を雨露にズボンを濡らしながら長い岩道に苦戦しながら進むと三角点ある九千部山山頂。岩のある丘の山頂で風強く曇りで視界なし。小鳥の声に癒されて戻る。

○「野岳」12:55~14:35(1:40)通行止めで、池ノ原園地より往復。公園より急坂舗道、階段等道を登り上のがら空きの駐車場。石畳道経て、遊歩道進み、東屋経て案内より急坂登ると野岳山頂。樹林の丘の山頂。曇りで視界今1つ。来た道戻る。

○「吾妻岳」15:00~16:10(1:10)田代原キャンプ場口より往復。斜め上に登り進む。急坂、岩道を慎重に登り進むと稜線で、縦走路より右へ入ると吾妻岳山頂。三角点あり、樹林の丘の山頂で、曇

りで風あり。土塁を確認し急坂は慎重に下って戻る。

○「鳥甲山」16:20~17:55(1:35)晴れ 駐車地なく下の林道口から林道進み、西へ尾根進むと入り口ゲートの上の舗道に出てその舗道を道なりに進み終点が無線中継施設で手前より右へ入り、テープ等辿り稜線を進み、急坂経て鳥甲山山頂。三角点ある樹林の丘の山頂で晴れて日差しあり、風が強い。来た道戻る。

○5:2 長崎南5山(1山) 晴れ

○(天狗山693m)山頂6:45「七面山」同7:35 6:15~8:20(2:05)七面山登山口より周回。急坂階段道登り分岐を左に進むとテープあり、そちらへ急坂登ると稜線で、南峰をパスし左へ稜線を下り、鞍部より登り返すと1Pの小天狗だが、そこもパスし急坂下り、鞍部より細い急坂登ると天狗山山頂。樹林疎らな岩のある丘の山頂で、南峰、小天狗の絶壁と目指す七面山の眺め良い。南側絶壁でここで、ルートミスに気づく。山、海、街の眺め良い。七面山の方へとテープ辿り下ると別ルートと合流しルートあることを確認。もう1つの分岐経て、急坂、ロープ道を慎重に登り進むと神社経て七面山山頂。樹林の丘の山頂で北側に平成新山等山々の眺め良い。二等三角点あり、晴れて風強い。標準ルートの急坂階段道経て戻る。

○「高岩山」山頂9:30、「矢岳」同10:45 9:05~11:25(2:20)宝原園地より往復。ツツジを見ながら、緩やかな遊歩道進む。鳥居群、階段道進み経て稜線に出て、西へ登り進むと高岩山山頂。樹林の丘の山頂。奥の大岩の上に登り山々、海の眺め楽しむ。さらに奥の神社参拝して眺め楽しみ園地へ戻り、そのまま舗道を東へ進み、三差路を東へ進むとすぐ矢岳登山口。緩やかな樹林の道を進み、急坂、岩等稜線進むと三角点あり。さらに進むと温泉口からのルートと合流して矢岳山頂。回りがツツジかん木の丘の山頂。雲仙の山々、海、街の眺め良い。晴れて風強い。来た道戻る。途中、宝原園地のピンクのツツジが遠望でき、満足して戻る。

○「帆場山」13:40~14:40(1:00)西登山口より往復。登山道わからず、地元の方に教えてもらい、小さな登山口表示の住宅地より往復。住宅地抜け、鳥居をくぐり、植林の中の道を登り進む。稜線に出て、左へ急坂登ると帆場山山頂。岩のある丘の山頂で、電波塔あり。晴れて風強いが眺め良い。二等三角点あり。来た道戻る。

○「岩屋山」15:30~16:50(1:20)東側登山口より往復。神社の参道を登り進み、神社を参拝し、岩のザレ道、倒木等経て登り進む。急坂の岩道などを経て岩屋山山頂。神社のある広場の山頂で、長崎の街、山の眺め良い。二等三角点あり、晴れて風あり。来た道を急坂は慎重に下り、戻る。

○4月29(木)、30日(金)休み 佐賀北8山、長崎南1山 これで3800山踏破。

日本山岳誌の佐賀県を踏破。

○4:29 晴れ 佐賀北3山

○「古湯城山」15:30~45(0:15)城山公園駐車場より往復。遊歩道登り進むと城山417m山頂。城跡、展望台のある山頂で、風あり、晴れて山の眺め良い。石碑確認して戻る。

○「亀岳」16:25~55(0:30)林舗道途中より往復。急坂林舗道進み、終点より山道を登り進む。大岩の社経て亀岳山頂。樹林の丘の山頂で、三角点あり、山の眺め、小鳥の声、風あり。来た道戻る。

○「笛岳」17:50~19:10(1:20)四差路林舗道の登山口より周回。樹林の道の分かり難い尾根道を北東へ登り進むと笛岳山頂18:05。三角点ある樹林の丘の山頂。石塔あり、西側から海、山、夕日の眺め良い。来た道を辿るが、尾根分岐で、道が分からなくなり、あちこち彷徨い、時間要する。方向を定めトラバース等して作業道に出るも方向不明。再び尾根稜線に戻り、進むと下に林舗道を見付けて下り、林舗道に出る。西へ登り進み、薄暗くなる前に無事、駐車地に戻る。

○4:30 佐賀北5山、長崎南1山 曇りのち晴れ

○「作礼山」 6:45~7:45(1:00) 駐車場より周回。遊歩道進み、キャンプ場管理棟経て、進み、稜線に出て、北へ進むと作礼山山頂 7:00。二等三角点あり、岩の多い丘の山頂。朝日、風あり、山、集落の眺めあり。稜線を南へ進むと石段経て、神社 2 つあるピークで、山、集落の眺め良い。駐車場に戻り、東の 1P の最高点を確認して戻る。

○「八幡岳」 8:45~50(0:05)車で山頂まで行き散策。電波塔群の奥の山頂。二等三角点あり、風あり、山、集落の眺め良い。

○「女山」 9:05~10:30(1:25)九州自然歩道、林舗道起点口より往復。旧作業道から登山道に進み、ゆるやかな道を進む。幾つかピーク経て、倒木地帯経て進むと雨が降りだし、登り坂で上の雨具を着けて稜線を登り進む。分岐より東へ進むと女山山頂 694m。祠ある樹林の丘の山頂で、雨が止み、太陽が顔を出す。山の眺めあり、陽光、青空、小鳥の声が嬉しい。来た道戻る。天気が変わりやすい。

○「眉山」 11:40~12:25(0:45)キャンプ場ゲートより往復。キャンプ場から奥の急坂舗道経て、登り進む。緩やかなトラバース道を進み、尾根に出て、西へと進むと眉山山頂。樹林の丘の山頂で、三角点あり、晴天、青空、風が心地よい。帰りは、尾根途中よりキャンプ場への短縮ルートを辿り、確認しながら戻る。

○「両子山」 13:50~15:10(1:20)西側舗道終点より往復。道探すも不明でやむ無く、人家近くに車を止めて、東へと畑道、茨、小藪を上へ上へ登る。尾根に出ると採石場の端。上へと作業道の急坂登り、平坦道進むと終点。山に入るとすぐ北からの本道と合流し、北へ坂を登り、石仏等経て、両子山山頂。樹林の丘の山頂で、神社、石碑あり、風強いが、木漏れ日が心地よい。来た道を確認しながら戻る。

○「国見岳」 17:35~19:25(1:50)吹越第 2 トンネル口より往復。急坂を上へ、樹林の中を登り進む。小鳥の警戒鳴きにウグイスの声真似て対応するも、長い急坂続きで、声も出せなくなり、只管登り進むと稜線。北へとアップダウンして進み、普賢岳分岐より左へ進む。急坂の岩、鎖の道を、疲れた足で、慎重にゆっくり登り進むと国見岳山頂。大岩のある丘の山頂で、普賢岳、平成新山等の山、海、夕日の眺め良い。風あり、設置された温度計は、6 度。来た道を辿り、稜線からの下りは、日没を確認しつつ、ゆっくりと下り、明るいうちに戻る。

○4月25日(日)日本山岳誌以外 京都西(3山) 晴れ

○(黒柄山)8:20~10:25(2:05)R6 林舗道入り口より往復。林舗道を進み、ゲートより淡々と西へ登り進むと終点が、電波塔で、その脇に黒柄山山頂。樹林の丘の山頂で、三角点あり、新緑、朝日、風に春を感じて来た道戻る。

○(胎金寺山)11:45~13:15(1:30)東側の施設口より往復。道不明で西に見える山を目指す。作業道登り進むとすぐ道なくなり、小笹分けて尾根筋を南へと進む。急坂の獣道を辿り、1 つ目の尾根に出て、南へ進むと 1P。目指す山は、北西に見えて少し戻り、獣道のトラバース進むと稜線。進むと別ルートと合流し、ピンクテープ、境界標が現れ、稜線を西へ進む。急坂、大岩のルートを登ると胎金寺山山頂。樹林の平坦な山頂で神社あり、参拝。三角点あり、集落、山の眺めあり、風、日差しが心地よい。来た道を急坂は慎重に下り、獣道経て境界目印辿ると登りと別の下作業道に出て、戻る。

○(鹿倉山)14:30~16:25(1:55)林舗道ゲートより往復。舗道進み直進して沢沿いの作業道進む。上の林舗道に出て、横切り、古い登山案内で権現直登ルートへと左に進む。途中よりトラバ道をピンクテープ辿り尾根に登る。西へと荒れた旧道を辿り進むと上の林舗道。ここでも道不明で、西へ樹林帯に入り、急坂を木等に掴まりながら登り進むと稜線。北へ進むと登山道案内とテープが現れ、稜線を北へ登り進むと鹿倉山山頂。祠、岩の丘の山頂で三角点あり。曇りで時折パラ雨。ツツジが見頃で、山、集落の眺めあり。来た道を急坂は慎重に道を確認しながら戻る。

○4月18日(日)日本山岳誌以外(6山) 大阪西(1山)、京都西(5山) 晴れ

○(若山)8:20~10:20(2:00)南西の林道ゲート口より往復。林道進み、途中から右の堰堤へと進み、堰堤を横切り山入り。獣道等道らしきを登り進むと支稜線。急坂登り進むと鉄塔に出て、遙か先に山が見える。北東へと稜線の道らしきを進み、稜線道に出て登り進むと林道に出る。脇に鉄塔あり、北へ進むと辻の三差路に出て、間違いに気付き、来た道戻り、林道出合い経て、南へ。林道脇の道から、稜線に出て遊歩道進むと若山山頂9:20。樹林の平坦な山頂で鳥の声、朝日がさわやか。来た道戻り、展望地より山、街の眺め楽しみ戻る。

○(向谷山478m)10:55~12:30(1:35)東の舗道より往復。法面の階段登り、谷へ少し下ると作業道。北へテープある道らしきを進む。急坂経て、旧電波施設の1P。山を探して西へ稜線を進み下るとギロバチ峠。目指す山とかなり離れた位置を確認。近くの山へと西へ稜線進み、林舗道に出て、西へと急坂の登山道らしきを登り進むと向谷山山頂。樹林の丘の山頂で、鉄塔脇に三角点有り。曇りパラ雨。来た道戻る。

○(小倉山305m)山頂13:10、(十方山)同13:30 12:45~14:10(1:25)乗願寺手前舗道ピークより往復。柳谷から天王山への遊歩道を天王山方面に進む。雨等で、掘られた道を登り進み、幾つかの合流点経て西への支尾根へ進む。少し進み、右へ進むと小倉山。樹林の丘の山頂。本道へ戻り、稜線をアップダウンして進むと十方山山頂。樹林、岩の丘の山頂で、三角点あり、晴れて山の眺め良い。来た道戻る。若者等登山者多い。

○(行者山)山頂17:05、(堂徳山440m)同17:25 16:15~18:25(2:10)亀岡市大井の住宅地より往復。登山口不明で、やむなく北側の住宅地より往復。住宅地の南外れより高速道下のトンネル潜り進む。車道終点に出て、西へ階段登り、高速の側道を西へ進み、そのピークより山入り。南へと道らしきを辿り進む。尾根に沿って進み、別ルートと合流して尾根を登り進む。右へトラバ道進むと稜線。ここから西へとアップダウンして登り進むと行者山山頂。千代川ルートとの合流点で、三角点あり、樹林の岩のある丘の山頂。始め小雨模様だったが、雲が通過し晴れて風あり。稜線をさらに西へと進むと堂徳山山頂。三差路の樹林の平坦な山頂で、明治期の標石あり。夕方の陽射しが心地よい。来た稜線道戻り、支尾根は、確認しながら下ったが、竹林に出て、高速道のトンネルを潜り出た所は遥か西側で、大きな池を回り道して戻る。

○4月10日(土) 日本山岳誌以外(7山)晴れ

○(五月山:千代山)7:40~8:10(0:30)公園駐車場より往復。墓地脇の道を登り進むと展望台。街、山の眺め楽しみ、樹林の中の三角点を確認して戻る。

○(証如峰)山頂9:20、(最勝ヶ峰540m)同10:05 8:45~10:35(1:50)勝尾寺園地駐車場より往復。案内はないが、北へと坂道を登り進む。散策道等横切り上へ上へと登り進むと自然歩道の稜線。上へと北東へ稜線進むと墓地脇のピークが証如峰山頂。樹林の丘のピークで、休息所に三角点を確認。山々の眺め良い。稜線を西へとアップダウンして進む。墓を経て下り、登り返し進むと皇子墓の最勝ヶ峰山頂。稜線丘の山頂で、晴れて心地よい。来た道を戻る。ハイカー多い身近な山。

○(鉢伏山)山頂11:50、(長谷山約565m)同12:20 11:25~12:40(1:15)エキスポ90駐車場より往復。公園より尾根に出て、北東に登り進む。広場を右に見て稜線進むと広場となり、奥に進むと鉢伏山山頂。樹林の丘の山頂で、山々の眺め良い。来た道戻り途中より支尾根を東へと登り進むと長谷山山頂。樹林の丘の山頂で、小鳥の声、木漏れ日楽しみ、稜線に引き返して戻る。

○(青貝山)13:45~14:10(0:25)配水施設手前より往復。つづら折れの道を登り進み、稜線。西へと進むと間もなく青貝山山頂。樹林の丘の山頂で、三角点あり、陽射し、街の眺め楽しみ戻る。

○(高代寺山)14:55~15:15(0:20)墓地駐車場より往復。墓地を北へ進み、舗道経て、右へ案内

を進み、坂を登ると高代寺山山頂。電波施設のある樹林の丘の山頂。二等三角点あり、陽光、静かさを
楽しみ戻る。

○4月3日(土)、4日(日)日本山岳誌以外滋賀東(8山)

○4:3 滋賀東(5山) 曇りのち晴れ

○(高室山)9:00~11:15(2:15)R306 登山口より往復。登山口は、満車に近い状態。階段登り、
樹林の中を横移動で進むと尾根の登山口。急坂登り進み、1p。下って尾根稜線をつづら折れの急坂等
経て、登り進む。植林地の十字路を直進して進むと林道に出る。その林道登り進み、再び山入りして急
坂、トラバ迂回道経て登り進むと高室山山頂。石灰岩群の丘の山頂。山、街の眺め良い。登山者多い。
ショートカットして林道に出て、来た道戻る。途中、山桜、新緑の芽吹きが見頃だった。

○(猪の鼻ガ岳)12:35~14:05(1:30)鎌掛峠より往復。林道進み、溜め池堰堤経た先は、道不明
だが、山の方へ尾根筋を辿る。幾つか作業道横切り登り進むと本林道に出る。左に山の稜線を見つつ、
林道を右回りに上へ上へと登り進む。稜線に出会い、テープ確認して稜線を西へ戻る。1P経て、別ル
ートのテープが沢山目につく本道と合流し、西へ進むと猪の鼻ガ岳山頂13:35。樹林の平坦な山頂で、
三角点あり、晴れて風あり、樹間より街の眺めあり。西へ道らしき尾根を下り、林道に出て下り、溜め
池を目安に戻る。

○(太郎坊山)山頂15:45、(箕作山)同16:15 15:10~16:55(1:45)太郎坊駐車場より往復。
鳥居経て石段の長い階段を登り進む。奥の寺の右から登山道となり、すぐ上に赤テープあり、急坂を木
等に掴まりながら登り進む。大岩帯となり下りは行き止まりのため、上へと岩稜を直登。手、足場を確
認しながら慎重に上へ上へと登り進む。狭い岩間を避け、灌木を迂回し、登り進み岩稜ピーク経て、緩
やかな道を辿ると太郎坊山山頂。大岩群、灌木の丘の山頂。街、山の眺め良い。奥へと進み、道間違い
しつつ東へ稜線進むと箕作山山頂。岩のある丘の山頂で琵琶湖、山々の眺め良い。来た本道に戻る。

○(安土山)18:15~19:20(1:05)安土城史跡駐車場より往復。登山口解らず、周囲を散策して探
す。急坂、作業道、石段を上へ上へと登り進むと本丸跡の安土山山頂18:45。既に暗く、街明かりが
キレイ。暗い中、ゆっくり戻る。

○4:4 滋賀東(3山) 曇り時々雨

○(長命寺山333m)山頂5:50、(奥島山:津田山)同6:20 5:25~7:10(1:45) 曇りのち雨
長命寺駐車場より往復。林舗道の駐車場手前の獣道らしきより登り、薄い竹藪等分けて登り進むと南か
らの本道に出合う。北へ登り進み、分岐を右へ進み、倒木の多い道を登り進むと長命寺山山頂。樹林の
丘の山頂。分岐に戻り、北へ進むうち雨が降り出す。稜線を下り、登り返して進む。神社、大岩座経て、
進むと奥島山山頂。山名3つあり。樹林の平坦な山頂で三角点あり。来た道戻る。通過した空奏テラス:
大岩群の展望地より琵琶湖の東の海岸線の眺め楽しみ(比良山系は曇で見えず)来た道戻る。

○(鏡山)9:00~10:35(1:35) 曇り 北の鏡登山口より往復。林道のゲート経て進む。池経て、
史跡の休み処経て登り進み3道の分岐。真ん中の道を進む。階段等整備された道登り、東屋、大岩の迂
回路経て登り進むと鏡山:竜王山山頂。樹林の丘の山頂で稜線を西奥へ進むと二等三角点あり。集落、山
の眺めが良い。来た道戻る。午後から雨が本降りのため、今回は、ここまで。

○3月27日(土)、28日(日) 日本山岳誌以外(10山)

○3:27 島根中央(6山) 晴れ後曇り

○(比婆山)10:35~11:30(0:55) 北登山口より往復。沢沿い、竹林の道進み、神社。参拝し南
へ進むと比婆山285m山頂。東屋、鳥居ある広場の山頂。晴れて桜が、見頃。来た道戻る。

○(高盛山275m)山頂12:50、(独松山)同13:20 12:15~14:30(2:15)垣飯場口より往
復。独松山案内通り、旧林道進むと高盛山登山口。尾根稜線登り進むと高盛山山頂。砦跡の疎ら樹林の

丘の山頂で、街、海、山の眺め良い。稜線を進み、中高盛山経て西へ進むと三角点ある独松山山頂。その西奥の最高点の笹原樹林の平坦な鐘つき堂跡確認して戻り、食事の一休み。街、海、山の眺め楽しみ来た道に戻る。

○(月山)15:05~15:55(0:50)南登山口より往復。尼子氏の墓の案内がある登山口より整備された岩を削った岩階段道等を登り進むと城跡本丸の月山山頂。神社あり、参拝し西へ辿り二の丸の三角点、麓の道の駅等の展望楽しみ来た道戻る。家族連れ多い公園の整備された身近な山。

○(星上山)16:35~16:55(0:20)山頂まで車で行き散策。寺の駐車地より東へ林道進み、神社。参拝しさらに東へ進むと星上山山頂。樹林の丘の山頂で、更に東の展望地より、縦走路を確認し街、海、山の展望楽しみ、強風の中戻る。

○(大日出山)17:35~18:50(1:15)登山口第2駐車場より往復。遅い出発のため、急ぎ足で、林道を登り進む。一部崩壊地を確認しながら進み、第1駐車場。作業道を進み、つづら折れの急坂を登り進むと大日出山山頂。整備された樹林の丘の山頂で、三角点あり。曇りで風がある中、夕暮れの山、灯り、海の眺めがキレイ。東側にうっすらと大山のシルエットを確認し来た道を急ぎ足ながらゆっくりと下り、薄暗くなる中戻る。

○3:28 島根中央(4山) 曇りのち雨

○(丸倉山)山頂6:55、(大平山)同8:00、(八重山:八十山)同8:15 6:30~9:40(3:10) 丸倉山登山口より往復。強風、雨パラつく中トライ。整備された尾根道を登り、林道を横切り、登り進む。分岐経て、伐採跡の急坂の岩岩道を強風を気にしながら登り進むと丸倉山山頂。祠ある城跡、樹林の丘の山頂。海、山、集落の眺めあり。コブシ、桜の花が見頃。急坂を慎重に下り、分岐より東へトラバ道進むと林道に合流。東へと小丸倉経て進むと大平山登山口で、八十山分岐。階段道、ゆるやかなトラバ道進むと稜線となり平坦な道を進むと大平山山頂。二等三角点あり、城跡の樹林の平坦な山頂。東へと下り、林道に出て、北に少し入ると東へと階段道。ゆっくり登り進むと八十山山頂で、祠、小屋ある樹林の平坦な山頂。北側に松江の街、海、山の眺め良い。強風のため、すぐ来た道戻り、林道に出て、後は、西へと林道をアップダウンしながら進む。大平山登山口、小丸倉経て、登りに横切った丸倉登山口へと下る。途中地元の方に会い山話して戻ると雨が降りだす。

○(高瀬山)10:45~12:00(1:15)舗道通行止めの登山口より往復。階段道登り進むと別ルートと合流経て、三の丸。さらにつづら折れの急坂登り進むと二の丸分岐。尼子と毛利の最終戦の案内表示を見て、南へ急坂登り進むと高瀬山山頂。城跡の見晴らしの良い岩のある丘の山頂。街、海、山の眺め良い。来た道をゆっくり戻る。小雨で、天候回復難しそうで今回はここまで。

○3月20日(土)21日(日)日本山岳誌以外(7山)

○3:20 香川西(6山)晴れ後曇り雨

○(城ノ山)7:40~9:00(1:20)栗島港より往復。集落を抜け、旧学校を南へ進むが、八十八ヶ所の石仏巡って横移動。山への道なく、止むなく戻り、お堂より西へ竹藪を倒竹に苦戦しながらゆっくり進むと本道に出会い、南へと階段道等を登り進むと大岩、東屋を経て、城ノ山山頂。裸地の丘の山頂で、360度の展望あり、海、島、山の眺め良い。晴れて風あり、小鳥、船の音楽しみ来た道に戻る。

○(博智山)山頂10:20、(妙見山)同10:40 10:00~11:25(1:25)博智山登山口より往復。整備された尾根道を登り進み、1ピークの岩岩経て、登り進むと博智山山頂。桜、岩のある丘の山頂。当たりの看板に沢山の願い事の紙等が、びっしりの人気の山。街、海、島の眺め良い。奥へと稜線をアップダウンし進み、急坂経て、妙見山山頂。樹林の丘の山頂で、三角点あり。風、鳥の声あり、来た道を淡々と山桜楽しみつつ戻る。

○(紫雲出山)12:00~4:00(0:40)山頂下駐車場より往復。舗道坂を登り進むと公園で、桜並木。奥

へと進むと展望台、三角点のある丘の山頂。海、島の眺め良い。散策し、木製デッキで、ゆったりと食事して戻る。浦島太郎伝説の地。

○(志保山 4 2 6 m) 1 3:4 5~1 5:1 0(1:2 5)風穴登山口より往復。整備された広い遊歩道、階段道進む。風穴分岐経てつづら折れの道進むと稜線の分岐。西へと登り進むと志保山山頂。三角点ある樹林の平坦な山頂で、西側に海、島、街の眺め良い。雲りで、パラ雨あり、すぐ下山。稜線分岐より東峰に寄り、海、街の眺め楽しみ戻る。

○(爺神山 2 1 4 m) 1 6:4 0~1 7:1 0(0:3 0)西の駐車場より往復。始め、舗道を時計回りに八十八カ所石仏巡りで、半周歩いたが山への道なく、採石場跡を上へ登ろうとしたが茂藪で断念し戻り、お堂に戻ると何とそこが、登山口。かなりの時間ロス。急坂のつづら折れの道を合目表示辿り、小雨降る中、登り進むと爺神山山頂。整備された丘の山頂で、標高にちなみ、ハートのモニュメントあり。街、海、島の眺めあり。ゆっくりとつづら折れの道を小雨の中戻る。

○3:2 1 徳島西(1山) 曇り後雨

○(登尾山) 8:5 0~1 1:2 5(2:3 5)阿讃サーキット第一駐車場より往復。西北へ道を進み、稜線となり、道らしきを辿りながら進むと三角点を確認。さらに西北へ進むと 1 p。表示何もなく先に高い山が、見えて北へ下り進むと作業道に出会い、さらに進むと鉄塔あり。その下を経て、作業道を目指す山の裾野を西へ遠ざかりつつ進み作業道の最高点。辺りを探索し高い所がないので、そこから東へ尾根を進む。間もなく、阿讃縦走に出て少し安堵。整備された稜線をアップダウンして進むと登尾山山頂 1 0:2 5。一等三角点あり、樹林の丘の山頂。曇りながら、雲海、山の眺めと小鳥の声あり。来た稜線を引き返し途中より、南へテープ等ある尾根を下り、ショートカットして作業道に出て、鉄塔の鞍部に出る。ここから雨が降りだし、少し濡れながらも来た道らしきを登り返し 1 p。下って、登りに見た三角点を確認して、サーキットで、車が、1 台唸りを上げる方向へ下って行く。あまり目印がなかった中、どうにか無事駐車場に戻る。今回はここまで。

○3月13日(土)日本山岳誌以外徳島南(2山)

○(後世山) 8:1 0~1 0:2 0(2:1 0)海老川登山口より往復。粘土質で滑り易いロープ付きの参道を登り進み、稜線に出て、幾つかの道と合流しながら南へと進む。祠経て、進むと北峰山頂で、山々の展望良い。先へ稜線進むと後世山山頂。二等三角点ある樹林の丘の山頂。晴れて風あり、山の眺めあり。来た道を分岐を確認しながら戻る。

○(鈴ヶ峰) 1 2:1 0~1 3:3 5(1:2 5)林舗道終点登山口より往復。四国のみちで、整備された階段を八十八カ所の石仏を確認しながらゆっくり登り進む。旧寺跡経て、稜線に出るとすぐ鈴ヶ峰山頂。三角点あり、樹林の丘の山頂。南側は、絶景で、太平洋、海岸線、街の眺めを大いに楽しむ。春の日差しが、心地よく、ヤッホーポイントの案内に納得。来た階段道をゆっくり戻る。明日総会で今回はここまで。

○3月6日(土)7日(日)日本山岳誌以外8山

○3:6 香川中央(7山)曇りのち晴れ

○(石清尾山) 7:3 0~8:2 0(0:5 0)公園駐車場より往復。舗道進み、公園入口より直進し突き当たりを東へ登ると石清尾山山頂。樹林の丘の展望台ある山頂。三角点あり、街、山の眺め良い。

○(勝賀山) 9:0 0~1 0:1 0(1:1 0)香西登山口より往復。林舗道脇の登山口よりコンクリの急坂道をミカン、ビワの畑を眺めながら進む。勝運坂の 5 合目より階段道を登り緩やかになりトラバース道進むと別ルートと合流し登り進むと展望地。西へ稜線進むと勝賀山山頂。三角点あり、城跡の平坦な山頂で神社あり、拝む。晴れて、陽光心地良いも風あり。展望地より街(高松)、山の眺め楽しみ、来た道戻る。途中のコンクリ坂で、リスより細長い黄金色のイタチを畑の上で見かけた。

○(六ツ目山 3 1 7 m) 山頂 1 1:2 0、(堂山) 同 1 2:0 5 1 0:5 5~1 3:0 5(2:1 0) 高速側道の六

ツ目西登山口より往復。鉄塔道進み、2つの鉄塔経て、進むと登山口の1合目。急坂のロープ道を合目表示確認しながら登り進むと六ツ目山山頂。樹林の丘の山頂で、山、街の眺め良い。西へ急坂のロープ道を合目表示確認しながら慎重に下り鞍部。稜線進み、支線に三角点を確認し、稜線に戻り、急坂ロープ道登ると堂山山頂。樹林の平坦な山頂で、祠あり、城跡の表示もある。山、街の眺め、小鳥のさえずり楽しみ、来た道を急坂は慎重に下り戻る。

○(鷲ノ山)13:45~15:00(1:15)石船バス停口より往復。集落抜け、西へ進むとテープあり、急坂の道を登り進むと北からの本道の第3ピークと合流。祠あり。南へ進むとすぐ鷲ノ山山頂14:20。三角点あり、樹林、岩のある丘の山頂。山、街の眺めあり、風もあり。来た道戻る。

○(天霧山)山頂17:10、(弥谷山)同17:35 16:10~18:15(2:05)弥谷寺駐車場より往復。遅い出発だが、トライ。石段登り進み、寺を参拝し、東へとへんろ道進む。4差路に出て東へ。すぐ分岐となり、犬走りの細いトラバース道を慎重に進み、ピークを過ぎた鞍部。さらに東へ進むと東端で、三角点を確認し引き返し、鞍部より西へ進むと天霧山山頂。樹林の丘の城跡本丸の山頂。西へ急坂(犬返し)の陰)ロープ道を慎重に下り、4差路。西北の山へと進む。鉄塔道の分岐経て、樹林の中の道を進むと弥谷山山頂。二等三角点ある樹林の平坦な山頂で風あり。4差路経て、寺を参拝し戻る。

○3:7 (烏谷山)8:25~16:15(7:50)JR志賀駅より往復。例会に参加し山歩き。集落抜けて、林舗道進む。2つの堰堤経て登山口。少し荒れて、倒木もある道を進む。つづら折れの植林地の道を進み広葉樹の明るい稜線に出て昼食。稜線進み、展望良くなり、遥か先に目指す山々に霧氷(桜が咲いているように白くキレイ)等楽しみ荒川峠の縦走路に出る。稜線を進み、植林地で、霧氷が解けて雨のように降り注ぐ。その中で、木の枝の雨粒が、光の加減で、カラフルに輝く光景に皆カメラを向けて大感動。稜線を登り進むと烏谷山山頂。かん木の丘の山頂で、三角点あり、晴れて山々の同定、琵琶湖の眺め楽しむ。来た道を戻ると霧氷は解け落ちていた。荒川峠で縦走の若者に挨拶し樹林帯、植林地の道を下り登山口に出て、舗道下り戻る。

○2月27日(土)、28日(日) 日本山岳誌以外(9山) これで月間62山の歩きの新記録。

あとは、ゆっくりと山歩き??

○2:27 晴れ 香川中央(6山)

○(高鉢山)8:50~9:25(0:35)林舗道登山口より往復。階段道登り、広場、休憩所経て、つづら折れの階段を合目表示目安に進むと高鉢山山頂。三角点、神社ある平坦な山頂。テーブル、椅子、桜の木あり、陽光、山、街(高松)の眺めあり。来た道戻る。

○(笠形山)10:15~11:50(1:35)南西林舗道口より往復。テープある道登り、支尾根をテープ等目安に東へ進む。目指す山を望みながら少し残る残雪道を登り進み稜線。溶けて凍った雪面を踏みしめ登り進むと笠形山山頂。三角点ある樹林の丘の山頂で、積雪5cm。陽光、小鳥のさえずり心地良い。偶然地元の方が通り過ぎ挨拶。日が出て樹林から凍った雪が落ちる音を聞きながら戻る。

○(大高見峰:オオタカンボウ)山頂13:35、(小高見峰467m)同13:55、(竜山454m)同15:00 12:55~15:30(2:35)山の南西林舗道ピークロより各往復。入口に祠ある林道を沢沿いに進み、つづら折れ道、トラバース道進むと鞍部で、北からの別ルートと合流。急坂道を鉄塔経て、登り進むと大高見峰山頂。二等三角点、笹原の平坦な山頂で、晴れてそよ風爽やか。鞍部へ戻り、登り返すと樹林の中にテープ続き、辿ると小高見峰山頂。樹林の平坦な山頂。ここでも元の道に戻らなかったことが誤算の始まり。目立つ境界のテープ辿り、南へ急坂、岩等下り進み、最初の林舗道ピークの祠に戻り、向かいの山へとテープ辿り登り進む。1p経て下り、鞍部より登り返すと思っていた山と違う竜山山頂。三角点、祠ある樹林の丘の山頂。南へ来てしまったことを確認して来た道を林舗道ピークの駐車地に戻る。目指す猫山へと車で移動。

○(猫山)15:40~17:20(1:40)山の南側集落奥より周回。山は、見えるが、南からの登山口不明で、やもえず作業道を奥へと進む。獣ゲート経て、旧作業道に出て、北へと沢沿いに進み、急坂経て、上の作業道に出て、西の端に進むと支尾根の急坂。このまま東へ進むと小高見峰へと登り進むため、すぐ西へと方向転換。尾根を下りが、沢の湿地帯で、方向の修正を繰り返しながら西へと竹林、樹林、小藪分け、幾つかの沢経て進むと広い林道に出て小安堵。西へ進むと林舗道の三差路で、大高見峰、猫山稜線の鞍部。猫山登山口より稜線を西へ辿る。急坂のロープ道を登り進むと猫山山頂16:40。三角点ある岩、樹林の丘の山頂。陽光、街の眺め良い。来た急坂を慎重に下り、三差路に戻り、西へ舗道進むと左右に神社の階段道あり、南へ下ると、道なくなる。やもえず小沢を南へ下る。獣道らしきを辿り、小藪分け下ると堰堤のある溜め池に出て、小安堵。池を渡れないので、左へと竹藪と茨を分けつつ、ゆっくり迂回して下の堰堤に出て一息。作業道を下り、人家が出てくる。駐車地の東方向へと進むと車が見えて無事戻る。

○2:28 香川中央(3山) 曇り

○(上佐山)6:25~7:00(0:35) 平和公園より周回。朝方で、登山口不明のため、やもえず舗道を左回りに進む。北から西へと進むも道なく、やむを得ず、伐採跡のピンクテープより伐採跡を登り進む。道らしきなくなり、急坂を木等に掴まりながら上へ上へとよじ登る。登り進むと本道に出会い南へ進むと上佐山山頂。三角点あり、城跡の平坦な山頂で、山、街の眺め良い。登山道を合目表示確認しながら、急坂、ロープ道を慎重に下ると登山口で、駐車した車が見えて、南側が登山口だったと唖然とした。

○(日山)山頂7:40、(こぶ山:雨山117m)同8:00 7:25~8:10(0:45) 日山西登山口より各往復。幾つも分かれる道を上へ登り進むと階段道となり登り進むと日山山頂。三角点、テーブル、椅子、展望台のある平坦な山頂で、高松の街の展望楽しみ、来た道戻る。地元の方の身近な山で、幾人もの登山者に挨拶。西登山口に戻り、向いの山へと西へと稜線の急坂等登り進むとこぶ山山頂。樹林の丘の山頂で来た道戻る。 午後に用事があり、今回はここまで。

○2月20日~23日 佐賀、長崎 その2

○2:22 長崎北3山(3山) 曇りのち晴れ

○(中岳1000m)6:40~7:55(1:15)五家原岳山頂口より往復。五家原岳より急坂のロープ道を慎重に下り、稜線をアップダウンしながら進み、岩等の急坂登ると中岳山頂。樹林、丘の山頂で、図根表石あり。曇りで、風が強い。来た道戻る。

○「郡岳」10:40~12:40(2:00)西登山口より往復(登山口探しに苦労)。植林等樹林の緩やか道進み、つづら折れ道経て、坊岩。坂を登り進むと郡岳山頂。細長い平坦な山頂で、三角点あり。西側に海(大村湾)、街の眺め良い。風強く、すぐ来た道戻る。

○「猪見岳」13:15~35(0:20)林舗道口より往復。植林地の丘を経て、進むと開けた山に出る。野焼きされた道らしきを登ると猪見岳山頂。大岩、三角点のある丘の山頂。眺め良いが風強くすぐ来た道戻る。

○「虚空蔵」15:25~16:30(1:05) 地元の登山者に教えてもらい岩屋登山口より往復。整備された道を作業道を横切りながら北へと登り進む。稜線に出て、西へと登り進む。次の三差路分岐を西へ。急坂、階段、鎖、ロープ道を登り、さらに別ルートと合流し南へ登り進むと虚空蔵山頂。鳥居、神社の奥にある岩から岩の丘の山頂。一等三角点あり、南西の絶壁方角に稜線続きの山々、街の眺めが良い。来た道に戻る。車で移動し稜線続きの山へ。

○(高見岳538m)山頂17:00、(女岳500m)同17:35 16:45~18:25(1:40)林舗道口より往復。植林地進み、急坂のロープ道登ると高見岳山頂。樹林の丘の山頂で、三角点あり。時間厳しいが、女岳ヘトライ。稜線を下り進み、アップダウンして稜線を西へ進む。鞍部より急坂登り進むと女

岳山頂。樹林の丘の山頂で、三角点あり、夕日キレイ。来た稜線を急ぎ戻り、高見岳。急坂を慎重に下り薄暮に戻る。

○2:23 佐賀西4山(1山) 晴れ

○「唐泉山」6:35~7:00(0:25)登山口駐車場より往復。階段道登り進むと唐泉山山頂。樹林の丘の山頂で、三角点あり、朝焼けがキレイ。神社参拝し戻る。

○「琴路岳」8:00~3:0(0:30)林舗道登山口より往復。植林地の稜線をテープ等辿り進み、1p 経て、進むと琴路岳山頂。樹林の丘の山頂で、三角点あり、木漏れ日あり。来た道戻る。

○「聖岳」山頂10:00、(福寿山約495m)同10:25、「鬼ノ鼻」同10:50 9:40~12:05(2:25)聖岳登山口より往復。階段道登り進む聖岳山頂。祠、展望台ある丘の山頂で、有明海、街の眺め良い。地元の方に次に目指す山が稜線先に近いと教えてもらいトライ。稜線を西へと進み、コンクリート道下り、林舗道横切り登り進む。1p に二等三角点を確認し稜線進む。進んだ稜線のピークが福寿山で、弁財天の石碑ある丘の山頂。先へ稜線下り、みはらし丘の展望を楽しみ、西へ進む。鬼の石像経て、進むと鬼ノ鼻山頂。草原丘の山頂で三角点あり、展望良し。先の鬼の形の展望台の稜線ピークに進み、街、海の眺め楽しみ来た道戻る。地元の登山者多く身近な人気の山。途中の林舗道から舗道を下り、土砂崩れ地経て、ショートカットして登山口に戻る。今回はここまで。

○2月20日(土)~23(日) 佐賀、長崎10山(14山) その1

○2:20 晴れ 佐賀北1山(2山)

○(彦岳)山頂14:25、「天山」同16:35、(雨山996m)同17:00、13:40~18:25(4:45)七曲峠より各往復。階段等の自然歩道を東へと登り進む。屏風岩等経て、登り進むと彦岳山頂。樹林丘の山頂で、晴れて山々の眺め良い。来た稜線戻り七曲峠15:15。そのまま西へ階段登り進み、三差路分岐。さらに西へと稜線進む。1p 経て平坦な雪解けのぐちゃぐちゃ道進む。自然歩道の距離表示を頼りに階段道を上へと登り進む。徐々に残雪が現れて、稜線が緩やかになると解けた雪で、シャーベット状道、水溜まり道等歩きにくくなり、遙か先の山頂が遠い。地道に草原の溶け雪、水溜まり道進むと天山山頂。一等三角点ある草原の平坦な山頂で、360度の大展望。各方向に山写真の案内あり、山々の確認を楽しむ。晴れて風強い。南に山あり、トライ。雪がない南面へ下り、鞍部の4差路経て残雪残る坂を登ると雨山山頂。碑ある笹、萱の丘の山頂。眺め楽しみ、来た道を4差路、天山経て、残雪道に手を焼きつつ、キレイな夕日を時折振り返りつつ、峠登山口に明るいうちに戻る。

○2:21 佐賀南1山(8山)、長崎北1山 曇り後晴れ

○「伝説のハイカー編」(片木山975m)山頂8:45、(タウラギ山1040m)同9:00、「経ケ岳」同9:40、(笹ケ岳954m)同10:50、(前岳:本多良岳983m)同12:00、(一ノ宮岳827m)同12:35、(帆柱岳742m)同13:15、(黒木岳881m)同14:15、(国見岳994m)同15:00 6:55~16:20(9:25) R252、横断林道交差する工事通行止め口より大周回。林舗道を登り進み、中山キャンプ場分岐で、経ケ岳方面へ。林舗道を登り進み、途中ショートカットの道等経て、ドンドン林舗道を進むが、案内なくなり、道もやや下り気味。本格下りの手前の赤テープ1つより急坂登り山入。テープ等の道らしきを辿り、急坂登り、大岩帯となり、上へ登れず、西へと岩沿いに進み、登れそうな所で、木、岩を手掛かりに上の稜線に出る。東へ進むと1p に石囲いの図根表石あり。西へと稜線戻り進むと次の1p が片木山山頂。樹林の丘の山頂で、三角点あり、陽光あっても風強い。西へと稜線進み、急坂ロープ道を慎重に下り、樹林のテープ等目安に稜線を進むとタウラギ山山頂。樹林の平坦な山頂。曇りの中陽光あり。稜線を西へと下り、平谷越4差路。山系のルートを確認して少し安堵。稜線を進み、岩稜の急坂。鎖、ロープの道を上へ上へと只管よじ登り進んで行く。分岐経て、岩道進むと経ケ岳山頂。大岩のある丘の山頂。一等三角点あり、山々、集落の眺めあり。来た道を少し戻り、分岐より、急坂、

ロープ、岩から岩の道を慎重に下って行く。途中で幾人もの登山者に挨拶。この山は、人気の山を確認。稜線を下り、進むと中山越の三差路。そのまま直進し大岩の山の裾野を過ぎて南面に登り口あり。その岩山を目指す。急坂のロープ道経て、登り進むと笹ヶ岳山頂。樹林、丘の山頂で、西側絶壁で、五家原岳、経ヶ岳の展望あり。来た道を本道に慎重に下り戻る。西へ樹林の岩、苔のトラバース道をゆっくり進み、丘を越えて金泉寺へ。すぐに遠回りになることに気付き、丘に引き返し南へ進むと鳥居のある神社で、石段登り参拝し、石段道等急坂登ると支線ある分岐で山名もあるが通過し進み、石段登ると2度目の多良岳山頂。神社参拝し、人多くそのまま通過。下って稜線進むと疲れからか、長靴を少しはみ出した木の根に引っ掛け、前のめりに倒れる。幸い、土道で、両膝少し打った程度で、大事なくそのまま稜線を進む。岩から岩の急坂、ロープ道等を木のなどにへばりつきながら慎重に登り進んで行き前岳山頂。大岩の三角点ある丘の山頂。晴れて気持ちがいい。一休みして、稜線を進み、急坂を慎重に下り平行の別ルートと合流。青テープの植林地の道を西へ下り進む。広い鞍部に出て、西へと樹林の中をテープ辿り登り進むと一ノ宮岳山頂。神社ある樹林、丘の山頂。日差しが心地良い。別ルートから来た登山者にどちらからと声をかけると目指す山からで、道探しに苦労とのことで、山ルート等を教えてもらい感謝。南へと樹林帯の道を下って行き作業道等三差路に出て登り返す。テープ等辿り、登り進むと帆柱岳山頂。樹林、丘の山頂で、三角点あり。一休みして来た道戻る。鞍部に下り一ノ宮岳経て、下る樹林の中で、夜中より大牟田から縦走で、歩いてきた方に会い挨拶。山話して超人ぶりに脱帽。広い鞍部に下り、裾野を通り過ぎた山を目指す。樹林の緩やかな坂を登り進むと黒木岳山頂。樹林の丘の山頂で、石積あり。そこから案内のある多良岳方面へ下り、分岐を直進し、次の分岐を右に登り進むと、来た道に合流。前岳経て、急坂岩道の手前で、女性4人組に挨拶してロープある急坂を慎重に下り、稜線進み、多良岳神社経て、先の分岐の支線に進むとこの歩き最後の国見岳山頂。樹林、丘の山頂で、西側絶壁で、山々の展望良い。風が強い。本道に戻り、急坂下り、神社の三差路を中山キャンプ場へ。距離表示確認しながら、岩道等を下って行く。トラバース道等経て、石、砂利道等をゆっくり下ると中山キャンプ場で、最初の分岐に無事戻る。林舗道下り駐車地に戻る。

○「五家原岳」17:45~50(0:05)山頂まで林舗道を車で行き、散策。階段登ると公園の五家原岳山頂。電波塔群奥の山頂で、三角点あり。曇りで、風強くすぐ引き返す。この先にある山は、疲労と日暮れのため明日に。

○2:11~2:14 佐賀、福岡 その2

○2:13 晴れ 佐賀北3山(2山)、福岡南2山(2山)

○「井原山」山頂8:25、(本富士山960m)同9:00、(富士山944m)同9:15、「雷山」同9:45 7:40~11:40(4:00) 林舗道終点より往復。遊歩道、植林地進み、鉄塔下の旧作業道終点が登山口。階段等急坂登り進むと井原山山頂。岩のある丘の山頂で、晴れて、街、海、山の眺め良い。雷山への案内あり、地元の方にさほど時間はかからないと教えてもらい、縦走路にトライ。急坂下り、笹、ブナ樹林等の稜線を進み、本富士山山頂。稜線丘の刈り払いされたピークで、展望良い。稜線を下り、登りして進むと富士山山頂。丘の山頂で、玄海灘、街、山の眺め良い。さらに西へ稜線を進むと雷山山頂。草原、丘の大岩、三角点のある山頂。遥か西に次に目指す羽金山を地元の方に教えてもらい縦走路を引き返す。稜線で、何組かの多数の登山者に会い挨拶。なだらかな稜線歩きの山々で、人気の山であることを確認。井原山経て戻る。途中で一羽の蝶々に遭遇し暖かさを実感。

○「羽金山」山頂13:40、(河童山874m)同14:10、(獅子舞岳841m)同14:50 12:40~15:35(2:55)白糸の先の林舗道通行止口より往復。舗道の坂を淡々と登り進むと標準時施設のゲート。インターフォンで案内に従い通用口より中へ。舗道坂登ると係りの方から、施設見学の遵守事項を教えてもらい、また360度の大展望の山々の名前や黄金伝説まで教えていただき感謝。羽金山山頂

は、施設内の平坦地で、二等三角点あり、山等の展望楽しみゲートに戻る。案内してもらった西の山を目指しフェンス沿いに急坂下り、平坦な道を進み、急坂登り、丘に出て南へ進むと河童山山頂。笹の中の平坦な山頂で羽金山の眺め良い。来た道をゲートまで戻り、舗道を下る簡易地図を頼りに次の山を探す。舗道の右に赤テープあり、辿るとすぐ獅子舞岳山頂。樹林の丘の山頂。舗道に戻り、下って駐車したゲート口に戻る。

○「女岳」16:20~17:05(0:45)横断林舗道の真名子登山口より往復。急坂登り、縦走路に出て、急坂の稜線を、大岩等経て、登り進むと女岳山頂。開かれた岩のある丘の山頂。北側に海、山の眺めあり。来た道戻る。

○「浮嶽」17:15~18:05(0:50) 東登山口より往復。車を少し移動し、階段等整備された道を進み、急坂、ロープのつづら折れの道を登り進むと浮嶽山頂。鳥居、神社あり、参拝し、奥に標識等あり。二等三角点ある樹林の丘の山頂。大岩あり、夕日がキレイ。来た道戻る。

○2:14 晴れ 佐賀北2山(1山)

○「十坊山」6:25~7:40(1:15)白木峠より往復。薄暗い中出発。尾根稜線の急坂、平坦道を西へ進み、別ルートと合流。さらに西へ急坂経て登り進むと十坊山山頂。丘の大岩のある山頂で三角点あり。鎖ある大岩登り、朝焼け、山々、海、街(唐津)の大展望を楽しむ。来た道を下山。

○「鏡山」8:20~50(0:30)車で山頂公園に駐車し散策。公園、神社、展望台等を歩き、樹林の中に三角点を確認して戻る。

○(大島山176m)9:55~11:00(1:05)公園駐車場より往復。コンクリート坂登り、竹林、民家の塀脇等経て進むと樹林帯。大岩、幾つもの石像眺め、急坂登り、遊歩道進むと大島山山頂。三角点、展望塔ある公園、丘の山頂。海、山の眺めあり、来た道戻る。 今回は、ここまで。

○2月11日(木)~14日(日)九州 佐賀、福岡の脊振山系11山(11山)

その1 遂に3700山を踏破、あと300山は、・・・。

○2:11 佐賀東1山(2山) 曇り時々晴れ

○(基山)12:30~14:00(1:30)東側林道口より往復。林道進み登山口。植林地、お堂経て、樹林帯の坂を登り進むと草原の丘。1pに方位盤あり、奥にもう1つピークあり、史跡碑経て進むと基山山頂。一等三角点ある岩神社の公園、丘の山頂。街、山の眺め良い。地元の家族連れ等多い人気の山。来た道戻る。

○「九千部山」14:50~17:00(2:10)横断林舗道登山口より往復。植林地、尾根道登り進み、別ルートと合流して遊歩道進む。林舗道と平行して西へ尾根を登り進むと林舗道に出て道不明のため、あとは、舗道を進み鉄塔群を目指す。車、バイクが通過する舗道を進み、鉄塔。その奥に九千部山山頂。公園、丘の山頂で、二等三角点あり。展望台より山、街の眺め良い。来た道を確認しながら戻る。

○(城山)17:15~55(0:40)林舗道勝尾城案内表示口より往復。西へ登り進むと石垣の表示。道不明のために、上へと直登すると平坦な本郭跡のピーク。西へ下ると案内表示あり、さらに南へ進むと城山山頂。展望岩、三角点のある城跡の山頂。山々、街の眺めあり。来た道戻る。

○2:12 佐賀東3山(4山) 曇りのち晴れ

○(杓子ヶ峰247m)山頂6:50、(奥山312m)同7:05 6:20~7:50(1:30)県道、鳥居口より往復。コンクリート階段経て、登り進むと丘になり、登ると杓子ヶ峰山頂。神社あり、参拝。地元の方に挨拶し、教えてもらい、奥の高い山目指す。樹林帯の稜線進み、坂を登ると奥山山頂。三角点あり、樹林丘の山頂。来た道戻る。

○(風天山127m)8:30~9:05(0:35)高速道路側道より往復。神社経て、登り進むと風天山山頂。祠、三角点あり。街の眺め良い。神社参拝し戻る。

○(鷹取山)9:20~10:05(0:45)林舗道登山口より往復。整備された道を進み、急坂経て鷹取山山頂。城跡の丸い大岩が幾つもある丘の山頂。三角点あり、東側より街、山の眺め良い。来た道戻る。

○「石谷山」10:30~12:35(2:05)R135 七曲峠通行止め手前、横断林道ゲート口近くの自然歩道口より往復。歩道の稜線をアップダウンし進み、別ルートと合流して登り、縦走ルートの三差路分岐を南へ下ると石谷山山頂11:35。三角点ある樹林の丘の平坦な山頂で、テーブル、椅子あり、木漏れ日心地よい。来た道を2つの分岐経て、南に平行する林舗道の近くで、林舗道に下り出て舗道に戻る。

○「蛤岳」13:10~15:15(2:05)林舗道ゲート口より往復。別管理の林舗道を西奥へと登り進み、林舗道終点。表示不明で、幾つも道あり。あちこち歩き回り、20分以上のロス。小さな表示のある南側へ下り進むと蛤水道と碑に出る。水路を坂登り、分岐の赤テープより左の沢沿いに道らしきを辿る。進むと道不明となり、上へ尾根を登る。昔の注意張りあり、その道らしきを西へ辿り進み、本道に出会い安堵。南へ登り進むと蛤岳山頂14:20。樹林、丘の山頂で三角点あり。南の展望台より街の眺め良い。来た道を辿り、ショートカットで、少し道迷い。東へと進み、平坦地が見えるところへと下り、小川に出て下ると蛤水道と碑に出て安堵しベンチで、ひと休み。後は来た道を淡々と戻る。

○「金山」17:45~19:10(1:25)横断林舗道の自然歩道登山口より往復。偵察で、時間要して仮の偵察歩き。沢沿いに、距離表示辿り進むと行けるところまでと登り進む。別ルートと合流して登り進むとすでに稜線の三差路となる。急ぎ西へ進むと金山山頂18:25。一等三角点、樹林丘の山頂で、夕暮れの夜景、山の眺め楽しむ。風あり、来た道をライト点け、三差路を2つ、確認しながら、沢沿いの道を慎重に戻る。

○2月6日(土)、7日(日) 日本山岳誌以外(7山)両日共晴れ

○2:6 徳島中央(1山)、香川東(1山)

○(気延山)14:55~15:35(0:40)野鳥の森の池口より往復。階段遊歩道を登り進み、稜線。北へ進むと気延山山頂。祠ある樹林丘の山頂。三角点あり、近くに鉄塔もあり、日差しが心地よい。地元の登山者多い人気の山。

○(虎丸山)17:10~18:50(1:40)南側林道途中より往復。林道ピーク経て、下り、赤テープ2つの急坂より山入り。尾根の道らしきを辿り、時折、テープ確認しながら、岩稜の支稜線を樹林の刺を気にしながら進む。1ピーク経て、西方向へ目指す山へと鞍部に下り、急坂ロープ道を一気に登り、大汗をかきつつ、別ルートの立派な本道と合流し登ると虎丸山山頂。神社ある丘の山頂で、東側に山、海、街の展望あり。夕闇迫り、急ぎ足で、来た道戻る。急坂ロープ道を慎重に下り、支線の岩稜帯で、道不明に。ライト点け、下る。方向ばかり気にして、道迷いし、幾度も行ったり来たりし、林道と反対側に道を見つけて無事林道に出る。満天の冬の星空を楽しみつつ戻る。

○2:7 香川東、南(5山)

○(壇特山)7:00~8:00(1:00)林舗道南登山口より往復。階段道等整備された尾根道進み、急坂、ロープ道経て、壇特山山頂。祠ある平坦な山頂で、三角点あり、朝日、山々の眺め良い。来た道を急坂は、迂回ルートのトラバース道(一部崩壊間近)経て戻る。

○(雨滝山)9:20~10:15(0:55)高速側道の旧登山口より往復。舗道坂進み、枝を避けつつ進むと尾根。植林地へ出て、作業道進み、道がなくなり、右のものと草尾根に登り、猪の掘り返した道を進むと旧神社。右へ回り進み、右側崖のロープを辿る。急坂に出て、つづら折れ道辿り、旧施設等2段を登り進むと雨滝山山頂。城跡の広場の山頂で、祠、三角点あり、海、山、街の眺め良く、晴れて心地よい。来た道戻る。

○(嶽山)11:00~11:30(0:30)北側登山口より往復。急坂、岩岩、鎖、ロープの迂回道経て、鳥居に出る。岩稜線進み、2ピークの嶽山山頂。三角点、神社あり、参拝し、岩、鎖の本道を慎重に下り

戻る。鎖坂は、身近で人気なのか登山者多い。

○(高仙山)12:15~12:30(0:15)山頂公園より遊歩道、電波塔経て、すぐ高仙山山頂。樹林丘の山頂で、三角点あり、天候曇り。

○(大相山)13:20~15:50(2:30)R193 金比羅神社口より往復。神社、中山峠経て、阿讃縦走路兼遍路路の尾根を進む。ロープのある急坂を3ヶ所経て、登り進み、遍路路との分岐経て、西へ進むと程なく大相山山頂14:40。稜線のピークで、樹林の平坦な山頂。三角点あり、晴れて気持ち良い。ロープ急坂を慎重に下り戻る。

○1月30日(土)、31日(日) 日本山岳誌以外(9山) 両日共晴れ

○1:30 香川東(2山)、徳島北(3山)

○(藍染山)山頂11:05、(万石山361m)同11:45 10:25~12:45(2:20)林道三差路 富の谷より往復。林道を東へ進み、登山口表示より山入。尾根稜線を登り進むと鉄塔分岐。直進し次の分岐を右に登り進むと藍染山山頂。2等三角点のある樹林丘の山頂で、朝日、快晴、風あり。稜線を東へ下り、登りして、鉄塔経て進む。次の分岐を右へ登り進むと万石山山頂。樹林の丘の山頂で木漏れ日あり。来た稜線戻り、途中から鉄塔道を上り下りして最初の鉄塔分岐に出て稜線を下り戻る。

○(大山)13:50~15:15(1:25)四国八十八ヶ所別格の1つ大山寺より往復。広い遊歩道進み、舗道横切り、奥の社経て、登り進む。別ルートと合流し平坦な道を進むと大山山頂。一等三角点ある平坦な山頂。鉄塔あり、東の別ルートから来たトレランの人と山話して、来た道戻り、寺を参拝。

○(屋島南嶺292m)山頂17:10、(冠ヶ嶽220m)同17:30 17:00~55(0:55)屋島ドライブウェイ駐車場より往復。道不明で、お墓の奥へ樹林の中を南へ進むと広い舗道に出て、南へ進む。途中、左へ丘を登ると屋島南嶺山頂。一等三角点のある施設脇の樹林の平坦な山頂。舗道へ戻り、南へ進み、旧ロープウェー跡経て、登山道を下り進むと冠ヶ嶽山頂。石積の祠のある南端の山頂。夕日キレイで、日没確認。先へ少し下ると東側は、絶壁で、高松の市街の眺め良い。来た道、舗道戻り、屋島寺参拝して駐車場に薄暗い中戻る。

○1:31 香川西(2山)、徳島北(2山)

○(稲積山404m)山頂8:25、(上之山:高野山444m)同8:50 7:15~10:15(3:00) 海岸のキャンプ場駐車場より往復。昨晚灯りが見えた山を目指す。県道に出て、電柱にここからは、高屋神社に行けないとの案内を気にせず、遊歩道の舗道を進む。目指す山の麓を通り過ぎたため、やもえずみかん畑の舗道急坂登り、使われなくなって久しいカーゴ軌道を辿る。小茨に苦戦しつつ、急坂を東へ。軌道終点経て、急坂尾根を海を背にしつつ登る。倒木帯経て、岩稜帯で、野うさぎの後姿を見て、猪の音を確認しつつ、小藪等を分けて登り進むと神社のある稲積山山頂。街、海の眺め良い。参拝者あり、舗道を東へ下ると林舗道終点の駐車場。霊泉表示見つ、舗道を登り進み、ピークより左へ道らしきを登ると旧神社。奥へ進むと本道に出会いその道を登ると三差路で展望良い。北へ稜線道進むと上之山山頂。一等三角点あり、受水施設のある丘の山頂で陽光、海、山の眺め良い。三差路に戻り、稜線を下り、霊泉入口経て、林道終点の駐車場に戻る。舗道右の山道登ると稲積山の高屋神社で、参拝。「天空の鳥居」と立派な石段を眺めつつ、街と瀬戸内の眺めを堪能。本道の石段を下り、参道へ。広い山道を下ると多くの登山者に挨拶し人気の山を確認。急坂のつづら折れの道を下り、鳥居、舗道、高屋神社下宮、駐車場経て、急坂舗道を下り、県道に出る。昨晚見落とした神社への案内を確認してキャンプ場駐車場に戻る。

○(中蓮寺峰)山頂12:45、(若狭峰)同13:20 11:45~14:35(2:50) 旧民家前の三差路舗道口より往復。別に目指した山への道不明で、迷いこんだ道から近い山へトライ。道不明につき、林道を最近の車道跡を頼りに進む。途中より山入し、作業道を沢沿いに進むと道がなくなり、沢を詰めて急

な坂を登り進む。上の稜線に出て、目印の枯れ木を並べて、東へ尾根を進むと4等三角点あり。北へ尾根の境界標辿り進むと阿讃縦走路に出て安堵。稜線路を北へ辿り進むと中蓮寺峰山頂。三角点、東屋のある広場の山頂で、街、山の眺め良い。東へ遊歩道の林道をアップダウンし進むと三差路で、右へ急坂登ると若狭峰山頂。三角点ある樹林の丘の山頂で、山々の眺めあり。来た道を晴れている好天のもと、軽快に下る。縦走路分岐、三角点分岐、枯れ木置いた分岐を確認し、急坂、沢筋経て、林道に出て戻る。

○1月24日(日) 日本山岳誌以外 香川東(4山) 雨のち曇り

○(与治山)13:15~45(0:30)小雨 r122 登山口より往復。階段等整備された尾根道進み、急坂経て与治山山頂。三角点、神社ある丘の山頂で、参拝し、小雨の中、山々、海の展望あり。来た道戻る。

○(那智山)14:25~15:10(0:45)曇り 林舗道の堰堤登山口より往復。尾根稜線進み、休憩所の先が、那智山山頂。神社、岩のある丘の山頂。山々、街、瀬戸内の眺め良い。来た道戻る。

○(本宮山)山頂16:00、(新宮山:507m)同16:35 15:30~17:35(2:05)曇り 林舗道ケモノゲートより往復。入り口の鳥居経て、沢沿いの道を辿ると本宮山山頂。くじら岩(大岩)、神社ある山頂で、山々、街の眺め良い。西奥に高い山ありトライ。稜線をアップダウンしながら、テープを辿り奥へと進む。雲が出て来て視界乏しくなる中、登り進むと新宮山山頂。樹林丘、三差路の境界標石ある山頂。曇りで、視界今一つ。来た稜線辿るが、道迷い。稜線に戻り、テープのある分岐点を確認し本稜線に復帰し、本宮山経て、戻る(まだ明るく、日が長くなり助かる)。

○1月16日(土)、17(日)山口東(9山)

○1:16 晴れ 山口東(3山) (三ヶ嶽)11:00~30(0:30)林舗道途中より往復。林道進むとすぐ登山口。急坂の階段道登ると三ヶ嶽山山頂。電波塔の丘の山頂で、山々、集落の眺め良く、暖かい。

(琴石山)11:40~12:50(1:10)車で移動し稜線鞍部林舗道の登山口より往復。階段等の遊歩道を幾つかのピーク経て東へ進み、急坂経て琴石山山頂。岩のある広場の山頂。二等三角点あり、瀬戸内、街、島の眺め良い。来た道を軽快に戻る。

○(大見山)14:35~16:15(1:40)広域農道の登山口より往復。登山口が茨のため、林道を進みテープより急坂獣道経て本道の尾根に合流。緩やかな稜線尾根を幾つかの竹林の倒伏を排除しながら進む。テープ辿り進むと大見山山頂15:25。一等三角点あり、樹林の丘の山頂で、木漏れ日、青空、風が心地よく静か。来た道のテープ確認しながら戻る。

○1:17 曇りのち晴れ 山口東(6山)

○(平家ヶ城)山頂7:15、(三丘ヶ岳:城山)同7:30 6:55~8:05(1:10)曇り 中山峠より往復。鉄塔路の急坂登り、鉄塔経て、平家ヶ城山頂。かん木、丘の山頂で、山々、集落の眺め良い。東へ下り、鞍部より急坂、ロープ、岩岩道を慎重に登ると三丘ヶ岳山頂。三角点ある樹林の平坦な山頂で山々の眺め良い。来た道慎重に戻る。

○(大黒山)山頂9:15、(竜ヶ岳)同10:10、(大梅山276m)同11:00 8:35~11:25(2:50) 運動公園奥の林道途中より周回。林舗道進むとすぐ登山口。難儀なコースと注意書きあり。樹林の中進み、急坂の大岩ロープ付き、時折り梯子もある尾根道を慎重に登り進む。幾つかのピーク経て進むと大黒山山頂。三角点あり、大岩ある平坦な山頂。晴れて、山、街の眺め良い。遥か先に見える山を目指し、アップダウンを繰り返し進み、急坂、岩、ロープ道経て竜ヶ岳山頂。三角点ある大岩群の丘の山頂で、山々、集落の眺め良い。来た急坂を慎重に下り、稜線に戻る。途中より支尾根に進む。1p 経て進むと大梅山山頂。樹林の丘の山頂で、南側にダム等の展望良い。ここまで数組の登山者に挨拶、人気の山のように。支尾根を下山の案内の尾根を下り、途中から左へ植林地経て林舗道に出て、そのまま沢沿い林舗道下り戻る。

○(石童山)12:55~14:05(1:10)南側林舗道途中より往復。林舗道、林道を進み、電波塔のピー

ク経て下る途中にコンクリート階段あり、そこより取り付く。急坂辿ると白い紐テープ道となり進むと1p。ここから先不明。少し高い山らしきが見える北へと稜線を進む。目指す山の下に黄色テープ出て、辿って山腹のトラバース道を北へ進む。山頂稜線に出て、南へ登り進むと石童山山頂。三角点ある樹林の丘の山頂で、静か。来た道を確認しながら戻る。

○1:9~1:12 その2

○1:11 曇りのち晴れ 山口東(7山)

○(熊ヶ山)山頂7:25、(雲霞山)同8:05 曇り 6:35~9:15(2:40) 集落施設の広い駐車場より往復。舗道より林舗道進み、広い切通しの伐採跡で道を見失いやむなく伐採跡の倒木地進む。左手の谷の向こうに登山道らしき見え、谷経て本道に出る。北へ登り進むと分岐。東へ稜線の急坂等経て進むと熊ヶ山山頂。三角点あり、苅り払いされた丘の山頂で、山々、集落の眺め良い。分岐へ戻り北へ案内とテープを辿る。岩場や幾つかのピーク経て北へ進むと雲霞山山頂。集落、山々の眺め良い。丘の山頂。来た稜線を分岐経て戻る。

○(阿品弥山:435m)山頂10:45、(柏木山518m)同11:30 10:30~12:25(1:55) 林舗道途中より往復。舗道、坂登り、3神社のある弥山山頂。晴れて山々、集落の眺め良い。奥に少し高い山あり、トライ。稜線を下り、案内等に助けられ幾つかのピーク経て、4差路を西へ尾根を登り進むと柏木山山頂。二等三角点ある松等樹林の山頂。南側絶壁で、山々、瀬戸内の眺め良い。来た道を戻る。

○(塔ヶ森)13:45~14:30(0:45) 林舗道ピーク先の駐車場より往復。階段等の整備された遊歩道進み、林舗道経て、登り進むと塔ヶ森山頂。三角点あり、展望台より山々、集落の眺め良い。来た道を戻る。

○(高照寺山)15:15~20(0:05)車で山頂まで行き散策。電波塔群の中の小森にテープあり、辿ると高照寺山山頂。一等三角点あり、樹林、竹林の中の山頂。陽光あり、静か。

○(二井寺山)16:15~45(0:30) 寺の駐車場より往復。石段等登り、展望地で夕日、湖の眺め楽しみ、長い石段を登ると二井寺山山頂。参拝して戻る。

○1:12 山口東(6山) 曇りのち晴れ

○(上盛山)7:50~8:00(0:10)車で山頂下まで行き階段登ると上盛山山頂。三角点あり、公園の灯台に似た展望台の螺旋階段登ると屋上より風力発電、島、海の眺め楽しむ。

○(皇座山)9:05~50(0:45)広い駐車場より往復。林舗道進み、別ルートと合流し遊歩道を進むと皇座山山頂。一等三角点あり、岩のある広場の山頂で、南側に海、島の眺めあり。来た道を戻る。

○(大星山)10:40(0:05)車で山頂。二等三角点ある丘の山頂で、風力発電あり、眺め良い。

○(箕山409m)10:55(0:10)車で移動し公園より往復。階段登ると箕山山頂で史跡あり。

○(大峰山356m)山頂12:10、(高日ヶ岳362m)同12:20 12:00~30(0:30) 県道終点駐車場より往復。公園の東の奥より登ると石城山の神社群。本殿近くに山あり、テープ辿ると大峰山山頂。樹林の丘の山頂。東へ道を進み急坂登ると高日ヶ岳山頂。神社あり、参拝。南側、山、街、海の眺め良い。来た道を戻る。

今回はここまで。

○1月9日(土)~12日(火)休み 日本山岳誌以外 広島中央(4山)、西(6山)、山口東(14山)その1

○1:9 晴れ (倉橋火山)山頂13:40、(後火山455m)同14:05 13:30~14:25(0:55) 林舗道終点駐車場より各往復。階段遊歩道登り進むと火山山頂。丸い大岩の山頂で、風強いが、晴れて瀬戸内、街、山々の眺め良い。鞍部へ戻り東側へ稜線を進む。大岩等経て、進むと後火山山頂。三角点ある樹林丘の山頂。少し展望あり。来た道戻る。

○(絵下山)山頂16:05、(中野山:焼山八景山580m)同16:25 15:55~16:50(0:55) 林

舗道駐車場より往復。急坂登るとすぐ絵下山山頂。大きな丸岩の山頂で眺め良い。南へ稜線下り、舗道経て、中野山登山口。急坂登ると大きな平らな大岩群の中野山山頂。街、山々、瀬戸内の眺め良い。来た道に戻る。

○1:10 晴れ 広島西(6山)、山口東(1山)

○(米小屋山544m)山頂8:20、(笛吹山596m)同9:00、(大鉢山534m)同9:20、(忠四郎山604m)同10:05、(行者山313m)同13:00、(玖波槍300m)同13:25 7:05~14:05 (7:00) 林舗道堰堤駐車場より各往復。少し雪が積もった二股の道を左上へ進む。鉄塔巡視路道より稜線の鉄塔分岐を北へ急坂等進むと展望岩。幾つかのピーク経て、進むと米小屋山山頂。樹林の丘の山頂。一旦下り、茅野原に出て幾つかの分岐の中大鉢山方面へ。西へ急坂経て、稜線を登り進むと笛吹山山頂。稜線のピークで、晴れて眺め良い。稜線を下り、鞍部より登り返すと大鉢山山頂。樹林丘の山頂で、南の展望地より、この日最高の展望(山、瀬戸内、街)を満喫。鞍部へ戻り、さらに下り、小沢経て登り返し西大鉢山。さらに下り、小沢経て、幾つかの道と合流。牧場からの道と合流し幾つかピーク経て進むと忠四郎山山頂。三角点あり、樹林の丘の山頂で、木漏れ日心地よく静か。来た道を確認しながら戻る。スタートの堰堤に戻り、二股を右へ進む。すぐ大規模な堰堤となり、遊歩道を沢沿いに進む。滝、公園経て、峠より右へ遊歩道進むと行者山登山口。尾根を登り進むと1pの分岐。東へ稜線進むと行者山山頂。三角点あり、奥に神社あり、眺め良い。分岐に戻り西に山が見えトライ。一旦下り、登り返すと玖波槍山頂。大岩の丘の山頂で展望良い。来た道を1p経て戻る。

○(姉ヶ山:岩国城山300m)16:10~17:30(1:20)麓の登山口不明でやむなく、集落の奥より獣道らしき急坂の尾根を登り進むと支尾根稜線。西へ稜線をシダ藪に苦戦しながら進み、岩国城からの広い本道に出合い安堵。稜線を西へ進むと姉ヶ山山頂。電波塔ある丘の山頂で、夕日がキレイ。展望地へ戻り、眺めを楽しみ、整備された道を淡々と下り、車から見落としていた登山口に戻る。

○12:29~1:3 年末年始九州等遠征 その2

○1:1~1:3 宮崎北、大分南、山口南 4山(3山)

○1:1 晴れ「冠岳」6:55~8:20(1:25)東コースより往復。初日の出を見る車が駐車場に並ぶ中、登山口より沢沿いの道を進む。ガレ場、ロープ付きの岩場経て、上へと進む。稜線の鞍部分岐に出て山頂へと西へ登り進むと途中の日の出拝みして、冠岳山頂。樹林の丘の山頂で、快晴の朝日に山々の眺め楽しむ。稜線の分岐に戻り第一展望台へ。ロープの岩場経て、進むと展望台で、山々、街、海の眺め良い。周回して元の分岐に戻って下山。人には数組しか会わなかったが、別ルート有りそう。

○「西林山」11:45~15:20(3:35)砂利林道のピークより往復。道間違い、落石、落ち枝の多い県道、砂利の林道と移動に疲れて、登山口も不明だが、方向を確認して山入り。北へ樹林の坂を進むと、ピンクテープと境界標出てそれを辿り1p。方向を西へ替えて稜線をアップダウンして進む。先に目指す山らしきが見えるが間に谷がある。稜線の鞍部を1つ経て、登り返しピークより方向を北へ替えてさらに低い鞍部に下る。三差路だが、急坂を直進し緩やかとなるもあとは直登の急坂で、木等に掴まりながらゆっくり登る。足元が、ガレの道らしきで動きが歯がゆい。やっと稜線に出て、落ち枝で、目印としたが、あとで後悔。稜線を西へ進むと西林山山頂13:20。樹林の丘の山頂で、北側は、絶壁で、山々、集落の眺め良い。来た道戻る。稜線の降り口の落ち枝を通過したこともわからずに先の急坂を下ることに。下ると見覚えのない谷。やむ無く、谷を登り第2鞍部へと登り進むが以外と距離がある。気持ちを押さえつつ、何とか第2鞍部に戻り安堵。あとは稜線をアップダウンしながら戻る。ピンクのテープ出て安心したか、別の尾根へ下り、おかしいと引き返し、ピンクテープの南東へのルートを確認して無事下山。

○1:2 晴れ後曇り 大分南2山

○「椿山」7:30~10:00(2:30)林舗道終点三差路より往復。林道を進むと伐採地跡で、奥へと林道進み、登山口。急坂登ると上の作業道。突き当たりまで進み、引き返し上への作業道にテープあり、切り通しの上にテープあるところを通過し終点。目印なく、獣道を辿り、急坂ガレ場を上へ上へと進む。尾根に出て先へ登り進むと大岩壁が立ち塞がる。やむ無く右へ右へと細い獣道を慎重に進む。岩場の切れ間より、三点確保で慎重に上へ出ると稜線。東は、何もないため、西へ岩稜帯進むと椿山山頂8:50:ここで本道のテープ道に出会う。二等三角点あるかん木、岩の丘の山頂。北も南も絶壁で、山々の眺めあり。本道を西へ岩稜帯進み、植林地に出て南へとロープ付きの急坂を下る。少しなだらかなところに出て切通し切り株に古いテープあり。そこを後ろ向きに手、足場を確認して何とか下りる。2m以上の段差は辛い。あとは来た道を確認しながら戻る。

○「場照山」11:15~14:50(3:35)ダムより先の堅田川に掛かる下の内橋口より往復。沢沿いの広い林道進み終点。先は、シダ等の藪で進めず、獣ネットの間抜けて急坂の植林地をゆっくり足場を確認しながら登る。もう1つのネット経て、少し広い尾根を斜めに登り進むと稜線。ここは、布テープつけて西へと稜線を進む。幾つかのピーク経て、急坂登ると広い作業道。左へと登り進むと切通しの上へ登れるところにトラロープあり。急坂の尾根を古いテープを拾い、木につけながら上へ登り進むと稜線。右に、左にとピーク探す。稜線の南奥にピークあり。下り、登り返すと場照山山頂。樹林の中の丘の山頂。木漏れ日、山々の眺めあり。来た尾根急坂を下り、作業道さらに下への尾根入り口の目印より尾根稜線を下り、布テープを回収し林道終点に下って戻る。

○1:3 晴れ 山口南(3山)

○(太華山)8:10~20(0:10)車で山頂下の駐車場まで行き階段を往復。太華山山頂は、広い公園で一等三角点あり、瀬戸内、山々、街の眺め良い。

○(虎ヶ岳)山頂10:15、(烏帽子岳)同10:40 9:35~12:05(2:30)虎ヶ岳登山口より往復。お寺手前の広い駐車場より沢沿いの登山道進み、稜線。西へ登り進むと虎ヶ岳山頂。整備された丘の山頂で、瀬戸内、街の眺め良い。先へ西の稜線をアップダウンし進むと縦走路分岐で、西へ直進し進むと烏帽子岳山頂。二等三角点ある丘の山頂で、同じく瀬戸内の眺めが特に良い。来た道を戻るが、稜線を進み過ぎ、地元の方に教えて頂き一緒に登り、下る分岐点を教えてもらい、感謝のお礼を言って沢沿いの道を登山口に戻る。 今回の遠征は、ここまで。